

広資料第324号
令和5年3月31日
企画財政部行政経営課
市民情報提供資料

令和4年度行政評価報告書

このことについて、別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

令和4年度
行政評価報告書

令和5年3月

武蔵村山市

目 次

1 本市の行政評価について	1
(1) 行財政運営における行政評価の位置付け	1
(2) 行政評価の目的	1
(3) 行政評価制度の見直しについて	1
ア 評価対象の拡大	1
イ 評価方法の見直し	1
2 令和4年度の行政評価について	3
(1) 行政評価の対象	3
(2) 行政評価の方法	3
(3) 根拠規定	4
(4) 行政評価会議について	4
(5) 外部評価について	4
(6) 評価結果の活用	4
(7) 行政評価の公表	4
3 令和4年度における内部評価の結果について	4
(1) 総括	4
(2) 評価結果（今後の方向性）一覧	6
(3) 内部評価調書	13
4 令和4年度における外部評価の結果について	171
(1) 外部評価の目的	171
(2) 行政評価委員会について	171
(3) 外部評価の評価結果	171
(4) 外部評価総括表	171
(5) 外部評価調書	172
参考資料	186
1 武蔵村山市行政評価実施要綱	186
2 令和4年度行政評価会議構成員名簿	187
3 令和4年度行政評価会議の審議経過	188

4	武蔵村山市行政評価委員会設置要綱	189
5	行政評価委員会委員名簿	190
6	行政評価委員会の審議経過	190

1 本市の行政評価について

(1) 行財政運営における行政評価の位置付け

人口減少や少子高齢化が進展し、価値観が多様化する中、業務を正確に遂行するだけでなく市民ニーズを的確に把握し、増大する行政需要に適切に対応していくことが求められている。しかし、市の財政は依然、厳しい状況にあり、民間委託やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）などの導入により今後も行財政改革の推進を図るとともに、限られた人的資源や財源などをより効率的かつ効果的に活用し、行財政運営を行っていく必要がある。また、地方分権が進展し、市の果たす役割が大きくなり、市民の市に対する関心が高まる中、市民の信頼を確保し、市民協働によるまちづくりを進めるためには、市が実施する施策等の内容や成果を公表し、市民への説明責任を果たすとともに、透明性の向上を図っていくことが必要となっている。

こうした中で、本市では、施策等の必要性や有効性などを検証・評価し、実効性のある施策等を展開していくために、次に掲げる目的を達成する手段として行政評価を活用するとともに、市民主体の行財政運営を実現するための仕組みとして位置付けている。

(2) 行政評価の目的

本市における行政評価については、以下の三つを目的として実施している。

① 市民の視点に立った成果志向の行政運営への転換

市民の生活感覚で事務事業を改めて点検し、より成果を重視した選択的行政執行へと行政運営の転換を図る。

② 透明性の高い行政運営の実現

P（計画）→D（実行）→C（評価）→A（改善）サイクルを確立の上、行政評価の結果を市民に公表し、透明性の高い行政運営を進める。

③ 職員の意識改革

「何のために」、「誰のために」事業執行しているのかを自ら改めて点検することで、「市民に喜ばれる成果重視」へと意識の転換を図るとともに、使命感、意欲の高揚を図る。

(3) 行政評価制度の見直しについて

ア 評価対象の拡大

行政評価の対象とする事務事業は、これまで行政評価会議において選定を行っていたが、今年度から武蔵村山市長期総合計画の実施計画に登載されている全ての事務事業のほか、市長が必要と認める事務事業として、外部の意見を参考に見直しを図りたいと考えられるものなどに、対象を拡大して行うこととした。

イ 評価方法の見直し

事務事業評価の対象の拡大に伴い、施策評価の廃止及び評価調書の様式の全面的な見直しを行うとともに、行政評価会議による二次評価を廃止し、各所管による内部評価

と、内部評価を行った一部の事務事業を行政評価委員会による外部評価により、評価を行うこととした。

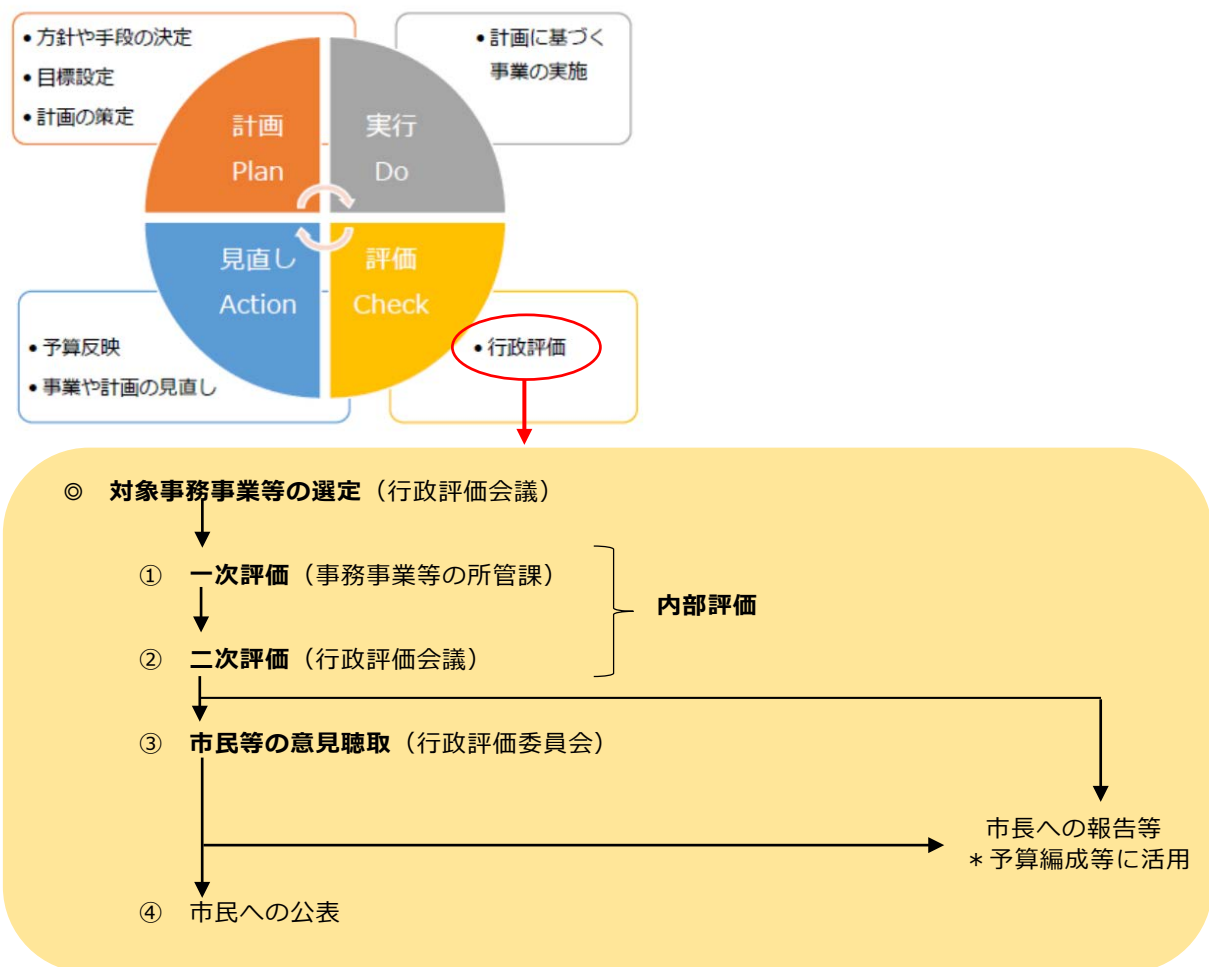
【参考】これまでの行政評価

これまでの行政評価は、毎年度、要領で実施に必要な事項を定め、市の施策及び事務事業の全般について、その実施後に効果等の分析及び検証を行い、総合的に評価していた。

市の政策（一定の行政目的を実現するための行政活動の大綱的な方針）を実現するため、複数の事務事業から構成される一連の行政活動を評価する「施策評価」と、施策を実現するための手段として個別の予算及び人員から構成される行政活動を評価する「事務事業評価」の二つの評価方法を用いて、前年度に実施した事務事業等のうちから、副市長が主宰する庁内の「行政評価会議」が選定した事務事業等を対象とし、評価を行ってきた。

この「施策評価」、「事務事業評価」の双方で所管課による一次評価と行政評価会議による二次評価を実施し、さらに、市長は二次評価の結果のうち必要があると認めるものについて、行政評価委員会に意見を求めることとしていた。

図① PDCAサイクルとこれまでの行政評価の流れ



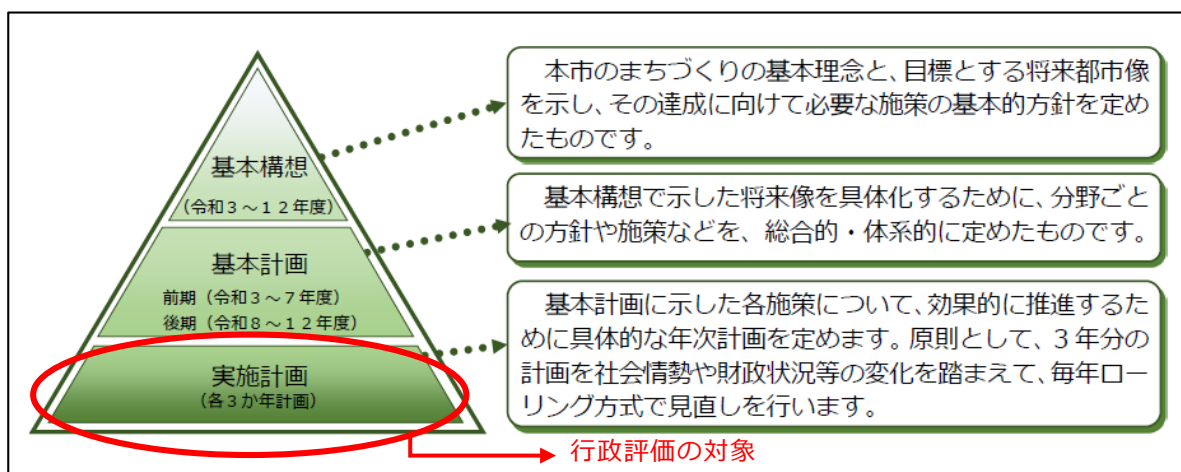
2 令和4年度の行政評価について

(1) 行政評価の対象

「武蔵村山市第五次長期総合計画 ③実施計画（令和3年度～令和4年度）」に登載されている全ての事務事業（全148件）を対象とする（「3(2)評価結果（今後の方向性）一覧」のとおり。）。

「実施計画」は、本市の総合的なまちづくりの指針である長期総合計画の一環として基本構想及び基本計画を受け、基本計画で体系化した施策を計画的に実施するために策定されるものであり、特に重点的かつ優先的に進めていくべき事務事業が登載されている。

図② 長期総合計画の構成



(2) 行政評価の方法

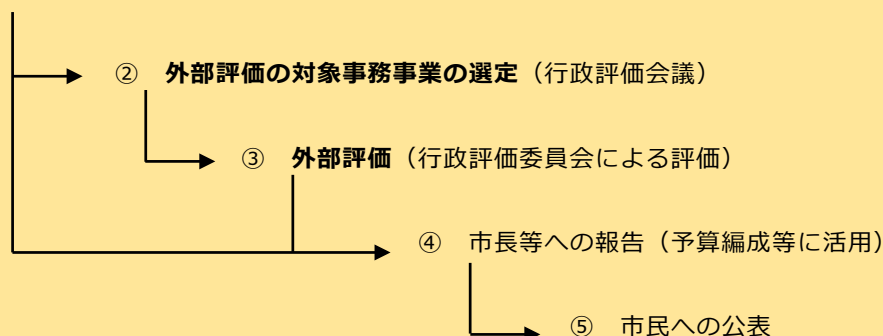
行政評価は、武蔵村山市行政評価実施要綱において実施に必要な事項を定め、市の事務事業の全般について、その実施後に効果等の分析及び検証を行い、総合的に評価することとしている。

また、評価の方法については、各所管による内部評価及び行政評価委員会による外部評価により行うこととしている。

事務事業の評価は事務事業評価調書により行い、補助金等交付事業の評価は補助金等評価調書により行うこととしている。また、一つの事務事業等を複数の課が所管するものや複数の事務事業で構成するものについては、それぞれで評価を行うこととしている。

図③ 令和4年度以降の行政評価の流れ

① 内部評価（所管課による評価）



(3) 根拠規定

ア 武蔵村山市行政評価実施要綱（令和4年訓令（乙）第25号）

イ 武蔵村山市行政評価委員会設置要綱（平成28年訓令（乙）第147号）

(4) 行政評価会議について

行政評価会議は、副市長主宰の下に、企画財政部長、総務部長、市民部長、協働推進部長、健康福祉部長、子ども家庭部長、都市整備部長及び教育部長をもって組織し、外部評価を実施する対象事務事業の選定を行ったときは、その結果を市長に報告するとともに、対象事務事業を所管する部の長及び企画財政部長に通知するものとされている。

(5) 外部評価について

外部評価の目的や対象、評価結果などの視点別の分析として、事務事業の実施状況や実績などを「妥当性」、「有効性」、「効率性」の三つの視点で評価し、その結果を踏まえながら、今後の方向性を含め、総合的に評価する。詳細については「4 令和4年度における外部評価の結果について」を参照。

(6) 評価結果の活用

行政評価の結果（内部評価のみを行った事務事業を含む。）は、事務事業の見直しや翌年度の予算編成等に活用することとしている。

(7) 行政評価の公表

行政評価の結果（内部評価のみを行った事務事業を含む。）は、市報及び市ホームページで公表するとともに、市政情報コーナー、緑が丘出張所、市民総合センター及び各図書館で閲覧に供することとしている。

3 令和4年度における内部評価の結果について

(1) 総括

全部で148件の評価対象事務事業について所管課が実施した内部評価の結果は、「拡充」が20件、「現状維持」が107件、「縮小・見直し」が13件、「廃止・休止・終了」が14件となった。なお、一つの事務事業を複数の課が所管しているもの等があることから、評価の実施件数は全部で154件となっている。

また、区分別及び施策体系別の集計結果は次のとおりである。

表① 区分別内部評価結果

区分	今後の方向性				合計
	拡充	現状維持	縮小・見直し	廃止・休止・終了	
事務事業	19	85	5	14	123 (79.9%)
補助金等	0	24	6	1	31 (20.1%)
合計	19 (12.3%)	109 (70.8%)	11 (7.1%)	15 (9.8%)	154 (100.0%)

表② 施策体系別内部評価結果

施策体系	今後の方向性					合計
	拡 充	現 状 維 持	縮 小 ・ 見 直 し	廃 止 ・ 休 止 ・ 終 了		
第1章 市民との協働による地域振興						
コ ミ ュ ニ テ イ	0	1	1	2	4	(2.6%)
パ ー ト ナ ー シ ッ プ	0	1	1	0	2	(1.3%)
第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり						
健 康 ・ 医 療	2	11	0	0	13	(8.4%)
福 祉	5	25	0	1	31	(20.1%)
第3章 安全で快適なまちづくり						
安 全 ・ 安 心	2	11	1	2	16	(10.4%)
都 市 基 盤	5	18	3	0	26	(16.9%)
地 域 交 通	3	2	3	0	8	(5.2%)
第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり						
人 権	0	2	0	0	2	(1.3%)
教 育	1	24	1	5	31	(20.1%)
第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり						
産 業	0	8	1	3	12	(7.8%)
環 境	0	3	0	0	3	(1.9%)
第6章 計画の推進に向けて						
行 政 運 営	0	2	0	2	4	(2.6%)
財 政 運 営	1	0	0	0	1	(0.7%)
広 域 行 政	0	1	0	0	1	(0.7%)
合 計	19 (12.3%)	109 (70.8%)	11 (7.1%)	15 (9.8%)	154 (100.0%)	

(2) 評価結果（今後の方向性）一覧

※表内の「☆」は、補助金等交付事業

事務事業等の名称	今後の方向性	所管課	頁
第1章 市民との協働による地域振興			
◎ コミュニティ			
○ 地域コミュニティ			
地域コミュニティ活性化事業・職員地域担制	廃止・休止・終了	協働推進課	17
○ 交流			
ホストタウン推進事業	廃止・休止・終了	企画政策課	18
国際姉妹都市交流事業	現状維持	企画政策課	19
国際交流推進事業	縮小・見直し	協働推進課	20
◎ パートナーシップ			
○ 市民参加と協働			
協働事業提案制度	縮小・見直し	協働推進課	21
地域連携推進事業	現状維持	協働推進課	22
第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり			
◎ 健康・医療			
○ 健康づくり			
妊婦健康診査事業	現状維持	子ども子育て支援課	23
歯周疾患検診事業	現状維持	健康推進課	24
○ 医療・救急			
休日診療等事業	現状維持	健康推進課	25
休日歯科診療事業	現状維持	健康推進課	26
☆公的病院等運営費補助事業	現状維持	健康推進課	27
○ 社会保障制度			
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	拡充	保険年金課	28
	現状維持	高齢福祉課	29
	現状維持	健康推進課	30
医療費適正化事業	拡充	保険年金課	31
特定健康診査未受診者受診勧奨事業	現状維持	保険年金課	32
☆人間ドック等助成事業（国民健康保険）	現状維持	保険年金課	33
☆人間ドック等助成事業（後期高齢者医療）	現状維持	保険年金課	34
レセプト自動点検事業	現状維持	保険年金課	35
◎ 福祉			
○ 地域福祉			

事務事業等の名称		今後の方向性	所管課	頁
生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業		現状維持	福祉総務課	36
		現状維持	生活福祉課	37
権利擁護推進事業		拡充	福祉総務課	38
○ 子ども・子育て支援				
休日保育事業		現状維持	子ども青少年課	39
とうきょうママパパ応援事業	家事育児サポーター研修事業	廃止・休止・終了	子ども子育て支援課	40
	産後ケア事業	拡充	子ども子育て支援課	41
	出産・子育て応援事業	現状維持	子ども子育て支援課	42
	多胎児家庭支援事業	現状維持	子ども子育て支援課	43
病児保育事業		現状維持	子ども子育て支援課	44
巡回指導・相談事業		現状維持	子ども青少年課	45
子どもショートステイ事業		現状維持	子ども子育て支援課	46
保育コンシェルジュ事業		現状維持	子ども青少年課	47
子どもカフェ運営事業		拡充	子ども子育て支援課	48
☆認可外保育施設利用支援事業補助事業		現状維持	子ども青少年課	49
子どもの医療費助成事業（乳幼児分）		現状維持	子ども青少年課	50
子どもの医療費助成事業（学齢児童分）		拡充	子ども青少年課	51
☆民間保育所施設整備事業		現状維持	子ども青少年課	52
☆民間保育所分園運営費補助事業		現状維持	子ども青少年課	53
☆保育力強化補助事業		現状維持	子ども青少年課	54
☆保育士等キャリアアップ補助事業		現状維持	子ども青少年課	55
☆保育従事職員資格取得支援事業		現状維持	子ども青少年課	56
☆保育従事職員宿舎借上支援事業		現状維持	子ども青少年課	57
☆民間保育所運営費補助事業（保育士採用助成特別加算）		現状維持	子ども青少年課	58
☆民間保育所運営費補助事業（医療的ケア児支援加算）		現状維持	子ども青少年課	59
児童館親子ひろば事業		現状維持	子ども青少年課	60
新・放課後子ども総合プラン事業		拡充	文化振興課	61
○ 高齢者福祉				
☆老人福祉施設整備費助成事業		現状維持	高齢福祉課	62
在宅医療・介護連携推進事業		現状維持	高齢福祉課	63
生活支援体制整備事業		現状維持	高齢福祉課	64
高齢者見守り相談室運営事業		現状維持	高齢福祉課	65

事務事業等の名称		今後の方向性	所管課	頁
	認知症施策推進事業	現状維持	高齢福祉課	66
第3章 安全で快適なまちづくり				
◎ 安全・安心				
○ 災害対策				
	非常用可搬型外部給電器配備事業	現状維持	防災安全課	67
	(仮称)防災食育センター整備事業	拡充	学校給食課	68
	防災行政無線屋外拡声子局改修事業	廃止・休止・終了	防災安全課	69
	☆ブロック塀撤去工事等助成金交付事業	現状維持	防災安全課	70
	雨水対策事業	現状維持	道路下水道課	71
	(主)84号線雨水対策事業	現状維持	道路下水道課	72
	☆防災士資格取得支援事業	縮小・見直し	防災安全課	73
	一般河川整備事業	現状維持	道路下水道課	74
	道路雨水吸込槽浚渫事業	現状維持	道路下水道課	75
○ 消防体制				
	防火水槽整備事業	現状維持	防災安全課	76
	☆消防団準中型・中型免許取得補助事業	現状維持	防災安全課	77
	消火栓改修事業	現状維持	防災安全課	78
○ 交通安全				
	交通安全対策事業	現状維持	道路下水道課	79
○ 防犯対策				
	雷塚公園防犯カメラ更新事業	廃止・休止・終了	環境課	80
	防犯灯設置事業	現状維持	道路下水道課	81
	自動通話録音機貸与事業	拡充	防災安全課	82
◎ 都市基盤				
○ 都市づくり				
	新青梅街道沿道まちづくり推進事業	縮小・見直し	都市計画課	83
	都市核地区土地区画整理事業	拡充	区画整理課	84
	用途地域等の見直しに伴う都市計画変更事業	現状維持	都市計画課	85
	村山工場跡地関連事業	現状維持	都市計画課	86
	都営村山団地再生計画関連事業	現状維持	都市計画課	87
	横田基地軍民共同使用推進事業	現状維持	企画政策課	88
	地籍調査事業	現状維持	道路下水道課	89
○ 道路				
	幹線道路等の整備			


事務事業等の名称		今後の方向性	所管課	頁
	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業	現状維持	都市計画課	90
	立川都市計画道路3・4・40号線整備事業	現状維持	都市計画課	91
	立川都市計画道路3・5・20号線整備事業	現状維持	都市計画課	92
	(主)1号線交差点整備事業	現状維持	道路下水道課	93
	(主)2号線交差点整備事業	現状維持	都市計画課	94
	(主)12号線拡幅整備事業	現状維持	道路下水道課	95
	榎地区まちづくり事業	拡充	都市計画課	96
生活道路の整備				
	(主)66号線拡幅整備事業	現状維持	道路下水道課	97
	国立感染症研究所周辺道路整備事業	現状維持	道路下水道課	98
	市道隅切等整備事業	現状維持	道路下水道課	99
道路環境の整備				
	既設道路整備事業	拡充	道路下水道課	100
	☆私道整備補助事業	現状維持	道路下水道課	101
○ 下水道				
	公共汚水柵設置事業	現状維持	道路下水道課	102
	管渠改良事業	拡充	道路下水道課	103
	下水道ストックマネジメント事業	現状維持	道路下水道課	104
	空堀川上流雨水幹線整備事業	現状維持	道路下水道課	105
○ 廃棄物処理とリサイクル				
	廃棄物資源分別事業	縮小・見直し	ごみ対策課	106
	家庭ごみ有料化準備事業	拡充	ごみ対策課	107
	生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」モニター事業	縮小・見直し	ごみ対策課	108
◎ 地域交通				
○モノレール推進				
	多摩都市モノレール延伸促進事業	拡充	交通企画・モノレール推進課	109
	☆「モノレールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業	縮小・見直し	交通企画・モノレール推進課	110
	多摩都市モノレール関連調査事業	拡充	交通企画・モノレール推進課	111
	新青梅街道沿道交通施設等調査検討事業	現状維持	都市計画課	112
○ 地域交通				
	地域公共交通検討事業	現状維持	交通企画・モノレール推進課	113
	☆市内循環バス運行経費補助事業	縮小・見直し	交通企画・モノレール推進課	114
	☆市内循環バス車両購入経費補助事業	縮小・見直し	交通企画・モノレール推進課	115

事務事業等の名称		今後の方向性	所管課	頁
	乗合タクシー運行事業	拡充	交通企画・モノ レール推進課	116
第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり				
◎ 人権				
○男女共同参画				
	男女共同参画推進事業	現状維持	協働推進課	117
	ウイメンズチャレンジプロジェクト事業	現状維持	協働推進課	118
◎ 教育				
○学校教育				
教育環境の整備				
	巡回相談員配置事業	現状維持	教育指導課	119
	登下校路防犯カメラ更新事業	現状維持	教育総務課	120
	適応指導教室機能強化事業	現状維持	教育指導課	121
社会の変化に対応した教育の推進				
	英語検定事業	現状維持	教育指導課	122
	補助教員派遣事業	現状維持	教育指導課	123
	地域未来塾事業	拡充	文化振興課	124
	部活動支援事業	現状維持	教育指導課	125
	学校司書配置事業	現状維持	教育指導課	126
教育施設・設備の充実				
	消火設備改修事業	現状維持	教育総務課	127
	消防設備器具改修事業	現状維持	教育総務課	128
	校舎屋上防水改修事業	現状維持	教育総務課	129
	校舎窓枠等建具改修事業	現状維持	教育総務課	130
	校舎内部改修事業(トイレ改修)	現状維持	教育総務課	131
	校舎外装改修事業	現状維持	教育総務課	132
	小荷物運搬昇降機取替事業	現状維持	教育総務課	133
	放送設備改修事業	現状維持	教育総務課	134
	屋内運動場床面改修事業	現状維持	教育総務課	135
	屋内運動場屋根及び外装改修事業	現状維持	教育総務課	136
	大南学園第七小学校屋内運動場鉄骨梁塗装改修事業	廃止・休止・終了	教育総務課	137
	校舎及び屋内運動場窓枠等建具改修事業	廃止・休止・終了	教育総務課	138
	自家用電気工作物更新事業	現状維持	教育総務課	139
	校舎窓枠転落防止手摺設置事業	廃止・休止・終了	教育総務課	140

事務事業等の名称		今後の方向性	所管課	頁
	児童・生徒等安全対策事業	現状維持	教育総務課	141
	小・中学校指導書等購入事業	現状維持	教育指導課	142
○生涯学習				
	(仮称)生涯学習センター整備事業	現状維持	文化振興課	143
	市民会館施設改修事業	現状維持	文化振興課	144
	大南地区学習等供用施設空調設備等改修事業	現状維持	文化振興課	145
	中藤地区学習等供用施設外壁塗装及び屋上防水改修事業	廃止・休止・終了	文化振興課	146
○スポーツ・レクリエーション				
	東京2020オリンピック聖火リレー事業	廃止・休止・終了	企画政策課	147
	☆総合型地域スポーツクラブ支援事業	現状維持	スポーツ振興課	148
	☆スポーツ少年団支援事業	縮小・見直し	スポーツ振興課	149
第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり				
◎ 産業				
○農業				
	☆都市農地保全支援プロジェクト事業	現状維持	産業観光課	150
	市街化調整区域内道路整備事業	現状維持	道路下水道課	151
	☆体験型市民農園事業	現状維持	産業観光課	152
○商・工業				
	☆新型コロナウイルス感染症予防対策補助事業	廃止・休止・終了	産業観光課	153
	☆武蔵村山地域ブランド創造活動事業	現状維持	産業観光課	154
	創業支援事業	現状維持	産業観光課	155
	☆安心安全・エコ住宅等改修助成事業	縮小・見直し	産業観光課	156
	☆商店街振興事業	現状維持	産業観光課	157
	☆企業誘致促進事業	現状維持	産業観光課	158
○観光				
	緑が丘地区暫定管理事業	廃止・休止・終了	産業観光課	159
	☆武蔵村山観光まちづくり協会助成事業	現状維持	産業観光課	160
	温泉施設設備改修事業	廃止・休止・終了	産業観光課	161
◎ 環境				
○公園・緑地				
	野山北・六道山公園(総合運動公園)整備事業	現状維持	都市計画課	162
	都市公園施設改修事業	現状維持	環境課	163
	☆樹林等保全事業	現状維持	環境課	164
第6章 計画の推進に向けて				

事務事業等の名称	今後の方向性	所管課	頁
◎ 行政運営			
○行政運営			
庁舎空調機器更新事業	廃止・休止・終了	総務契約課	165
文書管理システム導入事業	現状維持	文書法制課	166
A I ・ R P A 導入事業	現状維持	行政経営課	167
無停電電源装置部品更新事業	廃止・休止・終了	行政経営課	168
◎ 財政運営			
○財政運営			
公金スマートフォンアプリ決済収納代行業務委託事業	拡充	収納課	169
◎ 広域行政			
○広域行政			
広域連携推進事業	現状維持	企画政策課	170

(3) 内部評価調書

事務事業の概要	事務事業名	地域コミュニティ活性化事業・職員地域担当制	事務事業が該当する長期総合計画に掲げる施策
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ（地域コミュニティ）	
	所管部署	協働推進 部 協働推進 課 協働推進 係 内線 242	
	根拠法令等	武蔵村山市職員地域担当制実施要綱	事務事業が該当する SDGs のゴール
目的	各地域における課題の解決に向けて、その地域に居住する市民を主とする構成員と協働で取り組むことにより、市民同士の交流を促進するとともに、地域力の強化を図る。また、市職員も参画することにより、地域と市の結びつきを強化し、市民の意向を市政運営に反映させる。	SDGsの取組 17 パートナリプで目標を達成しよう	
内容	各小学校通学区域における地域みんなでまちづくり会議の構成員が主体となり、職員地域担当制により派遣される市職員とともに、身近な課題の解決や各区域の活性化などを話し合うことにより、市民主体の自主的なまちづくりを推進する。		

評価指標	指標名	単位	区別	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	地域みんなでまちづくり会議開催回数	回
			実績	0	0	
			達成率	—	—	
2			目標	—	—	—

本報告書の公表までに予算を補正している場合は、その額を記載

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	0	
財源内訳					
一般財源		—	—	—	
国都支出金		—	—	—	
その他		—	—	—	
会計年度任用職員以外の職員（千円）		3,734	798	0	
所要人員（人）		0.46	0.10	0.00	
会計年度任用職員（千円）		0	0	0	
所要人員（人）		0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		3,734	798	0	

事務事業の実施状況や実績などを視点別に分析したもの

視点別の分析	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
地域みんなでまちづくり会議及び職員地域担当制については、行政評価の評価結果に対する行政評価委員会からの意見を受け、廃止した。	

視点別の分析や課題を踏まえて事務事業の今後の方向性を示すとともに、成果及びコストの両面から今後の実施方針を示すもの

令和4年度の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
行政評価の評価結果に対する行政評価委員会からの意見を受け、令和3年度をもって事業を廃止した。																							
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
向上																							
維持																							
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																							

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（国民健康保険）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療被保険者が人間ドック又は脳ドックを受診した場合に、その費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康の保持増進を図ることを目的とする。		
内容	①日本人間ドック学会の1日ドック基本検査項目表の必須項目全てを含む場合 2万円 ②特定健康診査の実施に関する基第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目を全て含む場合 1万円 ③脳ドック受診 2万円			
	対象（交付先）	国民健康保険被保険者（40歳以上）		

事務事業が該当する長期総合計画に掲げる施策

事務事業が該当するSDGsのゴール



事業の成果や活動量を示す指標

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1 特定健康診査の受診率向上につながった受診者数（平成29年度比）の割合	%	目標	15	17	19
			実績	▲17.8	7	
2		目標				

本報告書の公表までに予算を補正している場合は、その額を記載

補助金	事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見があった。
	交付金額（千円）	2,706	3,360	5,000	
人件費	一般財源	2,706	3,360	5,000	他市等の状況 ●人間ドック助成：14自治体実施 ●脳ドック助成：9自治体実施 ●婦人科ドック助成：1自治体実施 (いずれも令和2年度現在、26市中、市を除く)
	国都支出金	0	0	0	
合計（補助金+人件費）		3,247	3,750	5,646	交付団体の決算予算の状況や、交付した市補助金の用途を示すもの

収入	交付団体等の決算予算の状況	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	総額（千円）	0	0	0	
支出	市補助金	-	-	-	使途内訳
	総額（千円）	0	0	0	

補助金等の交付対象が市民である場合や交付団体等の決算予算の状況を把握していない場合は「-」を記載

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
補助内容や補助額の見直しは可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

事務事業の実施状況や実績などを視点別に分析したもの

所管課の評価	令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	●人間ドック助成 175件：3,180,000円 (内訳：2万円助成143件、1万円助成32件) ●脳ドック助成 9件：180,000円 (内訳：2万円助成9件)	●助成要件の項目が53項目と多く、1項目でも欠けると助成金額が減額されることから、市民にとって分かりにくいものとなっている ●既に疾病助成要件の●実施医療査を実施しめ、実施医


視点別の分析や課題を踏まえて事務事業の今後の方向性を示すとともに、成果及びコストの両面から今後の実施方針を示すもの

所管課の評価	令和4年度の方針	今後の方針
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業としては有効であるため、令和4年度も引き続き助成を実施する。 しかしながら、被保険者からは助成要件が分かりにくい、助成申請時には助成金額がわからない等の意見が多く寄せられているのも現状である。本助成事業の実施に当たっては、市医師会の強い要望により助成要件を定めているため、その変更について了承が得られず要綱改正等には至っていない。 一方、本助成により特定健康診査を実施したとみなすため、その受診率の向上にも寄与していることから、引き続き助成は継続しつつ、助成要件の変更について医師会に働きかけるとともに、被保険者に受け入れやすい制度となるよう検討していきたい。	コスト

成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域コミュニティ活性化事業・職員地域担当制			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 1 地域コミュニティ			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	武蔵村山市職員地域担当制実施要綱			
目的	各地域における課題の解決に向けて、その地域に居住する市民を主とする構成員と協働で取り組むことにより、市民同士の交流を促進するとともに、地域力の強化を図る。また、市職員も参画することにより、地域と市の結びつきを強化し、市民の意向を市政運営に反映させる。			SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう	
内容	各小学校通学区域における地域みんなでまちづくり会議の構成員が主体となり、職員地域担当制により派遣される市職員とともに、身近な課題の解決や各区域の活性化などを話し合うことにより、市民主体の自主的なまちづくりを推進する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	地域みんなでまちづくり会議開催回数	回	目標	—	—	—
				実績	0	0	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,734	798	0
	所要人員(人)	0.46	0.10	0.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		3,734	798	0

市民・議会等から寄せられた意見	
●	会議の参加者からは、「有益な情報を得られる」などの肯定的な意見がある反面、「会議への参加が負担」、「他の会議との違いがわからない」など否定的な意見があった。
●	行政評価委員会からは、市民の自主的な行動が誘発されず、地域コミュニティの活性化の機運が高まらなかったことなど、本事業が期待した成果に結びつかなかったことから、二次評価と同様に廃止も異論なしとの意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当		
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
	施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

所管課の評価	令和3年度の実績		事務事業の推進に当たった課題																					
	地域みんなでまちづくり会議及び職員地域担当制については、行政評価の評価結果に対する行政評価委員会からの意見を受け、廃止した。		—																					
	令和4年度の方針																							
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
行政評価の評価結果に対する行政評価委員会からの意見を受け、令和3年度をもって事業を廃止した。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	ホストタウン推進事業		
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 2 交流		
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係 内線 373
	根拠法令等	ホストタウン推進要綱		
目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とした、モンゴル国との相互交流を推進する。	SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう		
内容	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に、ホストタウンとして決定したモンゴル国の子ども達を招待して、交流事業を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	交流事業の実施	—
			実績	延期	中止	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	74	0		令和3年3月予算特別委員会において、「コロナ禍の実際の行き来ができない中で、オンラインなどを活用し子どもたちの国際交流を進めていってほしい」との意見があった。
財源内訳	一般財源	-	74	-		
	国都支出金	-	0	-		
	その他	-	0	-		
	会計年度任用職員以外の職員(千円)	262	515	0		
人件費	所要人員(人)	0.03	0.06	0.00		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		262	589	0		

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、令和2年度に実施予定であった東京2020オリンピック競技大会の延期により、7月、8月の大会開催に合わせて、本市とモンゴル国の子どもたちの競技観戦を予定していたが、オリンピックが無観客での開催となったことから観戦は中止とした。 また、代替事業として、オンラインを活用した交流事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 事業費については、モンゴル国との連絡調整業務の委託に要した費用である。	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
「ホストタウン」については、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、大会参加国との相互交流を図ることを目的としている。 ホストタウン推進事業としては、令和3年度をもって終了とし、令和4年度からは国際姉妹都市交流事業の枠組みで国際交流を推進していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	国際姉妹都市交流事業		
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 2 交流		
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係 内線 373
	根拠法令等	—		
	目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後にモンゴル国ウランバートル市ハンオール区と国際姉妹都市又は国際友好都市の協定を締結し、国際交流を推進する。		SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう
内容	モンゴル国ウランバートル市ハンオール区と国際姉妹都市の協定を締結し、交流事業を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				1	交流事業の実施	—	目標
				実績	延期	中止	
				達成率	—	—	
2	交流事業以外のモンゴル国関係イベントの実施件数	件	目標	0	1	2	
			実績	0	1		
			達成率	—	100%		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		0	0	155
財源内訳	一般財源	-	-	155
	国都支出金	-	-	0
	その他	-	-	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	987
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.13
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		0	0	1,142

市民・議会等から寄せられた意見


平成31年3月予算特別委員会で「民間団体の交流を促進してほしい」、令和3年3月予算特別委員会で「コロナ禍の実際の行き来ができない中で、オンラインなどを活用し子どもたちの国際交流を進めてほしい」、同年6月市議会定例会一般質問で「協定により交流事業を恒例化してほしい」との意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、日本とモンゴル国の国交樹立50周年となる、令和4年2月を目安に国際姉妹都市の協定の締結に向けて調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響等により中止とした。	モンゴル国との連絡調整に時間を要する。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
新型コロナウイルス感染症の影響が依然として大きい中で、相互の行き来は困難であることから、オンラインを活用した交流を実施する。また、交流事業以外にも、市民の方がモンゴル国について知る機会を創出する。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	国際交流推進事業			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 2 交流			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	—			
	目的	国際化社会の対応と国際理解の推進のため、国際交流事業を推進する。			SDGsの取組 17 パートナシップで目標を達成しよう 
内容	国際化社会への対応を図り、国際理解を推進するため、国際交流事業の検討を行う。 さらに、地域の外国人コミュニティと、自治会等の交流を促進し、市民の国際交流の活性化に努める。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	国際交流事業の実施	—
				実績	中止	中止
				達成率	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—
				達成率	—	—

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
事業費(千円)		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—		
財源内訳	一般財源	0	0	124			
	国都支出金	-	-	0			
	その他	-	-	0			
	合計	0	0	0			
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,624	718	918			
	所要人員(人)	0.20	0.09	0.12			
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)		1,624	718	1,042			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
コロナ禍により、横田基地高校生英語ツアー及び国際理解講座について、開催を中止した。	新型コロナウイルス等の感染症の対策を行って、実施が可能な事業を模索することが必要である。


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

令和2年度から中止している横田基地高校生英語ツアーについては、本市が要望する感染症対策が望めない状況にあり、今後はそれに代わる事業の実施を図る。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	協働事業提案制度			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第2節 パートナーシップ 2 市民参加と協働			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	武蔵村山市協働事業提案制度実施要綱			
目的	暮らしやすい地域社会の形成を目指し、市政への市民参加を促進するとともに、市民による地域の課題等の解決のため、市民との協働によるまちづくりを推進する。			SDGsの取組 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
内容	市民活動団体の専門性や柔軟性等をいかした事業の提案を募集することにより、市政への市民参加を促進するとともに、市民による地域の課題、社会的課題等の解決につなげ、暮らしやすい地域社会の形成を目指す。 事業の提案は、「協働型事業部門」と「団体育成型部門」で募集し、採択された事業に補助金を交付する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	協働事業提案制度の提案団体数（採択のみ） ※令和2年度は提案募集未実施	件	目標	15	15	15
				実績	0	4	
達成率				0%	27%		
2	補助金交付団体数 ※令和2年度は事業未実施	団体	目標	15	15	15	
			実績	0	3		
			達成率	0%	20%		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		47	1,932	1,779
財源内訳	一般財源	47	1,932	1,779
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,137	3,111	1,452
人件費	所要人員（人）	0.14	0.39	0.19
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,184	5,043	3,231


市民・議会等から寄せられた意見	
-	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当		
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度において、令和4年度事業実施団体の募集を行ったところ、5団体から募集があり、その内の4団体の事業が採択された。 また、令和元年度に採択された3団体の事業については、令和2年度に実施を予定していたが、コロナ禍により中止となったため、令和3年度に実施した。	近年は提案件数が減少しており、提案団体をいかに増やすかが課題である。

令和4年度の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
協働型事業の補助額の上限額は、1年目が800,000円、2年目が700,000円、3年目が600,000円であるが、団体活動が補助金頼みであり、協働事業終了後は資金繰りが厳しい状況となることから、上限額を見直し、協働事業終了後においても団体が自己資金で活動できるようにしていきたいと考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																			

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域連携推進事業			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第2節 パートナーシップ 2 市民参加と協働			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	—			
目的	市と大学や企業等が連携・協力し双方の資源を活用することにより、地域課題の解決に努め、市民サービスを効果的に提供することを目的とし、地域連携の推進を図る。			SDGsの取組 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
内容	大学等と連携・協力し、経済・産業・文化等の様々な分野における連携を推進する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	地域包括連携協定の締結件数	件
			実績	0	2	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	82	
財源内訳	一般財源	—	—	82	
	国都支出金	—	—	0	
	その他	—	—	0	
	合計	—	—	82	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	244	80	230	
	所要人員（人）	0.03	0.01	0.03	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		244	80	312	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度において、明治安田生命保険相互会社と大塚製薬株式会社の2社と地域包括連携協定を締結した。	—

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
コカ・コーラボトラーズ株式会社と佐川急便株式会社から地域包括連携協定についての打診があり、現在検討中である。 今後も企業から、地域包括連携協定についての打診があった際には、庁内での意見を集約し、検討を進めて行くこととする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	妊婦健康診査事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	母子保健法		
目的	妊婦の健康管理を支援し、妊産婦及び乳幼児の死亡率低下、障害発生の予防を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	妊婦を対象として、14回分の妊婦健康診査を受診するための受診票を交付する。健康診査の内容は、基本項目（健康状態の把握、検査計測など）及び必要に応じて行う医学的検査（血液検査、超音波検査など）である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	妊婦健康診査（1回から14回まで、子宮頸がん検診、超音波検査及び新生児聴覚検査）の延べ受診者数	人	目標	7,180	6,630
			実績	5,936	5,798	
			達成率	83%	87%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		33,556	32,506	36,423
財源内訳	一般財源	1,556	689	7,423
	国都支出金	0	0	0
	その他	32,000	31,817	29,000
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,624	1,596	1,529
	所要人員（人）	0.20	0.20	0.20
	会計年度任用職員（千円）	129	135	144
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10
合計（事業費+人件費）		35,309	34,237	38,096

市民・議会等から寄せられた意見	
平成29年第2回市議会定例会において、新生児聴覚検査費用の公費助成について要望があった。	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
居住する区市町村以外に所在する医療機関で健康診査が受けられるよう、毎年度、代表団体が東京都医師会と委託契約を締結している。 令和3年度の受診者数は、延べ5,798人であった。	妊娠届出数は予測が難しいため、目標と実績にかい離が生じている。 特に、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、妊娠届出数が減少している（令和元年度：484人、令和2年度：407人、令和3年度：394人）。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、母子保健法第13条に規定する健康診査であり、健康診査の内容は、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準（平成27年厚生労働省告示第226号）」に定められており、本市の事業はこの基準に基づき実施している。 また、令和元年度から当該基準にない新生児聴覚検査費用の公費助成を実施しているが、当該検査は、聴覚異常を早期に発見することにより、専門の施設での適切な支援につなぐことができるため、今後とも継続する必要があると考える。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減 維持 増加		
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	歯周疾患検診事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり				
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係	内線	212
	根拠法令等	健康増進法				
目的	歯を失う大きな原因となっている歯周病の予防と早期発見を推進し、高齢期において健康で快適な生活が送れるように支援する。			SDGsの取組		
内容	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、歯科健診、歯周ポケット測定、結果説明等（65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査も実施）			 3 すべての人に健康と福祉を		

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	歯周疾患検診受診者数	人	目標	400	400	450
								実績	407	446
達成率	102%	112%								
2	歯周疾患検診要精検者数	人	目標	—	—	—				
				実績	285	329				
				達成率	—	—				

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		2,702	2,973	2,970
財源内訳	一般財源	1,658	1,952	1,460
	国都支出金	815	723	1,510
	その他	229	298	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,029	1,994	1,911
	所要人員（人）	0.25	0.25	0.25
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		4,731	4,967	4,881


市民・議会等から寄せられた意見	
歯科医師会から計画人員を増員してほしいという要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施していない	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
受診期間：令和3年6月1日～11月30日 対象者：40歳以上の市民（令和3年度中に40歳となる方を含む） 検診内容：問診・歯科健診・歯周ポケット測定・結果説明等 65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査 指定歯科医療機関：18歯科医療機関 ※市報、市ホームページのほか公共施設、医療機関等でポスターを掲示し、本事業を周知した。	受診期間終了前に計画人員を超えてしまい、希望者全員が受診できない状況である。歯科医師会からも計画人員を増員してほしいという要望があった。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 歯周疾患検診は疾病の発見のみならず、検診の実施により自己管理能力を高揚させ、実践へ結び付けることにより、豊かな高齢期を迎えることを目的としている。さらに、生活習慣の改善を行うことが発症予防及び重症化予防を進める上で重要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日診療等事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
	目的	日曜、祝日、年末年始において症状に応じた適切な医療が受けられる体制を確保するため、入院を必要としない軽症患者に対する初期（一次）救急を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるように努める。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	①休日診療：日曜、祝日、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） ②休日準夜診療：日曜、祝日に実施（午後5時30分から午後8時30分まで） 実施場所：①②ともに保健相談センター			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				目標	実績	達成率
1	休日急患診療受診者数	人	目標	—	—	—
				199	248	
				—	—	
2	休日準夜診療受診者数	人	目標	—	—	—
				45	41	
				—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		24,019	23,725	23,940	
財源内訳	一般財源	18,570	18,314	18,312	
	国都支出金	5,449	5,411	5,628	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		24,101	23,805	24,017	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症対応のため、受診前にかしめ電話で相談することを周知している。当初は、PCR等検査を実施していなかったため、発熱患者を診ることが困難であったが、12月より抗原検査を実施できる体制を整えた。 休日急患診療受診者数：248人 休日準夜診療受診者数：41人	休日診療から休日準夜診療まで通して診療を行うため、医師等への負担が大きい。 しかし、休日準夜診療を廃止すると、急病者が迅速に治療を受けることができないほか、入院を必要とする急病者（一次救急）が、二次救急指定医療機関を受診することにより、入院を要する中等症及び重症の患者（二次救急）が医療機関で迅速な治療を受けられず、本来実施すべき二次救急診療を圧迫するおそれがある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 休日等において、新型コロナウイルス感染症をはじめ、急病者が迅速に受診できる医療機関が必要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日歯科診療事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
目的	日曜、年末年始における急病患者において、休日歯科診療を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるように努める。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	休日歯科診療：日曜、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） 実施場所：歯科医師会加入の医療機関1か所持ち回りによる輪番制			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	休日歯科診療受診者数	人	目標	—	—	—
				実績	167	167	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		7,804	7,905	7,929	
財源内訳	一般財源	6,024	6,150	6,148	
	国都支出金	1,780	1,755	1,781	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		7,886	7,985	8,006	

視点別の分析	妥当性	市民との協働により事業を実施しているか		
		市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
日曜、年末年始に休日歯科診療を歯科医師会加入の医療機関1か所持ち回りによる輪番制で実施した。 休日歯科診療受診者数：167人	休日歯科診療受診者数は横ばいであるが、日曜・年末年始に休日歯科診療を廃止すると、急病患者が迅速に治療を受けることができない。平成22年度から平成24年度にかけて、休日歯科診療体制の見直し等を行い、輪番制の導入や経費の削減を行っている。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
休日に於いて、急病患者が迅速に受診できる歯科医療機関が必要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	公的病院等運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	武蔵村山市公的病院等運営費補助金交付要綱		
	目的	救急医療を実施している公的病院等に対して、運営費の一部を補助することにより、救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	特別交付税に関する省令の規定により算定された額（救急告示病院としての病床数、小児救急医療、小児医療のための病床数）を基準とし、予算の範囲内において運営費の一部を補助する。			
対象（交付先）	社会医療法人財団大和会武蔵村山病院			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	救急医療を要する傷病者のための専用病床数	床
			実績	30	30	
			達成率	—	—	
2	小児医療のための専用病床数	床	目標	—	—	—
			実績	24	24	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	49,345	49,252	53,194		—
一般財源	49,345	49,252	53,194		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77	他市等の状況 近隣市においても公的病院等に対して、運営費の補助をしている。
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	49,427	49,332	53,271		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
収入	総額（千円）	0	0	0	交付金額（千円） 49,252
	市補助金	—	—	—	使途内訳
	会費	—	—	—	
	繰越金	—	—	—	
	事業収入	—	—	—	
その他	—	—	—		
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（％）
	交際費、飲食費	—	—	—	
	人件費	—	—	—	
	事業経費	—	—	—	
	その他	—	—	—	
団体収入に占める補助金の割合		—			
団体収入に占める繰越金の割合		—			
交付金額に対する繰越金の割合		—			

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か						
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない	<input type="checkbox"/>	非該当				
				<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	


令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
武蔵村山病院において、救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、小児救急診療事業及び救急医療事業を実施した。	特別交付税に関する省令に基づく不採算地区公的病院等に対して、運営費の一部を補助するものであるが、新型コロナウイルス感染症対応等で病院の負担は増加している。

令和4年度の方針

【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
市民の小児救急及び救急医療の需要に対応し、市民の生命及び健康を守る必要があることから、今後も継続して病院の運営費を補助していく。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 135
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律		
目的	複数の疾患及びフレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、高齢者一人一人の状況に応じたきめ細かな対応を効果的かつ効率的に行うため、東京都後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）と市が連携し、介護保険の地域支援事業及び国民健康保険の保健事業を一体的に実施する「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」（以下「一体的実施」という。）事業を実施する。		SDGsの取組	
内容	保険年金課では、ハイリスクアプローチ（個別的支援）として、糖尿病性腎症及び糖尿病の後期高齢者を対象に、かかりつけ医等の医療機関と連携し、糖尿病性腎症等の重症化予防に必要な保健指導及び医療機関への受診勧奨を実施することで、糖尿病性腎症等の重症化及び糖尿病の合併症を予防するものである。		3 すべての人に健康と福祉を 	

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業の実施	—
2	重症化予防保健指導（目標10人）、未治療者への受診勧奨（目標35人）及び治療中断者への受診勧奨（目標100人）の合計人数	人	目標	—	—	145
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費（千円）				0	0	0	0	2,333	2,333
財源内訳	一般財源			-	-	-	-	2,333	2,333
	国都支出金			-	-	-	-	0	0
	その他			-	-	-	-	0	0
	会計年度任用職員以外の職員（千円）			4,221	11,007	4,221	11,007	10,775	10,775
人件費	所要人員（人）			0.52	1.38	0.52	1.38	1.41	1.41
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0	0	0	0
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）				4,221	11,007	4,221	11,007	13,108	13,108

市民・議会等から寄せられた意見


—

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、以下の取組を実施した。 ●糖尿病性腎症等重症化予防事業を令和4年度当初予算に計上 ●事業実施に向けた三師会との調整 ●広域連合との受託契約に必要な、一体的実施に係る基本的な方針を策定 ●保健指導を行う委託業者を確定	令和4年度は事業実施の初年度であるため、東京都後期高齢者医療広域連合及び受託業者等と連携し、円滑な事業運営に努める必要がある。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和2年4月1日に施行された「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」には、東京都後期高齢者医療広域連合との連携のもと、市区町村が中心となって高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進するための体制の整備等に関する規定が盛り込まれた。また、厚生労働省作成の健康寿命延伸プランにおいて、令和6年度までに全市区町村にて実施する方針が示されたことから、令和4年度から本事業を実施する。 令和元年度から実施に向けた検討を進め、糖尿病性腎症等の重症化予防を実施することになったが、事業開始の初年度である令和4年度の結果を踏まえて、見直しを行い、必要な措置を講じる必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
	目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	「お互いさまサロンの参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、日常生活圏域ごとに1か所、計4か所の通いの場において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			


事務事業の実施状況	評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
		1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	—	—	100		
					実績	—	—			
					達成率	—	—			
		2	事業の前後で口腔機能が変化した人数（維持・改善）の割合	%	目標	—	—	100		
					実績	—	—			
	達成率				—	—				
	事業経費				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見		
	事業費（千円）				0	0	714	—		
	財源内訳	一般財源			-	-	0			
国都支出金			-	-	0					
その他			-	-	714					
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0	479	612				
	所要人員（人）			0.00	0.06	0.08				
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0				
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）				0	479	1,326				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	令和4年度新規事業であるため、令和3年度は実績なし。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる通いの場の拡大 ●「口腔」と「栄養」に係る事業プログラムの検討

所管課の評価	令和4年度の方針																										
	【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
	本事業は、高齢者の医療の確保に関する法律第125条の2第1項に規定するものであり、令和4年度は事業開始年度となるため、計画どおり事業を実施し、事業年度の終了時に実績や成果の評価及び課題の分析を行い、次年度に向けた当該事業の方向性の検討等を行う。																										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の方針</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
	今後の方針		コスト																								
		削減	維持	増加																							
成果	向上			○																							
	維持																										
	低下																										
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																											

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
	目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	「お互いさまサロンの参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、日常生活圏域ごとに1か所、計4か所の通いの場において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			


事務事業の実施状況	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	—	—	100	
				実績	—	—		
				達成率	—	—		
	2	事業の前後で口腔機能が変化した人数（維持・改善）の割合	%	目標	—	—	100	
				実績	—	—		
				達成率	—	—		
	事業経費				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
	事業費（千円）				0	0	0	
	財源内訳	一般財源			-	-	-	
国都支出金			-	-	-			
その他			-	-	-			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0	0	994		
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.13		
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0		
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）				0	0	994		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	令和4年度新規事業であるため、令和3年度の実績なし。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる通いの場の拡大 ●「口腔」と「栄養」に係る事業プログラムの検討

所管課の評価	令和4年度の方針																										
	【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
	本事業は、高齢者の医療の確保に関する法律第125条の2第1項に規定するものであり、令和4年度は事業開始年度となるため、計画どおり事業を実施し、事業年度の終了時に実績や成果の評価及び課題の分析を行い、次年度に向けた当該事業の方向性の検討等を行う。																										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の方針</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
	今後の方針		コスト																								
		削減	維持	増加																							
成果	向上			○																							
	維持																										
	低下																										
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																											

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	医療費適正化事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度			
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線 138
	根拠法令等	国民健康保険法			
	目的	健康課題に基づく個別の保健事業を推進することで、国民健康保険被保険者の健康増進、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病の発症や重症化予防等を図ることを目的とする。			SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	本市の健康課題に対応した個別の保健事業を実施する。保健事業は以下のとおりである。 ①生活習慣病治療中断者受診勧奨事業、②糖尿病性腎症重症化予防・受診行動適正化事業、③ジェネリック医薬品利用促進事業、④COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業、⑤骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	
				達成率		達成率		達成率		
1	健康寿命（男性/女性） ＝平均自立期間	歳	目標	79.2	83.0	79.4	83.2	79.5	83.3	
				実績	79.5	82.6	79.4	83.3		
				達成率	100%	100%	100%	100%		
2	1人当たり医療費の減少額 （月額）	円	目標	24,439		23,217		22,056		
				実績	24,129		26,493			
				達成率	99%		114%			

事業経費				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）				11,491	12,633	16,888
財源内訳	一般財源			0	0	0
	国都支出金			9,915	11,145	15,157
	その他			1,576	1,488	1,731
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			16,313	12,124	9,171
	所要人員（人）			2.01	1.52	1.20
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）				27,804	24,757	26,059

市民・議会等から寄せられた意見

—

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
視認性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>【実施した個別の保健事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健診異常値受診勧奨事業 勧奨通知送付数：60件/保健指導実施者：7人 ●生活習慣病治療中断者受診勧奨事業 勧奨通知送付数：59件/保健指導実施者：12人 ●糖尿病性腎症重症化予防・受診行動適正化事業 勧奨通知送付数：145件/保健指導実施者：9人 ●ジェネリック医薬品利用促進事業 通知件数：1,401件（4回発送） ●COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業 勧奨通知送付数：245件 ●受診行動適正化保健指導事業 通知送付数：60件/保健指導実施者：3人 	<p>委託事業者を活用して実施しているが、個別の保健事業における保健指導等において参加者をフォローするには、本市の資源を活用できる市職員（専門職）の関与が重要であるため、専門職の確保が急務である。また、各事業の計画、対象者の抽出、事業の実施・進行管理、事業の効果分析等、専門の知識を必要とし、現在、担当者1名で遂行しているが、国や東京都からの要求が年々増えており適正な事業実施のために毎月40時間以上の時間外勤務が発生している。</p>

令和4年度の方針																						
<p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>国民健康保険データヘルス計画に掲げる「健康寿命の延伸」及び「医療費の適正化」の達成のため、健康課題に対応した個別の保健事業を実施し、生活習慣病の重症化等を予防することにより、将来的な医療費の適正化を図るものである。本事業は国民健康保険制度の安定的な財政運営を持続させるためにも重要である。</p> <p>また、保健事業の推進に当たっては、PDCAサイクルを用いることで本市の実情に合わせた既存事業の拡充や新規事業の実施を図るなど、将来を見据えた事業推進により目標達成するよう努めている。具体的には、個別の保健事業について、毎年度、4つの評価指標を用いて計画、実施、評価を行っており、東京都や国民健康保険団体連合会等の第三者による事業評価も活用しながら、効果的かつ効率的に事業が実施できるよう努めている。</p> <p>令和4年度は一部の事業を拡充しつつ、引き続き、被保険者に寄り添った事業が実施できるよう取り組んでいく。また、令和5年度にはデータヘルス計画の最終年度を迎えることから、次期計画の策定に向けて分析評価を進めるとともに、庁内外の関係機関との連携を更に強化していきたい。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</p>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	特定健康診査未受診者受診勧奨事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度				
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線	138
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第20条				
目的	国民健康保険被保険者が自らの健康リスクを把握し、生活習慣病の発症及び重症化を予防する契機となる特定健康診査の受診者を増やすため、受診勧奨を実施し、受診率の向上を図ることを目的とする。				SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	効果的に受診へと導くために、人工知能やナッジ理論を用いた通知による受診勧奨を実施する。また、医療機関や保険薬局、スーパーマーケット等へのポスター掲示や大型商業施設へのデジタルサイネージ広報、保健師による電話勧奨などの効果的な取組等を積み重ねて周知を図る。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	特定健康診査受診率	%	目標	54.5	56.3	58.1
				実績	48.6	50.8	
達成率				89%	90%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	3,961	5,079	5,217			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,543	1,596	1,835			
所要人員(人)	0.19	0.20	0.24			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	5,504	6,675	7,052			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
視点的分析	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<ul style="list-style-type: none"> ●受診勧奨通知【1回目】令和3年5月19日 7,965件 【2回目】令和3年9月9日 5,259件 勧奨通知後の受診者(人数) 2,265人(29.2%) ●はがきによる受診勧奨：令和3年7月9日 初回健診である40歳：146件 受診率の低い残堀地区の60歳～63歳：54件 通知後の受診者(件数)：59件(29.5%) ●電話による勧奨：令和3年10月6日から10月11日まで100件架電 架電後の受診者(件数)：29件(29%) ●その他、医療機関、保険薬局、公共施設へのポスター掲示、大型商業施設でのデジタルサイネージ、自治会回覧板、SNS等を活用して周知に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康寿命延伸の大きな阻害要因に生活習慣病がある。その生活習慣病の予防、早期発見、重症化予防の入口であり要である特定健康診査の受診率が伸び悩み、目標値を達成できない状況が続いている。 ●地域により、受診者の偏りがある。 ●未経験者(一度も受診したことがない者)と不定期受診者等の健康無関心層への行動変容を促す「コール・リコール」に取り組んでいるが、全員が行動変容するに至っていない。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
成果	向上		
	維持	○	
	低下		
	維持		

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（国民健康保険）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療被保険者が人間ドック又は脳ドックを受診した場合に、その費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康の保持増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	①日本人間ドック学会の1日ドック基本検査項目表の必須項目全て含む場合 2万円 ②特定健康診査の実施に関する基第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目を全て含む場合 1万円 ③脳ドック受診 2万円			
対象（交付先）	国民健康保険被保険者（40歳以上を対象）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	特定健康診査の受診率向上につながった受診者数（平成29年度比）の割合	%
			実績	▲17.8	7	
			達成率	-119%	41%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	2,706	3,360	5,000		市民から助成要件等が分かりにくいとの意見があった。
一般財源	2,706	3,360	5,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 ●人間ドック助成：14自治体実施 ●脳ドック助成：9自治体実施 ●婦人科ドック助成：1自治体実施 (いずれも令和2年度現在、26市中、本市除く)
所要人員（人）	0.00	0.00	0.03		
会計年度任用職員（千円）	541	390	416		
所要人員（人）	0.42	0.29	0.29		
合計（補助金+人件費）	3,247	3,750	5,646		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 3,360
市補助金	-	-	-	-	使途内訳
会費	-	-	-	-	
繰越金	-	-	-	-	
事業収入	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-	-	—
事業経費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合
その他	-	-	-	-	—
					交付金額に対する繰越金の割合
					—

視点別の分析	項目	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
●人間ドック助成 175件：3,180,000円 (内訳：2万円助成143件、1万円助成32件) ●脳ドック助成 9件：180,000円 (内訳：2万円助成9件)	●助成要件の項目が53項目と多く、1項目でも欠けると助成金額が減額されることから、市民にとって分かりにくいものとなり、改善を求める声もある。 ●既に疾病があり、検査ができない項目があった場合でも、助成要件の欠損として助成金額が減額される。 ●実施医療機関によって使用する結果表の様式が異なり、検査を実施していても結果表に記載されないケースがあるため、実施医療機関への電話等による確認が必要である。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																				
疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業としては有効であるため、令和4年度も引き続き助成を実施する。 しかしながら、被保険者からは助成要件が分かりにくい、助成申請時には助成金額がわからない等の意見が多く寄せられているのも現状である。本助成事業の実施に当たっては、市医師会の強い要望により助成要件を定めているため、その変更について了承が得られず要綱改正等には至っていない。 一方、本助成により特定健康診査を実施したとみなすため、その受診率の向上にも寄与していることから、引き続き助成は継続しつつ、助成要件の変更について医師会に働きかけるとともに、被保険者に受け入れやすい制度となるよう検討していきたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下				
今後の方針		コスト																		
成果	向上	削減	維持	増加																
		維持		○																
低下																				
	(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																			

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（後期高齢者医療）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 135
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	後期高齢者医療被保険者に対して、人間ドック又は脳ドックの受診費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し健康の保持増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	①日本人間ドック学会の1日ドック基本検査項目の必須項目全てを含む場合 2万円 ②特定健康診査の実施に関する基準第1条第1号から第9号までに規定する項目が全て含まれている人間ドック 1万円 ③脳ドック受診 2万円			
対象（交付先）	後期高齢者医療被保険者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	受診者数	人
			実績	39	52	
			達成率	78%	104%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	620	920	1,000		市民から助成要件等が分かりにくいとの意見があった。
一般財源	502	776	690		
国都支出金	0	0	0		
その他	118	144	310		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 26市中14市が実施している（令和3年度現在）。
所要人員（人）	0.00	0.00	0.01		
会計年度任用職員（千円）	541	390	416		
所要人員（人）	0.42	0.29	0.29		
合計（補助金+人件費）	1,161	1,310	1,493		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	920
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効果性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●人間ドック助成 39件：660,000円 （内訳：1万円助成12人、2万円助成27人） ●脳ドック助成 13件：260,000円 （内訳：2万円助成13人） 	<ul style="list-style-type: none"> ●助成要件の項目が53項目と多く、1項目でも欠けると助成額が減額されることから、市民にとって分かりにくいものとなっており、改善を求める声もある。 ●既に疾患があり、検査ができない項目があった場合でも、助成要件の欠損として助成金額が減額される。 ●実施医療機関によって使用する結果表の様式が異なり、検査を実施していても結果表に記載されないケースがあるため、実施医療機関への電話等による確認が必要である。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
<p>難病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業としては有効であるため、令和4年度も引き続き助成を実施する。</p> <p>しかしながら、被保険者からは助成要件が分かりにくい、助成申請時には助成金額が分からない等の意見が多く寄せられているのも現状である。本助成事業の実施に当たっては、市医師会の強い要望により助成要件を定めているため、その変更について了承が得られず要綱改正等には至っていない。</p> <p>引き続き助成は継続しつつ、助成要件の変更について医師会に働きかけるとともに、被保険者に受け入れやすい制度となるよう検討していきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	レセプト自動点検事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	「国民健康保険の診療報酬明細書点検事務調査事務処理要領について」（昭55.5.10保険発第42号）		
	目的	診療報酬明細書等（以下「レセプト」という。）の点検業務を実施することにより適正な療養給付費の支出を維持するとともに、医療費の適正化及び国民健康保険事業の健全化を図ることを目的とする。	SDGsの取組 10人や国の不平等をなくそう	
内容	レセプトの点検業務について、職務経験や専門知識の有無にかかわらず実施可能となる人工知能（AI）を搭載したレセプト自動点検システム及びRPAツールを利用し、業務精度の向上及び効率的な点検を実施する。			



評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	財政効果額	円	目標	1,192	1,368
			実績	1,592	1,786	
			達成率	134%	131%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）	678	449	1,428
財源内訳			
一般財源	678	449	1,428
国都支出金	0	0	0
その他	0	0	0
人件費			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,192	2,234	1,070
所要人員（人）	0.27	0.28	0.14
会計年度任用職員（千円）	374	390	416
所要人員（人）	0.29	0.29	0.29
合計（事業費+人件費）	3,244	3,073	2,914

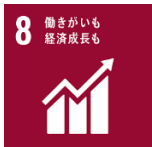
市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	市民のニーズに適合しているか
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響
	影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	民間委託等は可能か
	困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【点検件数】 246,764件 月平均20,564件 【費用(税込)】 1件当たり：0.88円 RPA使用料(年間)：231,000円	限られた人員の中で効果的かつ効率的に点検するために、令和2年度よりAI及びRPAを活用した自動点検システムを導入したものである。導入により短時間で効果的な点検業務ができ、費用についても抑えられていることから現時点での課題はない。 導入から2年と経過年数が浅いため、引き続き事業評価を継続し、更に効果的な事業推進ができるよう検討していく。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 医療機関からの診療報酬（医療費）の請求はレセプトにより行われ、審査委員会の審査を経て、支払いの根拠として保険者に送付される。診療報酬等支払いの適正化を図るためには、レセプトの点検及び確認が保険者としての責務である。 しかしながら、レセプトの点検は専門的な知識を要することから、職員が行うのは困難であり、従来からその業務を委託し、点検員の目視による点検を実施してきたところである。目視では一度に点検できる件数に限界があることから、令和2年度より、AI及びRPAを活用した自動点検システムを利用することによって、職務経験や専門知識の有無にかかわらず点検業務が実施可能となった。一サイクルに要する業務時間は従来の約1か月から2日程度に短縮され、費用も3分の1程度となり、短時間で効果的な点検業務の実施が可能となった。 令和4年度も引き続き当該システムによる点検を実施し、医療費の適正化を図る。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持																				
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉			
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	市民なやみごと相談 係	内線 155
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法			
目的	直ちに就労を開始することが難しい生活困窮者及び生活保護受給者に対して、最終目標である就労への道筋をつけることを目的とする。			SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も	
内容	直ちに就労を開始することが難しい生活困窮者及び生活保護受給者に対して、個々の状態に応じた生活指導や社会参加訓練を実施する。 また、就労の開始に限らず障害認定を支援するなど、各種福祉制度を活用して利用者を社会的に自立させることも本事業に含まれる。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	就労準備等支援事業実施者数	人
			実績	3	3	
			達成率	100%	100%	
2	就労準備等支援事業継続者数	人	目標	3	3	3
			実績	2	3	
			達成率	67%	100%	

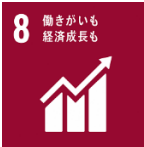
事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 平成28年第1回市議会の一般質問において、市議会議員より生活保護受給者への就労支援についての質問があり、就労準備支援事業に取り組むと回答している。
事業費(千円)		3,498	3,498	3,498	
財源内訳	一般財源	1,166	1,166	1,166	
	国都支出金	2,332	2,332	2,332	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		3,498	3,498	3,498	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新規利用者1名、継続利用者2名であった。	ひきこもりなどにより、就労準備支援であっても参加できない市民をいかに掘り起こしていくかが課題である。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
生活困窮者自立支援法における任意事業であり、本事業により制度を利用する市民の居場所づくりに役立っている側面がある。 事業委託として令和8年3月まで契約を締結しており、引き続き就労の支援を行うため現状維持とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉		
	所管部署	健康福祉 部	生活福祉 課	保護第一・保護第二・経理・医療 係 内線 163
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法		
	目的	生活困窮者及び被保護者が、就労のための基礎能力を身につけ安定的な就労に就き、自立を図ることを目的とする。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も 
内容	平成28年10月から事業委託により、福祉総務課（生活困窮者が対象）と共同実施するもの。被保護者に対する就労準備支援等事業（支援の開始、支援計画の作成等、支援活動の報告等、支援の連携、連絡会議の実施、日常生活自立の関する支援、社会生活自立に関する支援、就労自立に関する支援）を実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	就労自立支援により就職した人数	人	目標	5	7	6
				実績	2	4	
				達成率	40%	57%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		3,498	3,498	3,498
財源内訳	一般財源	1,166	1,166	1,166
	国都支出金	2,332	2,332	2,332
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		3,498	3,498	3,498

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【支援実績】 ●生活自立支援：28人 ●社会自立支援：1人 ●就労自立支援：7人 ●被支援者合計：36人 ※就労自立支援者7人のうち4人が就労決定	目標は、全ての生活困窮者及び被保護者が、本事業により社会生活を身に付け、就労により自立することを目指すものであるが、支援対象者の中には、引きこもり等が長期間にわたる場合があり、長期的な支援が必要である。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 今後も、生活困窮者及び被保護者が、就労のための基礎能力を身につけ安定的な就労に就き、自立を図るため、「生活自立支援」、「社会自立支援」、「就労自立支援」を適切に行う。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		○																		
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	権利擁護推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉		
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	福祉総務 係 内線 152
	根拠法令等	成年後見制度の利用の促進に関する法律		
	目的	全ての人の権利と利益が守られ、住み慣れた地域の中で、安心、快適に暮らしていただけるまちづくりを推進する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	福祉サービスの利用援助、福祉サービス利用者等からの苦情対応、認知症高齢者、知的障害者等の権利擁護、成年後見制度の利用支援など、福祉サービス利用者等に対する支援の充実を図る。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				目標	実績	達成率
1	福祉サービス総合支援事業における新規相談件数	件	目標	106	74	111
				74	111	
				70%	150%	
2	成年後見活用あんしん生活創造事業における利用手続支援の新規相談件数	件	目標	63	65	94
				65	94	
				103%	145%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		16,560	19,486	19,605
財源内訳	一般財源	9,563	11,735	11,854
	国都支出金	6,997	7,751	7,751
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	406	479	459
	所要人員(人)	0.05	0.06	0.06
	会計年度任用職員(千円)	13	14	15
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
合計(事業費+人件費)		16,979	19,979	20,079

市民・議会等から寄せられた意見


令和2年3月に報告した「市民意識調査報告書」において、地域福祉権利擁護事業については名称も内容も知らないと回答した市民の割合が最も高くなった。このことから、制度周知をより強化していく必要があると考えている。

妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>福祉サービス総合支援事業については、合計相談件数が3,239件であり、そのうち111件が新規相談として受理をしており、令和元年度及び令和2年度と比較しても本制度の新規利用者が増加している。</p> <p>成年後見活用あんしん生活創造事業における利用手続支援件数については、合計相談件数が3,251件であり、そのうち94件が新規相談として受理をしており、令和元年度及び令和2年度と比較しても本制度の新規利用者が増加している。</p>	<p>権利擁護制度を必要としている全ての人に対して内容が行き届いているか、関係機関との連携が果たされているかなど、様々な課題があることから、中核機関の設置を早期実現するため、検討を進めていく必要がある。</p>

令和4年度の方針																				
<p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>「第五次地域福祉計画」に内包する「武蔵村山市成年後見制度利用促進基本計画」において、地域連携ネットワークの構築と成年後見制度利用促進に係る中核機関を設置することを定めていることから、関係機関と協議を進め、計画の推進を図っていく。</p>	<p>今後の方針</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上			○	維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上			○																	
維持																				
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日保育事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	子ども子育て支援法、みらい保育園休日保育実施要項		
目的	日曜日等の休日に、保護者の就労のため保育を必要とする子どもへの対応並びに保護者の子育て及び就労支援を目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	休日保育の利用時間は、本市の保育認定に応じて、日曜日（祝祭日は準備ができ次第の受け入れ）の7時～18時の間で保育を必要とする時間とする（年末年始は除く。）。また、定員は10名とし、利用料金は徴収しない。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	休日保育の実施設数	施設	目標	1	1
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	休日保育（定員10名）の延べ利用人数	人	目標	60	60	60
			実績	8	14	
			達成率	13%	23%	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
事業費（千円）	3,346	3,328	3,332	-		
財源内訳						
一般財源	833	1,186	829			
国都支出金	2,330	1,996	2,294			
その他	183	146	209			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	53	52	50			
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	3,399	3,380	3,382			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和3年度の延べ利用者数は14名であり、令和2年度の8名から増加した。	-

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和2年度よりみらい保育園で開始した事業であり、休日の保育利用を必要とする保護者が一定数いることから就労支援の一環で実施している。保護者は平日勤務が多く、休日の保育利用は平日と比べて、極端に減るものの、需要があることから、今後も本事業の環境を保持し、引き続き保育園に事業運営の継続を求めていく。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（家事育児サポーター研修事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	—		
目的	乳児期の子どもを育てる家庭や多胎児家庭に寄り添った適切な支援ができる家事育児サポーターを養成するため、研修を実施する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	対象：子育て支援に関心のある方 定員：40人 場所：緑が丘ふれあいセンターほか			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	研修の受講者数	人	目標	20	40
			実績	29	30	
			達成率	145%	75%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
事業費（千円）	887	4,418	1,803	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	887	4,418	1,803			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	812	798	765			
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	1,699	5,216	2,568			

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	必要性	見直し	非該当
	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			
廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当			
受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●第1回研修 令和3年9月から同年11月まで（全12回） 受講者数18人 ●第2回研修 令和4年1月から同年3月まで（全12回） 受講者数12人 受講料 1,000円（テキスト代） 	令和3年度に実施した研修は、2回とも定員割れが生じた。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し																					
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和4年度の研修は、令和3年度の課題を踏まえ、令和2年度から2年間実施した研修の受講者を対象として、より高度な知識や技能を習得するため、フォローアップ研修を実施する。 なお、本研修を2年間実施したことにより、本市における家事育児サポーター事業の実施に必要なサポーター数を確保できたことから、令和5年度以降の事業は、休止とする予定である。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持				低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持																							
	低下																							
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（産後ケア事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	母子保健法		
目的	家族等から十分な育児等の支援が得られず、心身の不調や育児不安等を抱える生後6か月以内の乳児とその母親を対象に、母親の身体的回復や心理的な安定を促進することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を		
内容	本市における産後ケア事業は、短期入所事業、通所事業及び居宅訪問事業の3つの事業を実施する。居宅訪問事業は令和4年6月から実施し、短期入所事業及び通所事業は同年9月から実施予定である。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	短期入所事業、通所事業、居宅訪問事業の事業利用者延べ人数	人	目標	—	—	50
				実績	—	—	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		0	0	6,009
財源内訳	一般財源	-	-	0
	国都支出金	-	-	6,009
	その他	-	-	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	798	3,821
所要人員（人）	会計年度任用職員（千円）	0.00	0.10	0.50
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	798	9,830

市民・議会等から寄せられた意見	
令和3年第2回市議会定例会で、産後の母親等に対するケアの重要性について一般質問があった。	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度から新たに実施する事業であるため、令和3年度の実績なし。 なお、会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。	令和4年度から新たに実施する事業であるため、特になし。

令和4年度の方針				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
<p>母子保健法の一部を改正する法律（令和3年4月1日施行）第17条の2の規定により、産後ケア事業の実施が、市町村の努力義務として法定化された。</p> <p>近年、核家族化や晩婚化、若年妊娠等によって、産前産後の身体的、精神的に不安定な時期に家族等の身近な人の助けが十分に得られず、不安や孤立感を抱いたり、うつ状態の中で育児を行う母親が少なからず存在している状況にあることから、本事業は今後も継続して実施する必要があると考える。</p> <p>なお、法律上は生後1年を経過しない乳児及びその母親を対象としていることから、今後、対象者の拡大について、検討を進める。</p>				
成果	今後の方針	コスト		
		削減	維持	増加
	向上			○
維持				
低下				

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（出産・子育て応援事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	武蔵村山市出産・子育て応援事業実施要綱		
目的	市内の全ての子育て家庭に対して妊娠期から保健師等が面接、相談等を行い、出産・子育てに関する不安を軽減することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●妊婦の心身の状態及び家庭状況を把握するため、母子健康手帳交付時に妊婦の全数面接を実施する。 ●面接を受けた妊婦に対し、子育て用品等の育児パッケージを配布する。 			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	妊婦の面接者数	人	目標	490	460	460
				実績	407	394	
				達成率	83%	86%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
事業費（千円）		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—			
財源内訳	一般財源	20,359	16,109	13,724				
	国都支出金	2,809	1,105	404				
	その他	17,550	15,004	13,320				
会計年度任用職員以外の職員（千円）		0	0	0				
人件費	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）		20,359	16,109	13,724				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>令和3年度は、394人に母子健康手帳を交付し、同数の面接を実施した。</p> <p>また、面接を受けた妊婦を対象として、1万円分の育児パッケージを配布した。</p> <p>なお、正規職員人件費及び会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。</p>	<p>課題は特にないが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、妊娠届出者数が減少している（令和元年度：484人、令和2年度：407人、令和3年度：394人）。</p>

令和4年度の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>今後も、妊婦の全数面接を継続する。</p> <p>なお、面接により、産後の支援が必要な方を把握したときは、令和4年度から開始する産後ケア事業につなげていく取組を進める。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（多胎児家庭支援事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	武蔵村山市多胎児家庭家事育児サポーター事業実施要綱 武蔵村山市多胎児家庭移動経費支援事業実施要綱		
	目的	多胎児を養育する家庭を対象として、家事育児サポーターによる育児等の支援を行うほか、母子保健事業等を利用する際の移動費用の一部を助成し、多胎児家庭の育児等の負担を軽減することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	家事育児サポーターの利用時間の上限は、1歳未満240時間、2歳未満180時間、3歳未満120時間である。移動経費の助成は、1年間に支出したタクシー料金の実支出額と24,000円を比較していずれか低い額を助成する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	家事育児サポーター事業利用者数	組	目標	0	10	9
				実績	0	2	
達成率				—	20%		
2	移動経費支援事業利用者数	組	目標	10	10	9	
			実績	1	0		
			達成率	10%	0%		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—			
事業費（千円）	3	363	302				
財源内訳	一般財源	0	0				
	国都支出金	3	284				
	その他	0	79				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	244	1,037				994
	所要人員（人）	0.03	0.13				0.13
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
合計（事業費+人件費）	247	1,400	1,296				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●家事育児サポーター利用者数 2組 (内訳：1歳未満1組、2歳未満0組、3歳未満1組) ●家事育児サポーター利用時間 158時間 (内訳：1歳未満90時間、3歳未満68時間) ●移動経費支援事業利用者数 0組 	移動経費支援事業は令和2年11月から、家事育児サポーター事業は令和3年10月から開始した事業であるが、両事業とも実績が目標値を下回っている。 母子健康手帳の交付時に対象者に対して事業の周知を図っているが、今後も事業の周知に努め、利用者数の増加を図る必要がある。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、同時に2人以上を育児することに伴う身体的、精神的、経済的負担を軽減し、多胎児家庭が安心して子育てをする環境を整備するために必要な事業であり、今後も制度の周知に努め、事業を継続して実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	病児保育事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法		
目的	病中又は病気の回復期にあって集団保育を受けることが困難な期間にある児童を、医療機関併設の専用施設において一時的な保育を行うことにより、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与するとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	体温の管理等により、児童の健康状態を的確に把握するとともに、当該児童の状態に応じ、安静を保てるような処遇をすることにより、病気の回復期にある児童に対して適切な保育を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	病児保育の延べ利用人数	人	目標	413	430	447
				実績	88	311	
				達成率	21%	72%	
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		10,302	10,732	11,136
財源内訳	一般財源	2,918	1,228	2,044
	国都支出金	7,384	9,504	9,092
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	447	439	421
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		10,749	11,171	11,557


市民・議会等から寄せられた意見	
令和3年第3回市議会決算特別委員会等において、病児保育の取り組みの充実に向けた意見があった。	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か 市民のニーズに適合しているか 市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
廃止・休止した場合の市民への影響 受益者負担は適切か 施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か 事業費の更なる削減は可能か 類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、利用実績が著減したものの、令和3年度は徐々に回復しつつある。	今後も、子ども家庭支援センター事務の中で、本事業の普及啓発に努める必要がある。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		○																		
低下																				
本事業は、児童福祉法第6条の3第13項及び子ども・子育て支援法第59条に基づいて実施しており、病児保育の実施を通じて児童の健全な育成及び資質の向上に寄与するとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的としていることから、今後も引き続き継続する必要がある。																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	巡回指導・相談事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育所等巡回指導・相談事業実施要綱		
目的	保育所や幼稚園に在籍する発達障害等を有すると思われる児童等の保育・教育を支援するため、相談員（学識経験者、臨床心理士等）が保育所や幼稚園での児童の状況等を観察の上、関係職員に具体的な指導方針等について助言や相談などを行う。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	市内の幼稚園4園、認可保育所13園、認証保育所1園を対象に実施する。なお、令和4年度から上記18施設に小規模保育所1園を対象に加えて実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	事業実施施設数	施設	目標	18	18	19
							実績	14	14	
達成率	78%	78%								
2	指導・相談延べ回数	回	目標	80	80	80				
			実績	48	58					
			達成率	60%	73%					


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		1,187	1,586	2,280	
財源内訳	一般財源	12	260	438	
	国都支出金	1,175	1,326	1,842	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,514	2,470	2,367	
	所要人員（人）	0.31	0.31	0.31	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		3,701	4,056	4,647	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か			
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
対象施設：14施設 巡回指導・相談件数：58回	発達が気になる子どもの入所は増加傾向にあることから、今後は保育士への支援だけでなく、保護者への支援が重要となるため、家庭との連携が円滑になるよう、働きかけて行く必要がある。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
毎年、14施設が巡回相談を利用しており、訪問回数も約50回から60回に及んでいる。巡回相談は、相談員（学識経験者、臨床心理士等）の専門的な見地から指導方針等について具体的な助言や相談などを行っており、保育の質の向上に貢献していることから、今後も継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもショートステイ事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法		
目的	保護者が家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合や、経済的な理由により緊急一時的に当該児童を保護することが必要な場合等に養育及び保護を行うことを目的に実施する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	本事業を実施する当たり、児童養護施設を有する社会福祉法人に委託し、主に以下の内容を行う。 ①食事の提供及び身の回りの世話に関すること。 ②遊び、学習等の生活指導に関すること。 ③通園又は通学の援助に関すること。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	ショートステイの利用日数(延べ日数)	日	目標	148	149	149
				実績	137	80	
				達成率	93%	54%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		3,249	3,147	3,206
財源内訳	一般財源	1,345	1,862	1,074
	国都支出金	1,904	1,285	2,132
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	731	718	688
	所要人員(人)	0.09	0.09	0.09
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		3,980	3,865	3,894

市民・議会等から寄せられた意見	
国や東京都が掲げる子ども・子育て施策においても、児童虐待防止、要保護児童の緊急保護等のため、当該事業の充実を求められているところである。	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、施設側の感染症対応及び利用者の利用控えにより、利用実績が著減したものと考えられる。	真に本事業の利用を必要とする児童が、適切に利用することができるように、事業の普及啓発はもちろんのこと、子ども家庭支援機能を活用し、潜在的なニーズを引き出し、事業に結び付ける必要がある。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本事業は、児童福祉法第6条の3第13項及び子ども・子育て支援法第59条に基づいて平成22年度から開始しており、保護者が家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合等に児童の養護、保護等を行うことを目的としていることから、今後も引き続き事業を実施する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	保育コンシェルジュ事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	子ども・子育て支援事業計画		
	目的	子育て家庭の「個別ニーズ」を把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用を目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	平成28年度から実施しており、職員1人及び保育コンシェルジュ会計年度任用職員1人の合計2人を配置している。			



評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
				1	相談件数	人	目標	—	—
							実績	8	42
達成率	—	—							
2	—	—	目標	—	—				
			実績	—	—				
			達成率	—	—				

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		2,225	2,643	3,233
財源内訳	一般財源	2,225	2,643	1,863
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	1,370
会計年度任用職員以外の職員(千円)		1,152	1,133	1,085
人件費	所要人員(人)	0.14	0.14	0.14
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		3,377	3,776	4,318

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
相談件数42件 通常の窓口対応(入所に関する相談)は、子ども青少年事務の会計年度任用職員を含めて全員で対応するが、母子相談員への相談や、子ども家庭支援センターとの連携が必要と思われる家庭内トラブル等を抱える家庭の場合は、保育コンシェルジュが担当し、関係機関等との連絡、調整を行うことにより効果的な保護者への支援をしている。	—

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和3年度は保育所の対応に関する相談、家庭内トラブルに関する相談等の件数が42件であり、前年度と比較し34件増えていることから本事業のニーズは非常に高い。 また、共働き世帯の増加等を要因として今後も保育需要は高いものと想定されることから、保護者のニーズを的確に把握し、保育サービスを提供するとともに、子ども家庭支援センターと連携し、家庭内トラブルの解決に結びつけるような支援は今後も必要であるため、本事業を継続していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもカフェ運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	武蔵村山市子どもカフェ事業実施要綱 武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画		
	目的	乳幼児及びその保護者が気軽に集い、交流を図る場を提供する子どもカフェ事業を実施することにより、乳幼児に安全な遊び場を提供するとともに、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和し、もって児童福祉の向上及び子育て世代の負担の軽減を図ることを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	以下の事業を行う。 (1)乳幼児とその保護者が気軽に集い、交流を図る場の提供 (2)子育てに関する相談の受付及び対応、子育て関連情報の収集及び提供 (3)利用者交流会等の開催			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	開催回数	回
			実績	116	141	
			達成率	97%	118%	
2	参加者数	人	目標	1200	1200	1400
			実績	1121	1140	
			達成率	93%	95%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		4,780	4,780	4,840
財源内訳	一般財源	2,390	2,390	2,459
	国都支出金	2,390	2,390	2,381
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	325	320	306
	所要人員(人)	0.04	0.04	0.04
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		5,105	5,100	5,146

市民・議会等から寄せられた意見


市民と市長のタウンミーティングにおいて、市民から「子育て中の保護者が気軽に交流し、育児の疲れを癒してリフレッシュできる場を作っていただきたい」と、本事業の開始を要望された経緯がある。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もある中、おおむね目標どおりの開催回数及び参加者数の実績であった。	現在、民家を委託法人が賃借して実施しているが、事業継続には貸主の今後の契約に係る意向や民家の老朽化に伴う補修の必要性があり、その経費負担も見込まれる。 今後の安定した事業運営に際しては、適切な拠点の確保が必要となるものと考えられる。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、乳幼児及びその保護者が気軽に集い、交流を図る場として子どもカフェを運営するものであり、乳幼児に安全な遊び場を提供するとともに、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和し、もって児童福祉の向上及び子育て世代の負担の軽減を図ることを目的としているため、今後も引き続き事業を実施する必要がある。 なお、行政評価の評価結果に対する行政評価委員会からの意見を受け、令和4年度に本市西部地区に子どもカフェを試行実施する。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	認可外保育施設利用支援事業補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	令和3年度武蔵村山市認可外保育施設利用支援事業補助金交付要綱、東京都認可外保育施設利用支援事業補助要綱、保育所等利用多子世帯負担軽減事業費補助金		
	目的	認証保育所等を利用する児童の保護者に対し、補助金を交付することにより、経済的負担を軽減し、もって児童福祉の増進に資することを目的とする。		
内容	【利用者支援】保護者の市町村民税所得割課税額により50,000円から20,000円の範囲内で補助する。(市町村民税所得割課税額が143,400円以上の保護者及び無償化給付対象児童は対象外) / 【多子世帯支援】保育料から無償化の給付額(非課税世帯に属する0~2歳児:42,000円、3~5歳児:37,000円)を引いた金額と多子世帯支援の補助金額を比べていずれか低い金額を補助する。			
	対象(交付先)	認証保育所を利用する児童の保護者		
		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				1	利用者負担軽減延べ児童者数	人	目標
	2	多子世帯の延べ児童者数	人	実績	36	50	
				達成率	30%	42%	
				目標	108	108	108
				実績	21	55	
				達成率	19%	51%	
				目標			

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
補助金	交付金額(千円)	785	1,547	4,800	-
	一般財源	206	288	1,200	
	国都支出金	579	1,259	3,600	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	419	412	395	他市等の状況
	所要人員(人)	0.05	0.05	0.05	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(補助金+人件費)		1,204	1,959	5,195	-

交付団体等の決算予算の状況	令和2年度決算				令和3年度決算				令和4年度予算				
	収入	総額(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市補助金		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
会費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
繰越金		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業収入		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支出	総額(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	交際費、飲食費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	人件費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	事業経費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	交付金額(千円)		1,547		使途内訳				割合(%)			
団体収入に占める補助金の割合		-		-		-		-		-			
団体収入に占める繰越金の割合		-		-		-		-		-			
交付金額に対する繰越金の割合		-		-		-		-		-			

視点別の分析	市の関与は必要か		必要である		見直しの余地がある		非該当	
	公益性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
有効性	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input checked="" type="checkbox"/>
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>
効率性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>
率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>

所管課の評価	令和3年度の実績		補助金交付に当たった課題	
	令和3年度は令和2年度補助実績に比べおおむね倍以上の伸び率となった。		-	

令和4年度の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
多様な保育ニーズに対応するため、認可外保育施設の利用者も増加傾向にあると思われる。多子世帯や認証保育所を利用する児童の保護者に対する経済的負担の軽減を図る観点からも、子ども子育て支援の一環として本補助金は必要である。				
		今後の方針 コスト 削減 維持 増加		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもの医療費助成事業（乳幼児分）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	手当・青少年 係 内線 185
	根拠法令等	武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例 武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則		
目的	乳幼児の保健の向上と健やかな育成を図り、もって子育ての支援に資する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	乳幼児（6歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）を養育している者に対して、病院等で診療を受けた場合に、各保険法の規定に基づき窓口で支払う自己負担分を助成する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
				1	対象人数（各年度末時点）	人	目標	—	—
							実績	3,744	3,645
達成率	—	—							
2	助成金額	円	目標	—	—				
			実績	93,938,362	119,440,414				
			達成率	—	—				


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算				
事業費（千円）		108,812	135,258	149,693	—			
財源内訳	一般財源	57,028	70,977	77,894				
	国都支出金	51,784	64,281	71,799				
	その他	0	0	0				
会計年度任用職員以外の職員（千円）		8,116	7,976	7,642				
人件費	所要人員（人）	1.00	1.00	1.00				
	会計年度任用職員（千円）	1,287	1,343	1,432				
	所要人員（人）	1.00	1.00	1.00				
合計（事業費+人件費）		118,215	144,577	158,767				

視点別の分析	妥当性	市との関係			市民との関係			効果性				
		必要か	必要である	見直しの余地がある	非該当	ニーズに適合しているか	適合している	見直しの余地がある	非該当	市民との協働により事業を実施しているか	実施している	見直しの余地がある
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
医療助成費：119,440,414円 審査支払委託料：3,521,200円 対象人数については、少子化等の影響により減少傾向にある。医療助成費については、令和2年度と比較して約27%増額となったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響により受診を控える傾向にあったため、医療費が大きく減少したことによるものである。	—

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本事業は、乳幼児の医療費を助成することにより、子どもの疾病等の早期発見や治療の促進など、乳幼児の保健の向上と健やかな育成に大きく寄与する事業であることから、今後も継続すべき事業である。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもの医療費助成事業（学齢児童分）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	手当・青少年 係 内線 185
	根拠法令等	武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例 武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則		
	目的	学齢児童の保健の向上と健やかな育成を図り、もって子育ての支援に資する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	学齢児童（6歳に達する日の翌日以後の4月1日から15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）を養育している者に対して、病院等で診療を受けた場合に、各保険法の規定に基づき窓口で支払う自己負担分を助成する。ただし、通院1回につき200円の自己負担が生じる。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				目標	実績	目標	実績
1	対象人数（各年度末時点）	人	目標	—	—	—	
				実績	5,540	5,421	
				達成率	—	—	
2	助成金額	円	目標	—	—	—	
				実績	118,115,529	125,266,707	
				達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算				
事業費（千円）	132,992	140,892	162,717	—			
財源内訳	一般財源	6,137	1,170				797
	国都支出金	126,855	139,722				161,920
	その他	0	0				0
会計年度任用職員以外の職員（千円）	8,116	7,976	7,642				
人件費	所要人員（人）	1.00	1.00				1.00
	会計年度任用職員（千円）	1,287	1,343				1,432
	所要人員（人）	1.00	1.00				1.00
合計（事業費+人件費）	142,395	150,211	171,791				

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	市民・議会等から寄せられた意見		
				必要である	見直しの余地がある	非該当
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
医療助成費：125,266,707円 審査支払委託料：3,328,835円 対象人数については、少子化等の影響により減少傾向にある。医療助成費については、令和2年度と比較して約6%増額となったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響により受診を控える傾向にあったため、医療費が大きく減少したことによるものである。	—

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、学齢児童の医療費を助成することにより、子どもの疾病等の早期発見や治療の促進など、学齢児童の保健の向上と健やかな育成に大きく寄与する事業であることから、今後も継続すべき事業である。 なお、令和5年10月から所得制限を撤廃することにより、子育て支援を更に充実させていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所施設整備事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市民間保育所整備助成要綱、武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例、武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する施行規則		
	目的	武蔵村山市社会福祉法人が行う保育所の創設や老朽改築による保育環境整備などの施設整備に要する費用について、資金の助成をすることにより、保育所の設置を促進し、待機児童の解消に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	新築、増改築及び大規模修繕（国の補助金の対象となるもの）が児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和23年厚生省令第63号）に適合し、かつ十分な成果が期待し得るものを対象とし、工事費等の総額から寄附金その他の収入を控除した額（施設改善整備は2分の1）と国の補助金の額に1.5を乗じて得た額を比較し、いずれか低い方の額			
対象（交付先）	武蔵村山市社会福祉法人立の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	地域型保育事業（大南つぼみ保育園）の実施設数（第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略に合わせた施設整備）	施設
	2	保育所定員拡大による保育所整備	施設	実績	0	0
				達成率	0%	0%
				目標	2	2
				実績	0	2
				達成率	0%	100%

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
補助金	交付金額（千円）	316,275	292,858	0	-	
	一般財源	30,122	27,928	-		
	国都支出金	286,153	264,930	-		
	その他	0	0	-		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	4,189	4,117	3,945	他市等の状況	
	所要人員（人）	0.52	0.52	0.52		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）				320,464	296,975	3,945

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途								
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算										
収入	総額（千円）	0	0	0	交付金額（千円） 292,858								
	市補助金	-	-	-	事業経費 292,858								
	会費	-	-	-									
	繰越金	-	-	-									
	事業収入	-	-	-									
支出	総額（千円）	0	0	0									
	交際費、飲食費	-	-	-									
	人件費	-	-	-									
	事業経費	-	-	-									
	その他	-	-	-									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">割合（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体収入に占める補助金の割合</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>団体収入に占める繰越金の割合</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交付金額に対する繰越金の割合</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						割合（％）		団体収入に占める補助金の割合	—	団体収入に占める繰越金の割合	—	交付金額に対する繰越金の割合	—
割合（％）													
団体収入に占める補助金の割合	—												
団体収入に占める繰越金の割合	—												
交付金額に対する繰越金の割合	—												

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か			
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当				
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は、保育所の建替えに伴う定員枠の拡大を行った。ひまわり保育園については、大南3-71-1に移転して新園舎を新設し、定員を100人から104人に増員した。旧園舎では小規模保育所「大南つぼみ保育園」（定員18人）を整備し、令和4年度から開設予定である。みらい保育園については、榎2-36-1に移転して新園舎を新設し、定員を151人から180人に増員した。なお、旧園舎は取り壊した。	—

令和4年度の方針


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

令和3年度に予定していた2か所の民間保育所施設整備を行い、事業を完了した。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所分園運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	令和3年度武蔵村山市民間保育所分園運営費補助金交付要綱		
	目的	賃貸物件を用いた保育所の分園において児童福祉法第39条第2項の規定による保育を行う保育所分園の設置者に対してその賃借料の一部を補助することにより、保育所分園の整備を促進し、もって保育所待機児童の解消に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	保育所分園の設置者が支払った毎月の賃借料の額と150,000円とを比較していずれば少ない額とする。 ※実際の毎月の賃借料：450,000円 建物面積：172.00㎡、敷地面積：654.56㎡			
対象(交付先)	社会福祉法人三宝会 まどか保育園分園(残堀一丁目48番地の3)			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	保育所分園の設置数	施設
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	保育所分園(定員29名)の入所人数(各3月1日付)	人	目標	29	29	29
			実績	28	29	
			達成率	97%	100%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額(千円)	1,800	1,800	1,800		-
一般財源	1,800	1,800	1,800		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)				他市等の状況
	262	258	247		
所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
	会計年度任用職員(千円)				-
	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	2,062	2,058	2,047		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額(千円)	0	0	0		交付金額(千円) 1,800
市補助金	-	-	-		賃借料 1,800
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	総額(千円)				割合(%)
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-		—
事業経費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合
その他	-	-	-		—
					交付金額に対する繰越金の割合
					—


視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題
対象	まどか保育園分園	-
補助額	1,800千円	

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本補助金は、保育所分園の設置者に対してその賃借料の一部を補助することにより、保育所待機児童の解消に資することを目的としているものである。 本市の待機児童の状況は、令和3年度の待機児童18人(新定義)であったが、令和4年度は待機児童が0名(新定義)となっており、今後も待機児童を解消していくためには、保育所分園の運営を維持することが望ましく、当該補助金を継続する必要があると考える。		今後の方針	
		コスト	
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育力強化補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育力強化事業補助金交付要綱、保育力強化事業補助要綱		
	目的	地域の実情に応じた多様な保育ニーズに対応する事業を実施する認証保育所に対し、事業に要する経費を補助することにより、児童福祉の増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	障害児保育、アレルギー児対応、外国人児童受入れ、第三者評価審議費等のうち東京都が定める当該年度の「子供家庭支援区市町村包括補助事業における保育力強化事業の算定基準について（通知）」により算出した額の合計額			
対象（交付先）	認証保育所 アレグロバンピーノ			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	保育力強化事業数	事業
			実績	1	1	
			達成率	20%	20%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	320	716	1,876		—
一般財源	0	0	0		
国都支出金	320	716	1,876		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	739	1,128	2,271		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 716	
市補助金	—	—	—		人件費 716	
会費	—	—	—			
繰越金	—	—	—			
事業収入	—	—	—			
その他	—	—	—			
支出	総額（千円）	0	0	0		
交際費、飲食費	—	—	—			
人件費	—	—	—			
事業経費	—	—	—			
その他	—	—	—			
					割合（％）	
					団体収入に占める補助金の割合	—
					団体収入に占める繰越金の割合	—
					交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は令和2年度に比べ倍以上の補助実績となった。	—

令和4年度の方針


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

多様な保育ニーズに対応し、地域の実情に応じた保育サービスの向上を図るため、認証保育所の障害児保育、アレルギー児対応等の取組を今後も支援する必要がある。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育士等キャリアアップ補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育士等キャリアアップ補助金交付要綱 保育士等キャリアアップ補助金交付要綱（都）		
	目的	職務内容等に応じた賃金体系を設定し、保育士等の資質向上の計画に沿った研修の実施等を行う認証保育所に対し、保育士等に係る賃金改善に要する費用の一部を補助することにより、保育サービスの質の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	要綱に定めるキャリアパス要件を満たし、補助対象施設・事業に勤務する職員（非常勤職員を含み、経営に携わる法人等の役員である職員を除く。）の人件費のうち、賃金改善に要した費用とする。			
対象（交付先）	認証保育所及び小規模保育事業所（小規模保育事業所は令和4年度から対象）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	保育士等の賃金改善した延べ人数	人
			実績	230	144	
			達成率	50%	32%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	5,343	5,628	10,254		—
一般財源	44	0	2,299		
国都支出金	5,299	5,628	7,955		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	5,762	6,040	11,019		—

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 5,628
市補助金	-	-	-	-	人件費 5,628
会費	-	-	-	-	
繰越金	-	-	-	-	
事業収入	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合 —
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合 —
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合 —
その他	-	-	-	-	


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当	
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

所管課の評価	令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	延べ144人の保育士の賃金改善を行った。	—

令和4年度の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
保育士等の働きやすい環境を整備するとともに、保育サービスの質の向上を図るため、保育士等のキャリアアップに向けた取組については、今後も実施する必要がある。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育従事職員資格取得支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市現任保育従事職員資格取得支援事業補助金交付要綱		
	目的	市内の保育所等が雇用する保育従事職員が保育士資格を取得することを支援することにより、保育士資格取得者の拡充を図り、もって子どもを安心して育てることができる体制を整備することを目的とする		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	保育士資格を有していない保育従事職員のうち、保育士試験を受験するための学習等に要した費用の一部を助成する。 対象経費：受験料（合格者には、教材費及び講習受講料を追加）			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	保育士試験等受験者数	人
			実績	3	5	
			達成率	43%	71%	
2	保育士試験合格者数	人	目標	3	3	3
			実績	0	1	
			達成率	0%	33%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	18	72	1,370		-
一般財源	0	0	0		
国都支出金	18	72	1,265		
その他	0	0	105		
人件費	419	412	395		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員（千円）					
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	437	484	1,765		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 72
市補助金	-	-	-		その他 72
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	0	0	0		
総額（千円）					
交際費、飲食費	-	-	-		
人件費	-	-	-		
事業経費	-	-	-		
その他	-	-	-		

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
保育士試験等受験者数は、令和2年度は2園3人であったが、令和3年度は2園5人と増加した。	本事業による保育士試験に係る補助は、合格することが要件であり、合格者には、2年分の教材費等が補助対象となるため、常に予算の確保が必要である。


令和4年度の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

今後、保育士の不足が予想される中、保育従事職員の働きやすい環境を整備するとともに、保育サービスの質の低下に対しても対策が必要であることから、保育士の資格取得を支援する本事業は、今後も保育士確保のための取組として必須の事業である。		今後の方針 コスト 削減 維持 増加		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育従事職員宿舍借上支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育従事職員宿舍借上支援事業補助金交付要綱		
	目的	保育従事職員のために宿舍の借上げを行う保育事業者に対して、その経費の一部を補助することにより、保育従事職員の確保を図り、もって児童福祉の向上に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	事業者が実際に支出した額から寄附金その他の収入額を差し引いて得た額と、補助対象月数に82,000円を乗じて得た額とを比較していずれか少ない方の額に、8分の7を乗じて得た額			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	宿舍の借上げた保育従事職員数	人
			実績	50	46	
			達成率	83%	77%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	28,125	24,696	39,690		-
一般財源	3,954	3,506	13,230		
国都支出金	24,171	21,190	26,460		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	28,125	24,696	39,690		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 24,696	
市補助金	-	-	-	-	事業経費 24,696	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0		
交際費、飲食費	-	-	-	-		
人件費	-	-	-	-		
事業経費	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
割合（%）						
団体収入に占める補助金の割合						—
団体収入に占める繰越金の割合						—
交付金額に対する繰越金の割合						—


視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

所管課の評価	令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
		令和2年度は、保育所12か所で対象者50名、令和3年度は、保育所13か所で対象者46名の利用があった。
令和4年度の方針		

【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
保育所にとって保育士の確保は喫緊の課題であり、保育士の確保が保育園の受入れ児童数に影響を及ぼすことから、民間保育所における保育従事職員の処遇向上を図るため、今後も本事業を継続していく必要がある。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所運営費補助事業（保育士採用助成特別加算）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	民間保育所運営費補助金交付要綱		
	目的	常勤の保育士の確保に係る派遣業者等へ支払う紹介料又はこれに類する経費の一部を補助することにより、保育内容の充実並びに児童及び職員の処遇向上に寄与し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	対象経費算定基準額30万円と実際に事業者が支出した額を比べて低い方の額を補助する。			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	確保した常勤保育士数	人
			実績	2	5	
			達成率	25%	63%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	600	1,500	2,400		
一般財源	600	1,500	2,400		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,019	1,912	2,795		


収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 1,500	
市補助金	-	-	-		事業経費 1,500	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）					
交際費、飲食費	-	-	-			
人件費	-	-	-			
事業経費	-	-	-			
その他	-	-	-			
					割合（%）	
					団体収入に占める補助金の割合	—
					団体収入に占める繰越金の割合	—
					交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
補助対象施設数は、令和2年度は2園、令和3年度は3園である。	市内民間保育所から本事業を要望され、平成29年度から実施している。 平成29年度は、東京都市町村総合交付金まちづくり振興割地域特選事業枠による補助を利用したが、平成30年度以降、同補助は「毎年度同一内容で実施されており、定例的であると認められる事業」として採択されないことから、国及び都の補助はない。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
保育士採用募集に伴う紹介料等の一部を助成しているものであり、保育士確保の観点から継続することが望まれる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所運営費補助事業（医療的ケア児支援加算）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	民間保育所運営費補助金交付要綱		
	目的	ネブライザー（吸入器）の管理等が必要な医療的ケア児の入所を受け入れた保育園に対し、保健師人件費の一部を補助することにより、保育内容の充実並びに児童及び職員への処遇向上に寄与し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	対象経費算定基準額45万円と実際に事業者が支出した額を比べて低い方の額を補助する。			
対象（交付先）	民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助対象施設数	園
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	0	0	0		-
一般財源	-	-	-		
国都支出金	-	-	-		
その他	-	-	-		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	0	0	0		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円）	-
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-			

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か						
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない	<input type="checkbox"/>	非該当				
				<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	

令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
補助対象施設数は、令和2年度及び令和3年度ともに実績なし。		当初予算には計上しておらず、補助対象施設で該当のあった場合には、予算を補正して対応する。	

令和4年度の方針


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

日常的に医療的ケアを必要とする医療的ケア児を受け入れる環境づくりは重要であり、本事業を継続する必要がある。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	児童館親子ひろば事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	児童館 係 外線 565-3825
	根拠法令等	児童福祉法、武蔵村山市立児童館設置条例		
目的	乳幼児とその保護者に交流の場を提供し、居場所づくりや子育て世代の負担軽減等を目的とする。	SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに		
内容	児童館の利用者が比較的少ない時間帯（午前中）を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談できる居場所の提供を図る。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業開催回数	回
2	事業参加者延べ人数	人	実績	46	48	
			達成率	96%	100%	
			目標	1,200	1,200	1,200
			実績	1,078	1,002	
			達成率	90%	84%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		1,822	1,822	1,822
財源内訳	一般財源	911	912	912
	国都支出金	911	910	910
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	105	80	77
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	34	41	43
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03
合計（事業費+人件費）		1,961	1,943	1,942

市民・議会等から寄せられた意見

市民から以下のとおり意見があった。


- 保育士や心理士等経験豊富なスタッフが子どもの悩みについて聞いてくれるので、心が落ち着き安心してできることから、場所や回数を増やして欲しい。
- 自宅では経験できない玩具が置いてあり、スタッフが専門的技術を持って子どもと一緒に遊んでくれ、親子で気軽に楽しんでいる。
- 父親も気軽に1人で参加できるので、助かる。
- スタッフが友だちづくりをしてくれるので、1人で来ても安心して再来しなくなる。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行い、交流や子育て相談ができる児童館親子ひろば事業を全児童館で予定どおり開催した。	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分講じた上で、参加人数の制限や行事内容の見直しなどの工夫をしながら開催する必要がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和3年度は48回実施し、延べ人数1,002人の参加者が集まり非常にニーズが高いことから、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分講じる必要があるという課題はあるが、今後も本事業を継続していく。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新・放課後子ども総合プラン事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市放課後子供教室実施要綱			
目的	放課後の余裕教室等を活用し、地域住民の参加及び協力を得て、子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	子供たちの安全で健やかな居場所づくりのため、学校給食のある日の放課後に余裕教室等を活用し、地域住民の参加及び協力を得て、午後5時まで、放課後子供教室を運営している。併せて学校と学童クラブが隣接している小学校については、一体型事業の推進をしている。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	放課後子供教室の実施校数		校	目標	9	9
		実績	7		7		
		達成率	78%		78%		
2	一体型の運営を行う放課後子供教室の設置校数		校	目標	6	6	6
				実績	5	5	
				達成率	83%	83%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		29,849	32,760	44,168
財源内訳	一般財源	12,536	15,447	21,767
	国都支出金	17,313	17,313	22,401
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,435	2,393	2,293
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30
	会計年度任用職員(千円)	387	403	430
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30
合計(事業費+人件費)		32,671	35,556	46,891


市民・議会等から寄せられた意見	
未実施校である三小及び十小について、令和4年度中に新規開設してほしいとの意見があった。	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	市民のニーズに適合しているか
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響
	影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	民間委託等は可能か
	困難である <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
三小及び十小を除く計7校の小学校で放課後子供教室事業を実施した。また、学童クラブとの一体型事業については、学童クラブを敷地内に有する学校を対象に実施の調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、実施を見送った。	未実施校である三小及び十小の開設については、令和4年度を予定しており、現在、準備を進めているところであるが、事業に従事するコーディネーター、サポーター等の人材が十分に集まっていない状況である。今後の事業推進や安定的な事業の実施に当たり、人材確保が課題となっている。また、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で事業を実施しているものの、学校によっては教室内の人口密度が高いところもあり、放課後子供教室の実施場所の確保も課題となっている。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
未実施校である三小及び十小の開設については、令和4年度を予定しており、開設後は全校での実施を継続していく。また、新型コロナウイルス感染症の予防のため、実施を見送っている学童クラブとの一体型事業についても、感染状況を踏まえ、可能な限り実施できるよう検討していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	老人福祉施設整備費助成事業	
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉	
	所管部署	健康福祉部	高齢福祉課 管理係 内線 632
	根拠法令等	①武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例、②武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例施行規則、③武蔵村山市老人福祉施設等整備助成要綱、④令和4年度地域密着型サービス等整備助成事業補助金交付要綱、⑤令和4年度東京都介護施設等の施設開設準備経費等支援事業補助金交付要綱	
	目的	在宅での介護が困難な高齢者が、身近な施設を利用できるように民間活力を導入しながら、老人福祉施設の整備を促進する。また、社会的援護を必要とする高齢者の増加に伴い、地域の中で生活ができるよう地域密着型サービスの充実を図る。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部を補助するものである。定期巡回・随時対応型訪問介護看護を開始する事業者を公募により指定を行い、開設に係る経費を補助するもの。		
対象（交付先）	社会福祉法人恭篤会特別養護老人ホームむさし村山苑、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を新規開設する事業者		

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	市内の特別養護老人ホーム3施設（伊奈平苑、サンシャインホーム、むさし村山苑）のうち1施設	施設
			実績	1	1	1
			達成率	100%	100%	100%
2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の新規開設	施設	目標	1	1	1
			実績	0	0	0
			達成率	0%	0%	0%

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
補助金	交付金額（千円）	9,553	9,553	9,553
	一般財源	9,553	9,553	9,553
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	731	80	459
	所要人員（人）	0.09	0.01	0.06
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
	合計（補助金+人件費）	10,284	9,633	10,012

市民・議会等から寄せられた意見

—

他市等の状況

近隣市（東大和市、東村山市、清瀬市、東久留米市）においても、社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部を市単独補助にて実施している。

交付団体等の決算予算の状況		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0
	市補助金	-	-	-
	会費	-	-	-
	繰越金	-	-	-
	事業収入	-	-	-
	その他	-	-	-
支出	総額（千円）	0	0	0
	交際費、飲食費	-	-	-
	人件費	-	-	-
	事業経費	-	-	-
	その他	-	-	-

交付団体等の令和3年度の市補助金の使途

交付金額（千円）	9,553
使途内訳	

割合（％）

団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	内容	必要である		見直しの余地がある		非該当	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input checked="" type="checkbox"/> 受益がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> 明確である <input checked="" type="checkbox"/> 効果がある <input checked="" type="checkbox"/> 設定している <input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 不明確な部分がある <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 設定していない <input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 非該当		

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は、社会福祉法人恭篤会特別養護老人ホーム「むさし村山苑」施設整備費として9,553千円の補助金を交付した。なお、新規開設の公募に対する応募事業所はなかった。	—

令和4年度の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部の補助や、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を新規開設する事業者に対する開設に係る経費の補助により、介護保険サービス基盤の充実を図り、もって高齢福祉の向上及び本市における入所待機高齢者の減少に寄与できることから現状を維持し対応していく必要がある。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	高齢者支援 係 内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市在宅医療・介護連携支援センター事業実施要綱		
	目的	高齢者が住み慣れた地域での生活を継続していただけるよう、市、地域包括支援センター、医療機関、介護サービス事業所、地域住民等の連携強化を図る。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	医療と介護の連携強化を図るため、在宅医療・介護連携推進協議会及び在宅医療・介護連携支援センターの運営を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	在宅医療・介護連携推進協議会の開催件数	件	目標		3	3
実績					2	2	
達成率					67%	67%	
2	多職種連携研修会及び専門職勉強会の開催件数	件	目標		4	4	4
				実績	4	4	
				達成率	100%	100%	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見					
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算						
事業費(千円)	9,788	9,919	10,514	-					
財源内訳	一般財源	1,884	1,909				2,024		
	国都支出金	5,653	5,715				6,569		
	その他	2,251	2,295				1,921		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,841	2,792				2,675		
	所要人員(人)	0.35	0.35				0.35		
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0		
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00		
合計(事業費+人件費)	12,629	12,711	13,189						

視点別の分析	妥当性		有効性		効率性		
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当				

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>令和3年度は、継続して、地域における医療・介護資源情報を活用し、市内関係機関に情報提供を行った。</p> <p>在宅医療・介護連携に関する関係機関への相談支援では、多職種が集う研修会で事業マネジメントの基本を共有した。</p> <p>また、医療・介護関係者向けの研修会では、相談援助技術の「共感」について学ぶ機会を得た。</p> <p>その他、地域住民に正しい知識を身につけてもらうため、在宅療養をテーマとした映画のオンライン上映を行い、普及啓発を実施した。</p>	<p>オンライン上映では幅広い年齢層が視聴し、同一視聴者が複数回再生した様子も確認できたが、専門職の視聴が多く、地域住民へより一層の普及活動が必要であると考えている。</p>

令和4年度の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>引き続き、本市の実情に沿って、専門職が互いの専門性を理解し、市民が安心して暮らせるまちづくりに向けた事業を検討する。</p> <p>在宅医療・介護連携支援センターの相談支援対応や多職種連携研修会を通して、専門職が本市の在宅医療・介護連携推進事業について十分に理解をするよう取り組む。また、新たに市内専門職に対するアンケート調査等を通し、多職種で捉えている課題の抽出、整理を行う。前述の多職種研修会やアンケート調査の実施に向けて、協議会での協議及び下部組織の推進部会での調整が重要であり、令和4年度においても予定回数の開催に臨む。</p> <p>地域住民への普及啓発については、オンライン上映を通して幅広い世代へ普及を行うとともに、アルツハイマー月間と合わせて認知症についての理解促進を図る。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活支援体制整備事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市機能強化型地域包括支援センター管理運営に関する要綱		
目的	各地域包括支援センターの圏域における生活支援体制整備を推進し、センター全体の機能強化を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	機能強化型地域包括支援センター管理運営委託により実施している。機能強化型地域包括支援センターを設置し、市内の地域包括支援センターの適正な運営の確保、生活支援体制整備業務に関する支援、市と各地域包括支援センターとの連携強化を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	生活支援コーディネーターの設置人数	人
			実績	5	5	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		5,500	5,500	5,500		—
財源内訳	一般財源	2,750	2,750	2,750		
	国都支出金	2,750	2,750	2,750		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,624	1,596	1,529		
	所要人員(人)	0.20	0.20	0.20		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		7,124	7,096	7,029		

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>市内の地域包括支援センターを統括し、総合的に支援する機能強化型地域包括支援センターを設置することで、市内の地域包括支援センターの適正な運営を確保し、機能強化を推進した。</p> <p>主な活動実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークの構築(159.5/人日) 小地域ケア会議・ワーキングチームの開催等 ●管内の統括・調整(58.6/人日) 助け合い部会の開催、生活支援等検討会の開催等 ●人材育成(7.1/人日) お互いさまリーダー交流会、サロン交流会、リーダー養成講座の実施等 	<p>高齢化の進展に伴う適切な人員体制の確保が課題である。</p>

令和4年度の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>各地域包括支援センターに設置した生活支援コーディネーターを中心とし、高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の充実を図り、住民主体の生活支援、移動支援等の体制整備を行っており、ケアマネジメントの質の向上、地域課題の発見を進めるため、引き続き、市内の地域包括支援センターの適正な運営を確保し、機能強化を推進する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者見守り相談室運営事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉				
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係	内線	632
	根拠法令等	武蔵村山市高齢者見守り相談室事業実施要綱				
目的	一人暮らし高齢者など孤立しがちな高齢者の不安や問題を解決し、在宅生活の安心と安全を確保することを目的とする。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	都営村山団地45号棟で実施している高齢者見守り相談室の運営委託主に以下の手段により事業を行う。 ①主に訪問により高齢者の生活実態の把握を行うこと ②関係機関と連携し高齢者に対する見守りを行うこと ③高齢者から相談を受けること					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	見守り対象者名簿に登録された者に対し実際に見守りを行った件数の割合	%	目標	90.0	90.0	90.0
								実績	85.4	88.0
達成率	95%	98%								
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見					
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算						
事業費(千円)	17,453	17,453	17,453	—					
財源内訳	一般財源	11,467	11,467						
	国都支出金	5,986	5,986						
	その他	0	0						
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	487	479						
	所要人員(人)	0.06	0.06						
	会計年度任用職員(千円)	0	0						
	所要人員(人)	0.00	0.00						
合計(事業費+人件費)	17,940	17,932	17,912						

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
妥当性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
有効性	施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
妥当性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●相談受付件数延べ 3,181件 見守り対象者名簿に登録されている高齢者3,369人のうち、3,055人の見守り活動を行った。	緑が丘地区の高齢化率は既に50%を超えており、今後ますます進行していくことが予想されることから、事業実施体制の安定的な確保が課題となる。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
高齢者福祉の質の確保のために本事業を継続し、今後の更なる高齢化の進展に備えて、引き続き事業実施体制の安定的な確保について、受託者と調整しながら検討していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	認知症施策推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	介護保険法、認知症施策推進総合戦略		
	目的	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域での支え合いの体制づくりを推進することを目的とす		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	●認知症初期集中支援チームの運営 ●認知症カフェの運営支援 ●認知症サポート医研修の受講支援 ●認知症ケアパスの作成（令和4年度のみ）			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	認知症初期集中支援チームの支援件数 ※目標値は設定していない。	件	目標	—	—	—
				実績	—	4	2
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		290	306	1,382	
財源内訳	一般財源	56	59	267	
	国都支出金	168	177	798	
	その他	66	70	317	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,218	1,197	1,147	
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,508	1,503	2,529	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
●認知症初期集中支援チームの支援件数 2件 ●認知症市民講演会の実施 2回	●認知症初期集中支援チームの運営及び医師や専門職の活動支援の強化 ●認知症カフェ運営に係る財政的支援の強化 ●市内の認知症医療体制の充実のため、認知症サポート医の養成を支援 ●認知症ケアパスを作成し、状態に応じた適切な医療や介護サービスの普及啓発及び連携の強化

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き、認知症に対する正しい知識の普及啓発を行い、支援を必要とする方（支援対象者）の掘り起こしや、相談者にとっても利用しやすい制度となるよう改善を図りつつ、地域での支え合いの体制づくりを推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	非常用可搬型外部給電器配備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市地域防災計画		
	目的	大規模災害時における避難所の停電対策の充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	災害時に停電が発生した場合における避難所の電力確保のため、電気自動車から電力供給を行えるように非常用可搬型外部給電器を配備する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	配備台数	台	目標	2	2	2
				実績	2	2	
達成率				100%	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
事業費（千円）		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—			
財源内訳	一般財源	1,320	1,320	1,320				
	国都支出金	0	0	0				
	その他	0	0	432				
会計年度任用職員以外の職員（千円）		82	80	77				
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01				
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）		1,402	1,400	1,397				


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3度は、2台購入した。	令和4年度から、購入に際し、クリーンエネルギー自動車導入促進補助金（216千円/1台）を活用する。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、災害時の避難所における電力確保のため、給電器を配備するものであり、市で所有している庁用車（電気自動車）の台数（8台）を上限に購入することとしている。			
今後の方針としては、令和4年度は2台、令和5年度は1台を購入する予定であり、令和5年度の購入により計8台が配備される。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称) 防災食育センター整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	教育 部	学校給食 課	学校給食センター 係 560-2597
	根拠法令等	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
	目的	災害時には応急給食の調理や救援物資(食料関係)の集配などを行う防災拠点として機能し、平常時には小学校給食の調理や食育推進のための事業などを行う(仮称)防災食育センターを整備する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	整備予定地内のPCB廃棄物を処分し、既存施設の解体工事に着手する。また、備品整備基金の積立てを行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	施設整備工事の出来高 (工事総額に対する当該年度実績額の割合)	%	目標	—	—	0.2
				実績	—	—	
達成率				—	—		
2	防災食育センター備品整備基金の積立額 (年度末積立総額)	千円	目標	97,000	137,000	160,000	
			実績	117,000	137,000		
			達成率	121%	100%		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
事業費(千円)		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
財源内訳	一般財源	66,111	106,420	令和4年3月市議会定例会において、各議員から当該整備事業に期待を寄せている旨の発言があった。			
	国都支出金	1,111	29,220	また、同年4月教育委員会定例会において、教育委員からも当該施設の整備に期待している趣旨の発言があった。			
	その他	65,000	62,900				
会計年度任用職員以外の職員(千円)		0	14,300				
人件費	所要人員(人)	8,116	7,976				
	会計年度任用職員(千円)	0	0				
	所要人員(人)	0.00	0.00				
合計(事業費+人件費)		74,227	114,396	341,189			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
効果性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
事業費の更なる削減は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
類似事業等との統合は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和2年3月策定の武蔵村山市防災まちづくり構想の基本設計に基づき、実施設計を行い、建築確認申請等必要な手続きを完了した。 また、施設整備の前提となる建設予定地(第二学校給食センター跡地)に隣接する土地区画整理事業保留地の管理権限の移行(用地取得)を行った。	建築資材等の高騰が見込まれていることから、主な財源となる防衛補助を所管する北関東防衛局との調整はもとより、令和4年度から令和6年度までの継続費で計上している工事請負費等の予算執行について、関係課と随時協議しながら慎重に対応していく必要がある。 また、建設予定地(第二学校給食センター跡地)内残置物(廃棄物)については、工事着工前までに処分を完了させる必要がある。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了		
本事業は、防衛補助事業として実施していることから、施設整備工事の各工程については、実施設計に基づき実施し、突発事項等については、関係機関及び関係課と必要な調整を図りながら適切に整備事業を進めていく。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			○
維持			
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防災行政無線屋外拡声子局改修事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策			
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係	内線 335
	根拠法令等	—			
目的	災害時の避難情報等をいち早く伝達できるよう、公園等に設置されている防災行政無線屋外拡声子局（スピーカー）について、土地区画整理事業に伴い市管理の土地に移設する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	防災行政無線屋外拡声子局（No.37）を榎3丁目108番地から榎3丁目116番地の5へ移設する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	移設件数	件	目標	—	1	—
				実績	—	1	—
達成率				—	100%	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	5,445	0	
財源内訳	一般財源	-	5,390	-	
	国都支出金	-	0	-	
	その他	-	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	479	0	
所要人員（人）	会計年度任用職員（千円）	0.00	0.06	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	5,924	0	


視点別の分析	妥当性	市民の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
	施工期間：令和3年11月5日～令和4年2月28日 施工区域：榎三丁目108番地 契約金額：5,390千円	—

令和4年度の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了		
令和3年度をもって防災行政無線屋外拡声子局の移設工事が終了し、事業が完了した。			
成果	今後の方針		
	コスト		
		削減	維持
向上			
維持			
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	ブロック塀撤去工事等助成金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 335
	根拠法令等	令和3年度武蔵村山市ブロック塀等安全対策費用助成金交付要綱		
	目的	地震発生時における市民の安全性の向上を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	避難路に面している危険なブロック塀等を安全な状態にするために行う、ブロック塀等の撤去、建替工事に係る費用の一部を助成する。			
対象(交付先)	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	助成件数	件
			実績	2	2	
			達成率	20%	20%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
補助金	交付金額(千円)	690	586	1,763	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	162	147	442	-							
	国都支出金	528	439	1,321	-							
	その他	0	0	0	-							
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	974	958	918	他市等の状況							
	所要人員(人)	0.12	0.12	0.12	多摩地域26市中20市が同助成事業を実施している。除却のみを対象としている市もある。							
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	-							
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	-							
合計(補助金+人件費)				1,664	1,544	2,681	-					

交付団体等の決算予算の状況				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
収入	総額(千円)	0	0	0	交付団体等の令和3年度の市補助金の使途							
	市補助金	-	-	-	交付金額(千円) 586							
	会費	-	-	-	使途内訳							
	繰越金	-	-	-	-							
	事業収入	-	-	-	-							
支出	総額(千円)	0	0	0	割合(%)							
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合							
	人件費	-	-	-	-							
	事業経費	-	-	-	-							
	その他	-	-	-	-							
				-			-			-		
				-			-			-		
				-			-			-		
				-			-			-		
				-			-			-		

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か			
				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
交付件数 2件	交付額 586千円	本助成金の対象となるブロック塀の撤去、建替工事は、飽くまで所有者である市民の判断で実施することとなる。また、工事に際しては、自己負担も生じるため、申請者をどのように増やしていくかが課題である。	

令和4年度の方針


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業は、武蔵村山市地域防災計画に基づき、避難路に面しているブロック塀等の倒壊防止対策を図るために行われるものであり、地震発生時における市民の安全性向上につながるため、令和4年度も継続して実施する。また、補助金額等の見直しについては、国庫補助、都補助の状況を注視し検討していく。

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	雨水対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
目的	近年の集中豪雨に伴い発生する道路冠水や住宅浸水の被害を軽減することを目的としている。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを		
内容	道路冠水箇所に貯留型雨水浸透槽や浸透柵等を設置することにより、小規模な街区単位での浸水被害の軽減を図っている。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	冠水又は浸水等の被害が発生する道路等の改修件数	件	目標	2	2
			実績	2	2	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 例年、数十件もの要望等を受け付けている。このうち、被害状況や作業範囲等を勘案して、直営や年間契約を締結する土木業者による作業で対応可能なものは速やかに解消している。一方、時間や費用を要する複数の案件があり、早期の対応を繰り返し求められている。
事業費（千円）		60,195	7,655	8,235	
財源内訳	一般財源	14,595	455	1,035	
	国都支出金	45,600	7,200	7,200	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	812	798	765	
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		61,007	8,453	9,000	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●中央四丁目52番地先（水路整備）1,925,000円 ●本町二丁目59番地先から同61番地先まで（側溝敷設及び路面補修）5,729,900円 	公共雨水管が未整備の道路においては、原則、道路用地内に設置する浸透施設で雨水を処理する。 しかし、狭い道路は整備に必要な場所を確保できないことや、そもそも雨水量が多く、浸透施設による雨水流出への対処に苦慮する地域もあるため、時間と費用を要する。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、道路冠水等の被害の軽減を図る重要な取組であることから、今後も継続していく。 設置に当たっては、冠水等の被害状況等を勘案しながら、その周辺状況や地形等を考慮し、最大の効果が発揮されるよう整備すべき道路の施工箇所を決定して解消を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 84号線雨水対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
目的	当該路線には排水施設が未整備であることから、本事業により大雨時に発生する道路冠水の解消を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	区間：大南四丁目45番地先から同56番地先まで 延長90.0m、幅員4.0mに排水及び浸透施設を設置するもの。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	排水施設設置工事（一式）	件	目標	1	1	1
				実績	0	0	
				達成率	0%	0%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費（千円）	0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	
	国都支出金	-	-	
	その他	-	-	
会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77	
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）	82	80	77	


市民・議会等から寄せられた意見	
令和3年度は1件、令和4年度は6月までに1件の市民要望を受け付けている。	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」として位置付けられているため、事業の実績なし。	当該路線は、公共雨水管が未整備であるため、浸透施設を設置して冠水の解消を図るものである。 浸透の能力は地盤に左右されるが、付近一帯の地下の地盤は浸透能力が不足すると思われることから、通常の施設規模による対応では目的の達成は困難である可能性がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、道路冠水の解消を図る重要な取組であることから、引き続き実施計画事業として要求し、「実施」として採択され次第、本事業の実施により道路冠水の解消を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	防災士資格取得支援事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市防災士資格取得支援事業助成金交付要綱		
目的	地域防災力の向上を目的に、防災に関する一定の知識、技術を有する防災士の資格取得を支援する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを		
内容	市内の自主防災組織に所属し、該当団体の長から推薦を受けた者又は消防団において分団長以上の階級を務めた経験を有する者を対象に、防災士資格の取得費用を助成する。			
対象(交付先)	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	資格取得者数	人
			実績	3	1	
			達成率	60%	20%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
補助金	交付金額(千円)	141	9	345	市民・議会等から寄せられた意見 議会から、助成対象範囲の拡大の検討について意見があった。							
	一般財源	141	9	345	他市等の状況 多摩地域では、青梅市、稲城市、立川市等で防災士資格取得の助成実績がある。							
	国都支出金	0	0	0								
	その他	0	0	0								
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	487	479	459								
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06								
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0								
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00								
合計(補助金+人件費)				628	488	804						

交付団体等の決算予算の状況				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	交付団体等の令和3年度の市補助金の使途		
収入	総額(千円)	0	0	0	交付金額(千円)				9
	市補助金	-	-	-	使途内訳				
	会費	-	-	-					
	繰越金	-	-	-					
	事業収入	-	-	-					
その他	-	-	-						
支出	総額(千円)	0	0	0	割合(%)				
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-			
	人件費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-			
	事業経費	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-			
	その他	-	-	-					


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当	
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
助成金交付者1名	助成額8,500円	本助成制度等について周知しているが、自主防災組織等からの資格取得希望者は少ないため、希望者の増加が課題である。	

令和4年度の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
地域防災力の向上を図るため、令和4年度は、令和3年度と同内容で事業を継続していく。しかし、資格取得希望者が少なく実績が伸び悩んでいるため、今後は、助成対象範囲の拡大等、事業の見直しを図る必要がある。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上		○	
維持				
低下				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	一般河川整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	河川法		
	目的	市で管理する小河川及び水路について、河床や護岸が未整備である箇所や河川敷から民家へ水が流出する箇所があることから、溢水防止を図るため計画的に整備を実施する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	河床や護岸の打設及び老朽化した部分の改修等を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	河床及び護岸設置工等（一式）	件	目標	1	1
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		2,716	1,238	3,000	
財源内訳	一般財源	316	1,238	3,000	
	国都支出金	2,400	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	812	798	765	
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		3,528	2,036	3,765	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	市民のニーズに適合しているか
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響
	影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	民間委託等は可能か
	困難である <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	困難である <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
久保の川防じんスクリーン設置工事（1,237,500円）	市で管理する小河川及び水路には、未改修のため溢水により住民に被害を与えた箇所があり対応を要するほか、護岸の劣化が進行している箇所も散見される。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
小河川及び水路の河床や護岸など既設物件の劣化状況や溢水による被害等を勘案しながら、施工箇所を決定して整備を行い解消を図る。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		○																		
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	道路雨水吸込槽浚渫事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	浸透槽の設置により雨水を処理しており、その浸透施設に溜まる汚泥や落ち葉などを定期的に清掃することにより雨水排水の改良を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	浚渫を必要とする浸透施設は125施設あり、そのうち主要施設は49施設で、毎年2回実施している。また、新設及び開発行為に伴う移管施設は76施設あり、3年に1回のローリングで実施している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	浚渫工及び汚泥処分（一式）	件
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		14,497	13,996	15,728		中小の浸透施設は必要に応じて浚渫を実施しており、浚渫要望（冠水による苦情）は市民や議員より適宜受け付けている。
財源内訳	一般財源	14,497	13,996	15,728		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	812	798	765		
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		15,309	14,794	16,493		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●主要施設49箇所（年2回） ●新規・移管施設14箇所（年1回） 	住宅開発に伴い、施工主による施設の設置後、その施設が市へ移管されるため、市の管理件数は毎年増加している。 このため必要経費は増加し続ける。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 道路より低く冠水の発生しやすい箇所が多数存在するため、浚渫により排水施設を十分に保守する必要性は高い。 一方、道路に設置した浸透施設の作業状況を確認する限り、年2回の浚渫を実施するほどの汚泥やゴミが認められない箇所もあり、作業頻度の見直しを図るなどの検討の余地があると思われる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防火水槽整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	震災時の消防水利整備基準		
目的	水利不足地域への防火水槽の設置を実施し震災対策を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	災害時には消火栓等の水道管を経由する水利の使用不能が見込まれることから防火水槽を整備し震災時の不足メッシュを解消する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	設置件数	件
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)				23,716			21,340			25,941			
財源内訳	一般財源			3,716			5,340			1,641			
	国都支出金			0			0			0			
	その他			20,000			16,000			24,300			
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)			2,435			2,393			2,293			
	所要人員(人)			0.30			0.30			0.30			
	会計年度任用職員(千円)			0			0			0			
	所要人員(人)			0.00			0.00			0.00			
合計(事業費+人件費)				26,151			23,733			28,234			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
学園児童遊園に60t級の防火水槽を設置した。	—

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
災害時に水道施設の破損等が生じた場合など、断水時の消防水利確保のため、公園等に防火水槽等消防水利を整備するものである。設置に当たっては、民地は土地所有者の事情で撤去の可能性が想定されるため、公共施設用地を想定し、令和4年度までは設置候補地が決まっているが、令和5年度以降は設置場所の検討を進めていく。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	消防団準中型・中型免許取得補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市消防団員準中型自動車及び中型自動車運転免許取得費補助金交付要綱		
	目的	消防団員に対し、その所属する分団に配備されている準中型自動車及び中型自動車の運転資格の取得費用を補助することにより、消防団員の確保を図り、もって消防団活動を安定的に実施する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	所属する分団に配備されている車両の運転資格の取得費用を補助する。			
対象（交付先）	武蔵村山市消防団員			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助実績	件
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額（千円）			0	0	901	
	一般財源			-	-	451	
	国都支入金			-	-	0	
	その他			-	-	450	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0	0	153	
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.02	
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0	
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）				0	0	1,054	

交付団体等の決算予算の状況				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
収入	総額（千円）			0	0	0	
	市補助金			-	-	-	
	会費			-	-	-	
	繰越金			-	-	-	
	事業収入			-	-	-	
その他			-	-	-		
支出	総額（千円）			0	0	0	
	交際費、飲食費			-	-	-	
	人件費			-	-	-	
	事業経費			-	-	-	
	その他			-	-	-	

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か						
				市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない	<input type="checkbox"/>	非該当				
							<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		

令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
交付実績0件		免許取得に係る費用が一旦消防団員の自己負担となってしまうことから、資格取得希望者をいかに増やすかという課題がある。	

令和4年度の方針


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業は、道路交通法の一部改正に伴い、新たに創設された「準中型自動車免許」を含む、消防団で所有する車両に対する運転資格の取得費用を補助し、消防団活動を安定的に実施するよう図るものであり、今後も継続していく。また、新型コロナウイルス感染症の感染者数の動向を注視しながら、対象となる消防団員に周知を図っていく。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消火栓改修事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 係 内線 333
	根拠法令等	上水道における消火栓の設置、維持管理等に関する協定書 上水道における消火栓補償費に関する覚書		
	目的	消火栓の増設及び維持管理により消防施設の整備、充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	東京都水道局による上水道への消火栓の設置、維持管理等に関する費用について補償する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
				1	新設件数	件	目標	—	—
							実績	2	1
達成率	—	—							
2	—	—	目標	—	—				
			実績	—	—				
			達成率	—	—				


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		32,126	22,694	34,605	
財源内訳	一般財源	32,126	22,694	34,605	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,435	2,393	2,293	
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		34,561	25,087	36,898	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
消火栓の新設1基、移設4基、補修3基となった。	東京都水道局が行う水道工事に係る消火栓管理費補償金及び消火栓設置費補償金を負担するものであり、毎年度、水道局から事業計画等に基づき、消火栓補償費が提示されるが、予算額との調整が課題である。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
消火栓の増設及び維持管理により消防施設の整備、充実を図るものであり、老朽の激しいものから順次補修を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	交通安全対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 3 交通安全		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	小学校の通学路について、毎年関係機関等（警視庁・学校・PTA・教育委員会、防災安全課及び当課）による合同点検を実施し、その改善要望を勘案して交通安全施設を整備することにより道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	通学路合同点検等によって抽出された危険性のある交差点等に①カラー舗装、②道路反射鏡、③自発光板、④外側線、⑤段差等解消等の工事を施工している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	道路反射鏡設置工	箇所
			実績	15	16	
			達成率	150%	80%	
2	交差点改良工事等	箇所	目標	10	12	10
			実績	12	3	
			達成率	120%	25%	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	●市民及び議員から、毎年10件程度の道路反射鏡の新設要望が寄せられている。 ●重大交通事故の発生に伴い、警察（警視庁及び東大警察署）から対策協議が寄せられ、令和2年度に2件、令和3年度に1件対応している。		
財源内訳						
一般財源	3,877	4,473	16,760			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	4,058	3,988	3,821			
所要人員（人）	0.50	0.50	0.50			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	7,935	8,461	20,581			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか		
	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか		
	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響		
	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か		
	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か		
	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		民間委託等は可能か		
	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か		
	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か		
	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●道路反射鏡の新設（16か所）2,218,700円 ●団地東通りナビマーク設置工（21か所）474,100円（死亡事故対応） ●交通安全施設整備工事（中原二丁目内）1,078,000円（死亡事故対応） ●中央線設置工（中原一丁目～同三丁目内）701,610円（市民・議員要望） 	全国的に通学路や幼稚園及び保育園付近で発生する重大交通事故が後を絶たないことから、市民及び議員からの要望は多い。また、対策費を要する案件も少なくない。

令和4年度の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し																
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
安全で円滑な交通環境を確保するため、各種交通安全施設の計画的な整備が求められており、通学路合同点検等によって抽出された危険箇所に対する対策を講ずることから、今後も継続する必要がある。 令和4年度は、以下のとおり改修工事を実施する。 ●令和3年度に実施した通学路合同点検の結果に基づく改修工事（9小西側）等 ●団地西通り街路灯柱建替工事（予算額6,760千円）																			
	今後の方針 コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	削減	維持	増加																
向上																			
維持		○																	
低下																			
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																			

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	雷塚公園防犯カメラ更新事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策				
	所管部署	協働推進 部	環境 課	公園緑地 係	内線	262
	根拠法令等	—				
目的	平成28年度に国立感染症研究所施設周辺安全対策事業費補助金を用いて設置した現在運用する5個所の防犯カメラについて、機器の更新時期の到来に伴い、前回と同様の本補助金を活用して令和3年度に更新を行う。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	雷塚公園内の防犯カメラ5台について、機器の耐用年数を鑑みて5台を更新する。また、各カメラに電話番号を付与し、専用パソコンからの接続により自席でデータを取得できるものに切り替える。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	雷塚公園内の防犯カメラ更新台数	台	目標	0	5
			実績	0	5	
			達成率	—	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)				0	1,942	0	
財源内訳	一般財源			-	0	-	
	国都支出金			-	1,942	-	
	その他			-	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)			0	798	0	
	所要人員(人)			0.00	0.10	0.00	
	会計年度任用職員(千円)			0	0	0	
	所要人員(人)			0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)				0	2,740	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
以下の内容で工事を実施した。 ●小学校下校路及び雷塚公園防犯カメラ更新工事 (契約日:令和3年9月22日、完了日:令和4年3月25日) 当該工事は、雷塚公園内5個所に設置された防犯カメラの更新、当課内への防犯カメラ確認システムの導入に伴う工事を行い、それにより公園内の状況や災害時等の状況がリアルタイムで確認できる。	都市公園は市内に18施設あるが、現在、防犯カメラの設置施設は1施設のみであることから、防犯上や安全対策向上のために、防犯カメラ設置施設数の拡大に向けて検討が必要である。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和3年度に予定された防犯カメラの設置を完了したため、事業を終了する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防犯灯設置事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策				
	所管部署	都市整備部	部	道路下水道課	維持補修係	内線 263
	根拠法令等	—				
目的	照度が低い路線（箇所）にLED防犯灯を設置することにより、夜間に市民が安心して通行できる安全・安心のまちづくりを推進する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	令和3年度末現在で4,984基の防犯灯が設置されているが、一部の生活道路等は未設置である。 防犯灯の設置に当たっては、市民からの依頼を受けた議員要望も多く、順次新設している。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	防犯灯設置工	か所
			実績	11	15	
			達成率	110%	150%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		528	695	1,350		市民及び議員から、毎年10件程度防犯灯の新設に関する要望が寄せられている。
財源内訳	一般財源	528	695	1,350		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	812	798	765		
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		1,340	1,493	2,115		

視点別の分析	妥当性	市民との協働により事業を実施しているか		
		市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度に設置したLED防犯灯は15基であった。	東京都が管理する空堀川の管理通路に対する設置要望については、区間が長距離に及ぶため多額の費用を必要とする。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
市民及び議員からの要望に基づき、道路、住宅地、公園等に順次LED防犯灯を設置し、防犯設備の整備及び維持管理に取り組むことにより、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	自動通話録音機貸与事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	交通防犯係 内線 332
	根拠法令等	令和4年度武蔵村山市自動通話録音機貸与事業実施要綱		
	目的	市民の財産を守り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。		SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に 
内容	市内に居住する65歳以上の高齢者に無償で自動通話録音機を貸与し、特殊詐欺被害の防止を図る。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	自動通話録音機貸与台数 (令和2年度から令和7年度までに250台貸与)	台
			実績	100	93	
			達成率	200%	186%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		440	660	0
財源内訳	一般財源	330	441	-
	国都支出金	110	219	-
	その他	0	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,867	1,436	459
	所要人員(人)	0.23	0.18	0.06
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		2,307	2,096	459

市民・議会等から寄せられた意見


本人から、「不審な電話がかかってくるため不安だったが、自動通話録音機を付けることで安心できる」、娘から「親が単身居住なので、自動通話録音機を付けることで少し安心できる」との意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度の実績については、目標貸与台数50台のところ、93台を貸与した。	令和4年度から都の補助金(東京都自動通話録音機設置促進補助金)が廃止された。 なお、武蔵村山市第五次長期総合計画に登載された目標貸与台数(250台)については、令和2年度及び令和3年度で既に購入済みである。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
近年、社会問題となっている高齢者を対象とした特殊詐欺被害を防止し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、武蔵村山市第五次長期総合計画に登載された目標貸与台数250台を早期に達成し、更に貸与台数を増やしていく。																						
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新青梅街道沿道まちづくり推進事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線 272
	根拠法令等	都市計画法			
目的	新青梅街道沿道地区まちづくり計画に基づき、新青梅街道拡幅整備事業の進捗に合わせ、沿道地区の用途地域等の変更及び地区計画の策定を行い、沿道のにぎわいのある良好なまちづくりを推進する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	新青梅街道第2工区（神明四丁目地内～中央一丁目地内、約1.2km）及び第3工区（中央一丁目地内～三ツ藤三丁目地内、約1.6km）の区域について、用途地域等の変更及び地区計画の策定を行う。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	—	都市計画変更	—
				実績	—	都市計画変更	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	4,895	0	
財源内訳	一般財源	-	4,895	-	
	国都支出金	-	0	-	
	その他	-	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,543	1,037	0	
人件費	所要人員（人）	0.19	0.13	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,543	5,932	0	

視点別の分析	妥当性	市民との協働により事業を実施しているか	見直し	見直しの余地がある	非該当
	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
効率性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
効率性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
効率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
住民説明会を実施し、第2工区及び第3工区の用途地域の変更及び地区計画の決定を行った。 これにより、市内新青梅街道沿道に係る都市計画変更事業は完了した。	—

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
今後も、東京都の多摩都市モノレール延伸の進捗に合わせ、本市の「モノレール沿線まちづくり構想」を踏まえながら、将来の需要創出につながる沿道のまちづくりを引き続き適切に誘導していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市核地区土地区画整理事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	区画整理 課	区画整理 係	内線 282
	根拠法令等	土地区画整理法			
	目的	市の都市核にふさわしいまちづくりを行うために、将来の商業核形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指す。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	行政機関等が立地している中心部に位置しながら、市街地の進展や商業集積が立ち遅れた状態にあり、狭い道路に沿って住宅地が立ち並ぶため、土地区画整理事業の実現により都市基盤整備を行う。 (区域：本町一丁目及び榎三丁目の各一部、面積：30.9ha)				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	移転補償件数 (建物移転補償案件及び工作物移転補償案件)	件	目標	70	73
			実績	62	51	
			達成率	89%	70%	
2	仮換地指定率 ※道路等の公共施設工事により、土地の区画を変更し、従前の土地(現在の土地)に代わり、新たに使用可能とする土地(仮換地)を指定した割合	%	目標	70	80	85
			実績	68	76	
			達成率	97%	95%	


事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)	1,279,092	1,522,493	1,195,350	
財源内訳				
一般財源	481,341	621,705	960,696	
国都支出金	277,775	482,350	144,700	
その他	519,976	418,438	89,954	
人件費				
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0	
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)	1,279,092	1,522,493	1,195,350	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	市民のニーズに適合しているか
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響
	影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	民間委託等は可能か
	困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度に国や都の補助を受けて実施するものは、建物等の移転補償8件及び道路築造や整地等の工事3件としており、工程のとおりに進捗することができた。 なお、正規職員人件費及び会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。	多摩都市モノレールの延伸(都市計画決定)に向け、早期に事業を完了させる必要がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本町・榎地区については、本市の都市核として、市の拠点にふさわしい都市機能を集積し、道路、公園などの都市基盤の整備を進めている。モノレール延伸後を見据え、引き続き、今まで以上に親切かつ丁寧な事業説明を行うとともに、数多くの権利者と対話を重ねることで、事業推進を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	用途地域等の見直しに伴う都市計画変更事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線 272
	根拠法令等	都市計画法			
目的	前回の区域区分の変更から17年が経過し、区域区分及び用途地域の境界根拠としている地形地物の変化が生じている。これに伴い東京都で一括して実施する区域区分等の変更に合わせて、市決定の用途地域に関する都市計画変更を行うものである。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	以下の予定で業務を行う。 令和3年度：変更箇所抽出業務、令和4年度：住民説明会等、令和5年度：都市計画案の作成、令和6年度：都市計画変更				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	—	素案作成	説明会等実施
				実績	—	素案作成	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	5,027	5,104	
財源内訳	一般財源	-	5,027	5,104	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,867	2,393	2,293	
	所要人員（人）	0.23	0.30	0.30	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,867	7,420	7,397	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

所管課の評価	令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
	一般競争入札により、3か年の業務委託契約を締結し、令和3年度の業務内容である都市計画変更箇所の抽出及び都市計画素案の作成を行った。業務計画どおりに成果品の納品を完了した。	—

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
引き続き、令和4年度の業務計画に基づき、受託業者との連絡調整を適切に実施し、住民説明会及び都市計画案の作成準備等を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	村山工場跡地関連事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線	272
	根拠法令等	都市計画法				
目的	村山工場跡地利用協議会により取りまとめられたまちづくり方針に基づき、土地利用計画の熟度に合わせ、公共施設等の整備を推進し土地利用を進める。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	道路整備計画に関する関係機関協議や土地利用計画の具体化に合わせた都市計画変更の検討などを行う。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	道路整備計画等に関する関係機関協議の推進	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,056	1,037	1,987
人件費	所要人員(人)	0.13	0.13	0.26
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		1,056	1,037	1,987


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
効率性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
地区計画に位置付けられた地区施設の道路整備方針等に関し関係権利者及び関係機関との協議調整を行った。	計画道路の協議に当たっては、第四次優先整備路線に選定されている立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線(区間:立川3・3・3~武蔵村山市大南一丁目)と接続協議に時間を要することが想定されている。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
村山工場跡地は、地区計画制度により都市基盤施設の整備を図るとともに、地域の活力やにぎわい創出に資する土地利用を誘導し、多様な機能が集積する市の中心市街地としてふさわしいまちづくりを進める必要がある。 引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、関係者協議を進め、道路整備に関する協議調整を行うとともに、都市計画変更に関する検討を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都営村山団地再生計画関連事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、公営住宅法		
目的	都営村山団地の地域再生及び活性化を図るため、東京都との協定に基づき団地再生計画事業を推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	都営村山団地後期計画事業に伴う東京都との協議調整を行い、円滑な建替え事業を進める。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	団地後期計画事業、第2期計画、第3期計画に関する協議調整	—	目標	推進	推進
			実績	推進	推進	
			達成率	—	—	
2	団地敷地内に存する旧赤道の財産処理に関する協議調整の推進	—	目標	推進	推進	推進
			実績	推進	推進	
			達成率	—	—	

事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）	0	0	0		
財源内訳	一般財源	-	-		
	国都支出金	-	-		
	その他	-	-		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,299	1,277	1,223		
人件費	所要人員（人）	0.16	0.16		0.16
	会計年度任用職員（千円）	0	0		0
	所要人員（人）	0.00	0.00		0.00
合計（事業費+人件費）	1,299	1,277	1,223		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
後期計画事業内の第2期計画に関する協議調整を進めた。 団地敷地内に存する旧赤道の財産処理等について、協議調整を進め、協定を締結した。	団地創出用地の将来土地利用に関し、多摩都市モノレールの延伸を見据え、にぎわい創出に資する土地利用を誘導するよう東京都と協議調整を行っていく必要がある。


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

都営村山団地後期計画事業の計画的な実施を東京都に要請するとともに、多摩都市モノレールの延伸を見据え、市民生活を支援する商業・サービス機能などの誘導について検討を進めていく。引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、関係者協議を進め、建替え事業の円滑な推進を図っていく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	横田基地軍民共同使用推進事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係	内線 373
	根拠法令等	—			
	目的	横田基地の整理・縮小・全面返還に向けた過程の一つとして横田基地の軍民共同使用を推進し、多摩都市モノレールの早期延伸の実現や、人の交流や物流の拡大により基地周辺地域の活性化を図る。			SDGsの取組 17 パートナーシップで目標を達成しよう
内容	横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	情報収集の実施	—
			実績	実施	実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	0	49		令和4年3月予算特別委員会等で「軍民共用の実現は難しいのではないか」、「軍民共用化を推進していくべきである」との意見があった。
財源内訳	一般財源	-	-	49		
	国都支出金	-	-	0		
	その他	-	-	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	210	206	198		
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		210	206	247		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか		
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響		
		<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か		
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か		
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か		
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か		
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、東京都と本市を含め5市1町から構成される横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会において、情報交換を行った。 東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中における横田基地の民間航空機の一時的利用を要望していたが、大会が無観客開催となったことから、実現には至らなかった。	東京都及び横田基地周辺自治体で、立場の相違がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
横田基地の民間航空機利用について、東京都は継続して取り組む姿勢であることから、「国と東京都の実務者協議会」における動向を注視し、引き続き東京都と連携しながら横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地籍調査事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係 内線 266
	根拠法令等	国土調査法 国土調査促進特別措置法		
	目的	地積の明確化により、被災後の復旧、復興事業の迅速化を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	予定年度：平成27年度より 調査箇所：大規模国有地、区画整理事業区域、日産工場跡地及び都市計画公園を除く市内全域 調査面積：10.70Km ² 、調査手法 都市再生地積調査事業、官民境界石埋設、図面等作成			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	地籍測量実施面積	Km ²
			実績	0.15	0.13	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				35,150			3,289			31,592			
財源内訳	一般財源			18,349			3,289			9,738			
	国都支出金			16,801			0			21,854			
	その他			0			0			0			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			2,922			2,872			2,752			
	所要人員（人）			0.36			0.36			0.36			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
	所要人員（人）			0.00			0.00			0.00			
合計（事業費+人件費）				38,072			6,161			34,344			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民とのニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当		
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度時点、事業対象面積（10.7Km ² ）に対する実施済面積は0.49Km ² であり、進捗率は5%となっている。	令和3年度、補助金の交付展開に向けた国との協議を実施しており、その結果、今後も継続して協議していく必要があるため、事業予定も変更となる可能性がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
地籍調査によって土地の境界や面積などを正確にし、被災後の復旧や復興作業の迅速化を図るものであることから、今後も継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用し、立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線（区間：学園一丁目25番地先～榎三丁目22番地先、幅員16m、延長約400m）を整備する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを		
内容	立3・4・39号（学園一丁目25番地先～榎三丁目22番地先）までの約400mの区間を整備するもの。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				1	年度業務の計画的な推進	—	目標
				実績	推進	未取得	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				23,250			12,315			37,940			
財源内訳	一般財源			5,270			0			6,600			
	国都支出金			17,980			12,315			31,340			
	その他			0			0			0			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			6,250			6,142			5,885			
	所要人員（人）			0.77			0.77			0.77			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
	所要人員（人）			0.00			0.00			0.00			
合計（事業費+人件費）				29,500			18,457			43,825			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和2年度に引き続き、交通管理者協議資料を整え協議を完了し、事業認可の取得に向けた事前協議後、認可申請を行った（事業認可は未取得）。令和3年度に予定していた電線共同溝予備設計委託業務は完了した。	令和4年度は、事業認可取得後速やかに市民に対する用地説明会を実施するとともに、不動産鑑定評価委託、物件補償及び算定業務委託を実施する必要がある。

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
事業の効果的かつ効率的な実施に配慮しつつ、当該路線の早期整備に向けて、引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、用地取得等を進めていく。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
向上				
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・40号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	用地 係 内線 275
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線として位置付けられている立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線へ接続する路線であり、当該路線の整備により総合体育館等へのアクセス向上及び沿線の防災安全面などの環境改善を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	青梅街道峰交差点から立3・5・20号線まで（幅員16m、延長約133m）において当該路線を整備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	当該地の維持管理	—	目標	維持管理	維持管理	維持管理
				実績	維持管理	維持管理	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		572	562	666
財源内訳	一般財源	572	562	666
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		654	642	743


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
事業に係る用地取得は完了しているが、工事着手までの期間において、当該用地の維持管理として年5回の除草作業を実施した。	●青梅街道以南の都市計画道路（都道）の整備が未着手であることから、交差点の線形を確定するため、関係機関との調整が必要である。 ●整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号の整備が必要である。 ●事業を休止したため、補助金の導入、事業認可の再取得の可否は、現時点では不明である。（平成17年度をもって事業認可期間が切れている。）。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業の整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号線の整備が必要であり、それが進行するまでは適宜当該用地の除草作業を行い現状維持を計る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・5・20号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線に選定された立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線を整備する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	主要市道第17号線～立川都市計画道路3・4・40号松中残堀線まで（幅員12m、延長約680m）について、令和7年度までに優先的に整備すべき路線として位置付けられていることから整備事業の着手に向けた検討を進める。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	現況測量、交通量調査等業務の実施	—	目標	調査検討	調査検討	調査検討
				実績	未実施	未実施	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員（千円）		82	80	77
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		82	80	77


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
調査検討未実施	当該路線の整備に当たっては、接続路線である立3・4・40号線と合わせた整備が必要である。

所管課の評価	【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																										
	第四次事業化計画において令和7年度までに優先的に整備すべき路線として選定されていることから、事業の効果的かつ効率的な実施に配慮しながら、整備事業の着手について調査検討を行う必要がある。																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</td> </tr> </tbody> </table>							今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下				（廃止・休止・終了の場合は記入不要）				
			今後の方針																												
コスト																															
成果	向上																														
	維持		○																												
	低下																														
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																															

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 1号線交差点整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	(主) 1号線 (区間: 学園通り交差点~団地西通り交差点、幅員12m、延長約630m) は、路線バスや大型貨物車等の車両通行による利用頻度が高く、損傷による劣化が進行している。特に、(主) 6号線 (区間: 緑が丘1460番地先~大南五丁目1番地先) 及び同7号線 (区間: 学園三丁目37番地先~大南五丁目1番地先) との交差点部の劣化は著しく、振動による家屋のひび割れや睡眠障害等の苦情が多数寄せられているため、路盤も含めて改修する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	交差点部改修工事 舗装工 (3層25cm) 路盤工 (2層40cm)			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	交差点部改修工事	箇所
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費 (千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員 (千円)	82	80	77
	所要人員 (人)	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員 (千円)	0	0	0
	所要人員 (人)	0.00	0.00	0.00
合計 (事業費+人件費)		82	80	77

市民・議会等から寄せられた意見


当課で管理する記録によれば、平成20年度以降、市民からの要望は4件、議員からの要望は1件寄せられている。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」と位置付けられているため、事業の実績なし。	本市の幹線道路であるため舗装構造等が充実しており、改修に要する経費も多く必要とする。

令和4年度の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き実施計画事業として要求し、要望に対応していく。																						
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
削減		維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 2号線交差点整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	土地区画整理事業の進捗、大規模商業施設の増床計画、多摩都市モノレールの延伸による歩行者量の増加を見据え、快適な歩行者空間の確保を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	榎一丁目6番地先において用地取得及び歩道拡幅を行い、ゆとりある歩行者空間を整備する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	整備時期等に関する調査検討	—	目標	調査検討	調査検討	調査検討
				実績	調査検討	調査検討	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員(千円)		82	80	77
人件費	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		82	80	77


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
周辺の土地開発等の動向把握を行った。	周辺の土地利用動向を踏まえつつ、整備時期等を検討する必要がある。

【今後の方向性】		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
市民の安全で快適な交通を確保するため、幹線道路との有機的な結び付きに配慮しながら、土地区画整理事業を始めとした周辺の土地利用の動向を見極め、歩行者空間の確保に関する検討調査を行った上で用地取得等に着手していく。																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																								
		コスト																								
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																										

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 12号線拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	道路法		
目的	地域防災計画で指定されている災害時の緊急活動重要路線として整備するとともに、都市計画マスタープランで示されている、補助幹線道路としての道路ネットワークの整備を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	延長約370m、現況幅員5.46mから10.57mの道路を12mに拡幅（交差点部14m）する。用地買収面積、約2,820㎡（公社先行取得分含む。） 平成28年度から令和6年度までは用地取得、令和7年度から道路工事を予定している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	用地取得進捗率	%
			実績	49.5	54.5	
			達成率	90%	84%	
2	道路築造進捗率	%	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—	
財源内訳					
一般財源	12,126	53,705	64,264		
国都支出金	10,183	61,861	49,555		
その他	0	15,400	0		
人件費					
会計年度任用職員以外の職員（千円）	487	479	1,452		
所要人員（人）	0.06	0.06	0.19		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）	22,796	131,445	115,271		


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
<input checked="" type="checkbox"/> 市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
<input type="checkbox"/> 市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	
<input type="checkbox"/> 受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
<input checked="" type="checkbox"/> 施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
効率性	<input type="checkbox"/> 民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	
<input type="checkbox"/> 事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
<input type="checkbox"/> 類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、当初3件の用地取得を目指していたが、年度内に除却まで完了せず1件分の取得にとどまった。一方、当初の予定にはなかった地権者について急遽契約がまとまり1件の取得へとつながった。また、今後の用地取得へ向け地権者に対し複数回折衝を行った。	用地取得については、地権者の事業への理解が必要であり、用地取得が進むにつれて計画的な用地取得の見通しを立てることが難しくなるが、引き続き丁寧な説明に努めていく。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
道路の供用開始へ向け、用地取得については、進捗するほど難航してくると予想しているが、引き続き丁寧な説明をして用地取得に努める方針である。		今後の方針	
また、道路築造については、当初想定していなかったが、東京都が推進している無電柱化の状況を勘案し、新たに当該路線に無電柱化を導入することとした。令和4年度には、無電柱化について予備設計を行う。		コスト	
今後、用地の進捗に合わせて一部道路の先行整備について検討を始め、早期の供用開始に努める。		削減	維持
成果	向上		○
	維持		
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	榎地区まちづくり事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線	272
	根拠法令等	都市計画法、道路法				
目的	榎二丁目地区のまちづくりの整備手法等を検討し、地域住民等の意見を踏まえて整備計画を策定し、秩序ある市街地の整備を行う。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	東西道路のネットワークの構築をはじめ、地区住民の意見を踏まえ地区の課題の洗い出しを行い、榎地区のまちづくりについて検討を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
事業費(千円)	5,995	14,102	14,542	—		
財源内訳						
一般財源	5,995	14,102	14,542			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,653	3,590	3,439			
所要人員(人)	0.45	0.45	0.45			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	9,648	17,692	17,981			

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	評価		
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当			
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
まちづくり及び都市計画変更に係る住民説明会等を実施し、立川都市計画道路3・4・17号桜街道線の都市計画道路の変更を行った。	都市計画道路の整備の推進だけでなく、榎地区全体のまちづくりについて市民と協働で調査検討を行っていく必要がある。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了


榎地区（榎一丁目の一部及び榎二丁目の全域）は、市の基本構想など上位計画に位置付けられた「都市核地区」に隣接し、市民生活の利便性や良好な住環境の向上を図るため、都市核地区及び榎地区の幹線道路の整備を推進する必要があることから今後も継続していく。なお、令和5年度以降、道路築造までに係る業務については、業務包括委託を予定している。

- 令和4年度：事業計画検討
- 令和5年度～令和6年度：事業認可取得
- 令和7年度～令和9年度：用地取得、物件補償
- 令和10年度～令和12年度：道路築造工事

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 66号線拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	(主) 66号線(区間: 神明四丁目75番地先~新青梅街道、幅員6m、延長約54m)の拡幅部分については、既に土地開発公社が道路用地として先行取得しており、現在は同社の借入金へ利子補給を行っている。 隣接する多摩都市モノレール用地を令和5年度に東京都で買収するため、それに合わせて本市においても予定地を測量のうえ買収する必要がある。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	用地取得及び拡幅工事 用地取得面積: 120.0㎡ 工事延長: 54.0m			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	用地取得件数	箇所
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2	拡幅工事件数	件	目標	1	1	1
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	-			
事業費(千円)	2	1	1				
財源内訳	一般財源	2	1				
	国都支出金	0	0				
	その他	0	0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	82	80				77
	所要人員(人)	0.01	0.01				0.01
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00
合計(事業費+人件費)	84	81	78				

視点別の分析	妥当性		有効性		効率性		
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当				

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
平成26年度から利子補給を実施している。	-

令和4年度の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
(主) 66号線の拡幅整備に当たり、東京都による事業の進捗と合わせ、実施計画事業として要求する。																			
		今後の方針 コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	削減	維持	増加																
向上																			
維持		○																	
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																			

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	国立感染症研究所周辺道路整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金補助要綱		
	目的	国立感染症研究所の周辺道路のうち、損傷等による道路環境の悪い路線について補助金を活用して順次改修し、道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	生活道路に限らず国立村山医療センター北側道路（（主）21号線、区間：学園二丁目37番地先～神明一丁目50番地先、幅員5.5m～8.0m）や江戸街道（（主）1号線、区間：学園通り交差点～団地西通り交差点、幅員12m、延長約630m）などの幹線道路においても劣化が認められることから、補助金が廃止されない限り舗装等の改修工事を実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	舗装等改修工事	路線	目標	2	3	1
				実績	2	3	
				達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		17,300	23,841	2,000
財源内訳	一般財源	0	1	0
	国都支出金	17,300	23,840	2,000
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	4,058	5,982	765
	所要人員（人）	0.50	0.75	0.10
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		21,358	29,823	2,765


市民・議会等から寄せられた意見	
今年度までに、市議会議員から、学園三丁目内の市道について、当補助金を活用して改修してほしいとの要望が2件寄せられている。	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	市民のニーズに適合しているか
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響
	影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	民間委託等は可能か
	困難である <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●（主）73号線整備工事（舗装工1,300㎡） ●B-28号線整備工事（舗装工654㎡） ●B-50号線整備工事（舗装工694㎡） ●改修路線舗装構造評価調査委託料（462,000円） 	厚生労働省による補助金交付期限が明確でないことが挙げられる。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
教育委員会による学校改修補助事業等の不用額を当事業で執行しており、令和4年度は令和5年度に予定する江戸街道（（主）1号線）の改修に備えた劣化度判定調査委託のみ実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市道隅切等整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係	内線	266
	根拠法令等	道路法				
	目的	見通しの悪い交差点等における視認性の向上を目的とし、隅切りを設置するために必要な用地を買収するもの。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	昭和48年度から事業開始し、令和3年度末までの実績は340箇所である。毎年1、2箇所程度準備していく計画である。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	隅切事業整備箇所数	箇所
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	707	2,400		警察から道路交差点の視通不良による、事故の恐れがあるため、道路管理者として対策するように要望があった。
財源内訳	一般財源	-	707	2,400		
	国都支出金	-	0	0		
	その他	-	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	82	80	77		
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		82	787	2,477		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当			
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当		
効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【昭和48年度から令和3年度末まで】 用地取得費：148,300千円 物物件補償費：15,054千円 測量調査委託料：8,299千円 不動産鑑定評価委託料：7,152千円 合計：178,805千円 昭和48年度から令和3年度までに340箇所の整備等を実施した。	隅切り等用地取得は、用地の交渉や用地引き渡しまでの更地化に時間を要することから、年度を跨ぐことも想定される。

令和4年度の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き実施計画事業として要求し、市民等の要望に応じていく。																						
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
削減		維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	既設道路整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	市で管理する道路における小規模な舗装及び街きよ等の補修を実施するための工事請負費であり、危険性や重大性の高いものから順位をつけて道路を整備し、道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	本事業の内訳は、100～300万円程度の舗装改修工事が中心である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	舗装等改修工事	箇所	目標	20	20	20
				実績	24	29	
達成率				120%	145%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		37,962	46,018	45,000
財源内訳	一般財源	3,862	5,518	4,500
	国都支出金	34,100	40,500	40,500
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	16,232	19,940	19,105
	所要人員(人)	2.00	2.50	2.50
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		54,194	65,958	64,105

市民・議会等から寄せられた意見	
<p>本事業では、生活道路を中心とした比較的に小規模な道路補修工事を実施している。</p> <p>市民及び市議会議員を通じた要望件数は多く、限りある予算の関係上、受付年度に全てを対応できていないものの、工事の施工に対しては要望者から喜びの声がある。</p>	


視点別の分析	妥当性	市民のニーズに適合しているか	市民との協働により事業を実施しているか	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	受益者負担は適切か	施策への貢献度は適切か	効率性	民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	類似事業等との統合は可能か
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●その1工事(13箇所): 17,766,496円 ●その2工事(16箇所): 16,842,044円 ●(主)63号線側溝改修工事: 7,150,000円 ●すずかけ橋伸縮装置改修工事: 3,850,000円 ●なかよし橋欄干補修工事: 408,540円 	直営以外の補修工事は、その大部分を本事業により実施している。既設道路は損傷による劣化が進行し、現在の予算規模では将来的に多額の費用を要する。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
【今後の方向性】 安全で円滑な交通環境を確保するため、一般市道等における道路破損箇所の舗装、補修等を実施するものであり、施工箇所と工法を精査しながら事業を執行するとともに、令和4年度は本市の実情に見合った成果が見込める路線(工法)について実施計画事業として要求する。																								

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	私道整備補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	私有道路整備事業費補助金交付要綱		
	目的	私有道路の整備工事等に要する費用に対して補助金を交付することにより、私有道路における交通安全の確保と利用者の生活環境の向上を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	路面舗装、雨水排水施設及び街きょ整備の各工事は補助率8割、雨水排水施設浚渫作業は同5割としている（どちらも見積額と基準額を比較し、少ない額を補助する）。			
対象（交付先）	私有道路の整備工事等を行う者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	整備工事等	箇所
			実績	1	1	
			達成率	50%	50%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
補助金	交付金額（千円）	542	635	2,000	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	542	635	2,000	市民や議員からは、それぞれ例年1、2件程度の相談が寄せられる。							
	国都支出金	0	0	0	他市等の状況							
	その他	0	0	0	【令和4年6月1日現在の26市状況】							
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,218	1,197	1,147	●全額市費対応：立川市ほか14市							
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15	●補助金制度：八王子市ほか8市							
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	●市役所非関与：青梅市、清瀬市							
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（補助金+人件費）				1,760	1,832	3,147						

交付団体等の決算予算の状況				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
収入	総額（千円）	678	794	2,000	交付団体等の令和3年度の市補助金の使途							
	市補助金	542	635	2000	交付金額（千円）							
	会費	-	-	-	工事請負費							
	繰越金	-	-	-	635							
	事業収入	-	-	-								
	その他	136	159	-								
支出	総額（千円）	678	794	0	割合（%）							
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合							
	人件費	-	-	-	—							
	事業経費	678	794	-	団体収入に占める繰越金の割合							
	その他	-	-	-	—							
										交付金額に対する繰越金の割合		
										—		


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
本事業は、平成23年度まで申請に基づき市の発注で改修工事を実施していた（同年度の実績は予算16,000千円、執行額15,752千円。執行率98.4%）。平成24年度から現在の補助金制度へ移行し、同年度は補助金として5,000千円を計上したが未執行であった。令和3年度の実績は以下のとおり。 【実施箇所】 残堀5-142-9 【工事内容】 ①L形側溝整備工（延長=9.0m） ②舗装打換工（面積=50.0m ² ） 【工事代金】 793,650円 【補助金額】 634,920円		受益者の負担割合を増やすと、私有道路の所有者による維持管理はおろそかとなる可能性が高い。 令和4年度に多摩26市の運用状況を調査した結果、事業未実施は2市、全額市費負担は15市、補助金制度は9市（補助率内訳：9割2市、8割5市、7割1市、5割1市）であり、一般交通に私有道路が供されている実態からも、負担割合を変更することは難しい。	

令和4年度の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
私有道路における交通安全の確保や市民の生活環境を整備する上で必要であることから、引き続き実施計画事業として要求し、市民等の要望に応じていく。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	公共汚水柵設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備部	道路下水道課	工事係 内線 267
	根拠法令等	公共汚水柵設置に関する取扱基準		
	目的	住宅等の新設等に伴い必要となる公共汚水柵の整備を行う。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に 
内容	公共汚水柵の整備を毎年度適宜実施する（平均15箇所）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	※市民からの設置要望に対し、市が設置する事業であるため、評価指標を設定することが困難。	—
2	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—
達成率	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見																										
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見																										
事業費（千円）	6,148	11,623	8,000	—																										
財源内訳	一般財源	0	0				—																							
	国都支出金	0	0							—																				
	その他	6,148	11,623										8,000	—																
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	650	639										—																	
	所要人員（人）	0.08	0.08														—													
	会計年度任用職員（千円）	26	27																	—										
所要人員（人）	0.02	0.02	—																											
合計（事業費+人件費）	6,824	12,289																					8,641	—						


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和3年度は、14件の公共汚水柵の設置申請があり、全てに対し設置を行った。	—

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
今後も引き続き、公共汚水柵の設置要望に対し設置を行っていく。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	管渠改良事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道				
	所管部署	都市整備部	道路下水道課	工事係	内線	267
	根拠法令等	下水道法				
目的	交差点拡幅等の道路改良の際に、道路下に埋設している下水道管について移設する必要が生じるため、管きよ及び取付管の改良工事等を実施する。				SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に 	
内容	管きよ及び取付管の敷設替えを実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	※交差点拡幅等の道路改良事業に伴い発生する事業のため、評価指標を設定することが困難。	—
2	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—
達成率	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	72,473	222,669			
国都支出金	-	0	0			
その他	-	72,473	222,669			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	487	479	1,452			
所要人員(人)	0.06	0.06	0.19			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	487	72,952	224,121			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、3件の管きよ改良工事を実施した。1件は、管きよの劣化による管きよ更生工事、1件は、都道交差点改良工事に伴う管きよ敷設替え、残る1件は、空堀川河川改修工事に伴う管きよ改良工事である。	すいすいプラン(交差点改良事業)等の東京都の事業に伴う管きよ敷設替えについては、都の事業進捗状況に左右されるため、敷設替えを行う時期が変更となる可能性がある。 また、今後実施が想定される新青梅街道の拡幅事業が開始された際には、下水道管の移設工事を全線行う必要があり、事業費が数十億円必要となる試算である。なお、新青梅街道の拡幅工事に併せて実施するためその時期は未定である。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和4年度については、交差点改良に伴う改良工事2件、管きよの劣化による改良工事1件、その他敷設替えを1件予定している。 事業の推進に当たっての課題に記載したとおり、今後実施が想定される新青梅街道の拡幅事業が開始された際には、下水道管の移設工事を全線行う必要があり、工事費等の事業費及び従事するための事務事業量が膨れ上がると想定している。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	下水道ストックマネジメント事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法		
目的	武蔵村山市下水道ストックマネジメント計画及び武蔵村山市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、計画的に点検、調査、施設の改築等を実施する。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に 	
内容	1期当たり7年（点検調査（2年）、計画策定（1年）、実施設計及び工事（4年））かけて実施し、第1期から第7期（令和2年度から令和26年度）の7つの工期に分けて実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了までに要する全ての作業工程（7作業×7工期=49工程）に対する事業進捗率	%
			実績	2	4	
			達成率	100%	100%	
2			目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		40,442	44,325	27,600	
財源内訳	一般財源	0	0	0	
	国都支出金	10,500	8,925	5,775	
	その他	29,942	35,400	21,825	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	244	240	230	
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		40,686	44,565	27,830	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、第1期のうち調査の2年目（マンホールふた箇所=586箇所、管きょ延長=13,742m）を実施した。	公共下水道管のストックを継続して適正に維持管理していく上で当該事業は必要不可欠であるが、市内全域の管きょ延長約273Kmを対象に1期7年、7期にわたる長期の事業となり、事業費が膨大である。 また、第7期が完了した時点で、また第1期に戻り永続的に事業を進めていくことが予想される。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和4年度については、第1期で実施した2年間分の調査結果（マンホールふた箇所=1,145箇所、管きょ延長=27,480m）を受けて、改築に必要なポリウムを精査し、令和5年度以降に実施する工事の詳細設計及び工事のための計画を作成する。 今後も継続してスケジュールに沿って事業実施を進めていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空堀川上流雨水幹線整備事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道			
	所管部署	都市整備部	道路下水道課	下水道係	内線 255
	根拠法令等	下水道法			
	目的	本市南東部の大南地区は雨水の排出先である空堀川より地盤が低く、本市単独で河川に排出することが困難であるため、立川市、東大和市及び本市の雨水をまとめて排出する「流域雨水幹線」を、東京都下水道局流域下水道本部において施設整備することが決定し整備を進めた。関係市町は、その建設に係る費用の一部を負担する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	平成30年度：空堀川流域広域雨水整備検討協議会及び幹事会の開催 整備手法の検討・方針決定 令和元年度～令和4年度：設計及び建設局河川部との協議等 令和4年度～令和12年度：工事				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	設計及び建設局河川部との協議等	—
2	—	—	目標 実績 達成率	— —	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—		
財源内訳	1,340	2,218	8,174			
一般財源	1,340	2,218	8,174			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費	0	0	0			
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	1,340	2,218	8,174			

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	市民のニーズに適合しているか
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響
	影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	民間委託等は可能か
	困難である <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
空堀川雨水幹線建設に伴う土質調査委託等を実施した。	雨水に関する費用であることから、一般会計の負担となるが、財源は一般会計からの繰出金となるので、工事の内容によっては、年度ごとの負担にばらつきがある。

令和4年度の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																
東京都が整備する立川市、東大和市及び本市の雨水をまとめて排出する流域雨水幹線の整備費を負担するものであり、抜本的な雨水対策を図るため、東京都及び関係市との連携による整備の促進が求められることから、今後も継続する必要がある。	今後の方針 コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
	削減	維持	増加																
向上		○																	
維持																			
低下																			
	(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																		

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	廃棄物資源分別事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	協働推進 部	ごみ対策 課	ごみ対策 係 内線 292
	根拠法令等	武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画		
目的	市内の家庭等から収集等をした資源ごみの中から資源になるものを市内のリサイクルセンターに搬入、選別し、資源化処理を行う。 回収品目は、金属類、ビン類、ペットボトル、紙類、布類、プラスチック、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光灯など）である。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	回収した資源物（金属類、びん類、紙類、布類）は資源化業者に売却し、ペットボトル、プラスチック、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光灯など）は資源化業者に資源化処理を委託する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	目標指標 資源化率（エコセメントを含む。）	%
			実績	35.4	34.7	
			達成率	101%	99%	
2	モニター指標 資源化率（エコセメントを除く。）	%	目標	26.2	26.4	28.3
			実績	28	27.1	
			達成率	107%	103%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		130,425	127,662	107,452
財源内訳	一般財源	113,750	96,528	49,321
	国都支出金	0	0	0
	その他	30,795	48,938	58,131
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,624	1,955	2,064
	所要人員（人）	0.20	0.25	0.27
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		132,049	129,617	109,516

市民・議会等から寄せられた意見


令和元年度第4回廃棄物減量等推進審議会において、委員より家庭ごみの有料化及び戸別収集の導入に当たり、市民に対してごみの分別及び資源化について、わかりやすく周知すべきであるとの意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度の資源物回収実績として、回収量は約4,249 t、資源化率は34.7%であった。 また、市民のごみに対する意識の向上を目的としたごみ情報誌を年4回（4月、7月、12月、2月）発行し、資源物の排出方法について記載するとともに、7月号では、資源物の分別に特化した内容とし周知を図った。	市報、市ホームページ、ごみ情報誌等を使用し、資源物の分別について周知を図っているが、令和3年度の家庭ごみ組成分析調査において、資源物が可燃ごみに約22%、不燃ごみに約13%含まれていた。 このことから、家庭から排出されるごみの中には、一定量の資源物が含まれているため、市民に対し、更なるごみの資源化及び減量化に対する意識の向上を図るとともに、分別の徹底を促すことが重要である。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和4年10月から導入する家庭ごみの有料化及び戸別収集により、これまで一括回収していた容器包装プラスチックとペットボトルを分別収集することとしている。 現在、一括回収した容器包装プラスチック及びペットボトルは、リサイクルセンターに搬入、分別し、小平・村山・大和衛生組合の資源物中間処理施設に搬入しているが、10月以降は分別収集した容器包装プラスチックとペットボトルをそれぞれ直接、資源物中間処理施設に搬入することとなる。 そのため、リサイクルセンターにおいて分別を行う資源物の搬入量及び分別品目が10月以降、減少する見込みである。 なお、容器包装プラスチック及びペットボトルの分別収集については、市民説明会やごみ情報誌などを通じて情報提供を行い、分別の徹底を促していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	家庭ごみ有料化準備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル				
	所管部署	協働推進 部	ごみ対策 課	減量推進 係	内線	292
	根拠法令等	武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画				
目的	良好な環境の次世代への継承、ごみの減量及び資源化の推進、排出量に応じた負担の公平性の確保及びごみに対する意識の向上を目的とし、家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入を推進する。				SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入に当たり、実施計画の策定など、具体的事項の検討を進めるとともに、ごみに関する意識啓発を目的としたごみ情報誌の発行等、市民への周知を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	ごみ情報誌の発行回数	回
			実績	2	4	
			達成率	100%	100%	
2	排出物原単位（市民1人1日当たりのごみ、資源の排出量）	g/人日	目標	748	740	683
			実績	791.5	772.4	
			達成率	106%	104%	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		2,172	2,675	575,504	
財源内訳	一般財源	2,172	2,675	148,607	
	国都支出金	0	0	124,785	
	その他	0	0	302,112	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	10,957	14,437	41,037	
	所要人員（人）	1.35	1.81	5.37	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		13,129	17,112	616,541	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入に向けた実施計画の策定に向け、パブリックコメント及び市民説明会を経て、令和3年10月に実施計画を策定した。</p> <p>また、実施計画の内容を踏まえ、廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部改正を令和3年11月に実施した。</p> <p>さらに、家庭ごみ有料化及び戸別収集の内容の周知、市民のごみに対する意識の向上を目的としたごみ情報誌を年4回（4月、7月、12月、2月）発行した。</p>	<p>市民への周知について、ごみ情報誌の発行など、情報提供の頻度を増加し、対応しているが、導入に向けて、更なる周知啓発が必要である。</p>

令和4年度の方針																			
<p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>令和4年度は、収集運搬に係る経費や指定収集袋の作成、管理等に係る経費等を含め、事務事業を実施していく。</p> <p>なお、令和4年度は、家庭ごみ有料化の導入に向けた具体的な準備（戸別収集移行後の排出場所調査の実施、指定収集袋の作成及び販売の開始など）のほか、市民周知の機会として、ごみ情報誌の発行以外にも、市民説明会の実施、ごみ分別辞典の市内全戸配布、コールセンターの設置などを経て、令和4年10月から家庭ごみ有料化及び戸別収集を開始する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○	低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持			○															
	低下																		

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」モニター事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	協働推進 部	ごみ対策 課	減量推進 係 内線 292
	根拠法令等	生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」モニター事業実施要領		
目的	家庭から排出される可燃ごみの約4割が生ごみであることから、モニター事業を通じて、生ごみの減量に向けた手法の提供及び意識啓発を行う。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任	
内容	生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」一式（容器本体、黒土、移植ごて）を、希望する世帯に配布し、実際に生ごみを処理することで、「ミニ・キエーロ」による減量効果等を確認し、今後の生ごみ減量に係る施策に反映させていく。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	モニター参加世帯数 ※令和4年度は工作教室参加世帯数	世帯
			実績	200	200	
			達成率	100%	100%	
2			目標			
			実績			
			達成率			

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		654	652	112
財源内訳	一般財源	8	14	2
	国都支出金	0	0	0
	その他	646	638	110
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,543	1,516	459
	所要人員（人）	0.19	0.19	0.06
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		2,197	2,168	571

市民・議会等から寄せられた意見

モニター事業参加者アンケートにおいて、以下の意見が寄せられている。


- 家庭から出る生ごみを全て処理するには、配布する容器では容量が小さい。
- 使用してみてごみの減量に興味があった。
- 実際に作る機会を設けてほしい。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、令和元年度及び令和2年度に引き続き、モニター参加者の募集を行った。説明会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催せず、ごみ情報誌やごみ分別アプリ等での広報のみを行ったが、参加世帯数については、令和元年度及び令和2年度と同様に目標とする200世帯を達成した。	モニター参加者には、容器本体及び黒土といったサイズが大きく、重量のあるものを配布していることから、自家用車で受け取りに来ることが困難な場合、市職員による配送を行っており、配送に係る負担が大きい。 モニター参加者からは、配布する容器では容量が小さいため、追加配布の要望を受けることがあったが、多くの世帯の参加を促す観点から、追加配布は断らざるを得なかった。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
当モニター事業については、開始当初から令和元年度から令和3年度までの3か年の事業として実施しており、令和3年度での終了が妥当である。 しかしながら、モニターアンケートの結果から、引き続き「ミニ・キエーロ」を使い続けたいという意見が回答者の8割を超えるなど、生ごみの減量に向けた意識の高揚が見られ、「ミニ・キエーロ」は、生ごみの減量に対し、一定の効果があることが確認できた。 「ミニ・キエーロ」自体は、プランターに屋根を設置したような簡易な構造の生ごみ処理容器であることから、令和4年度は、「ミニ・キエーロ」工作教室を開催するなど、家庭での自作を通じた「ミニ・キエーロ」の普及を促進していく。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持	○			低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	多摩都市モノレール延伸促進事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	—		
目的	多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期実現に向けて、市内の機運醸成や促進活動の活性化を目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	モノレール早期延伸をPRするための物品の作製及び販売や市民組織と連携した促進活動を実施する。また、東京都等の関係機関への要望活動を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	情報誌モノレールの発行回数	回
			実績	5	7	
			達成率	83%	117%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		660	1,515	576		令和2年第1回定例会において、早期延伸を実現するため、市民と一体になった一層の促進活動が必要であるとの意見があった。
財源内訳	一般財源	617	261	0		
	国都支出金	43	0	0		
	その他	0	1,254	576		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,192	2,712	2,599		
	所要人員(人)	0.27	0.34	0.34		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		2,852	4,227	3,175		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>令和3年度は、情報誌モノレールの発行(7回)、PR用カレンダー、マスク、エコバッグを作製し、市役所1階市政情報コーナー等で販売を行った。</p> <p>また、市民からモノレール早期延伸を願うキャッチフレーズを募集し、選定したキャッチフレーズを掲載した懸垂幕を市民駐車場内にあるホースタワーに掲げた。</p> <p>さらに、市役所北側にあるモノレール延伸PR看板について、武蔵村山市第五次長期総合計画に掲げる将来都市像に合わせるため、盤面シートの交換を行った。</p>	<p>令和4年の都知事施政方針において、「令和4年度、都市計画等の手続に着手する」との発言があったところであり、延伸に向けてモノレールの利用需要の創出につながるまちづくりのより一層の推進が必要となる。</p>

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
<p>東京都等の関係機関と連携を取りながら、引き続き、モノレール延伸の機運醸成のための取組を行っていきとともに、モノレールのまちづくりの在り方を検討していく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	「モノレールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市モノレールを呼ぼう！市民の会交付金交付要綱		
	目的	市民等が主体となって行うモノレール促進活動の充実を図り、もって多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市民の会が行うモノレール促進活動に必要な経費のうち、補助対象経費（謝礼金、打合せ経費、消耗品費、備品費、印刷経費、役員費、委託料、レンタル・リース経費、工事費、その他経費）に対し交付するものであり、上限額は150万円である。			
対象（交付先）	モノレールを呼ぼう！市民の会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	市民の会会員数（個人会員、サポート会員）	人
			実績	2,037	1,715	
			達成率	—	—	
2	市民の会会員数（団体会員、賛助団体）	団体	目標	—	—	—
			実績	54	54	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	1,232	1,500	1,200		令和2年第1回定例会において、市民の会との協働体制を充実させ、1日も早い延伸の実現をお願いしたいとの意見があった。
一般財源	484	337	0		
国都支出金	748	1,163	0		
その他	0	0	1,200		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 近隣市町では、瑞穂町に「モノレールを呼ぼう瑞穂の会」、あきる野市に「モノレールを呼ぼうあきる野の会」があるが、補助を実施する自治体はない。
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,314	1,580	1,277		


収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	2,866	3,523	3,272		交付金額（千円） 1,500
市補助金	1,232	1,500	1,200		事業費 1,328
会費	398	449	500		役務費 172
繰越金	1,236	1,574	1,516		
事業収入	0	0	0		
その他	0	0	56		
総額（千円）	2,866	3,523	3,272		
支出	交際費、飲食費				割合（％）
	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合 43%
	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合 45%
	976	1,328	1,500		交付金額に対する繰越金の割合 105%
	1,890	2,195	1,772		

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は、本補助金を通じて、下記の取組が行われた。 ●モノレールを呼ぼう！市民の会の10年間の活動成果をまとめたDVDを製作し、会員に配布 ●ホームページのリニューアル	令和3年度の決算において、翌年度への繰越金が1,516,076円となっており、補助上限額の150万円を上回る状況であるため、今後の補助金交付について検討する必要がある。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が開催できていないこと、直近3年間の補助金交付確定額に還付金が生じていることなどから、令和4年度予算額を120万円としている。</p> <p>令和4年の東京都知事の施政方針において「今年度、都市計画等の手続きに着手する」との発言があり、モノレール延伸に向けた取組は着実に前進している状況である。今後、早期延伸の実現に向けて、交付金の活用内容について、「まちづくりを市民に伝える役割」や、「市民が期待する武蔵村山市のまちづくりを検討するような活動」に充てることを検討していく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
	今後の方針																							
	コスト																							
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
	(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	多摩都市モノレール関連調査事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	—		
目的	モノレール延伸後を見据えたまちづくりの方向性を示した「モノレール沿線まちづくり構想」に掲げる各施策の実施に向けた調査を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	調査については、まちづくりの前提条件、方向性の整理、まちづくり単位の設定及び方針の設定、詳細検討を実施し、まちの将来計画資料を作成する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	※まちづくりの具体化に向けた調査になるため、指標の設定が困難。	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		3,575	5,247	6,556
財源内訳	一般財源	1,792	0	6,556
	国都支出金	1,783	0	0
	その他	0	5,247	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,435	2,633	2,522
	所要人員(人)	0.30	0.33	0.33
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		6,010	7,880	9,078


市民・議会等から寄せられた意見	
平成30年9月の決算特別委員会において、新青梅街道の拡幅事業の用地取得が進むことにより、さらに市民の関心も深まってくることから、市内延伸の早期実現に向けて市長を先頭に職員の皆様に頑張っていたきたいとの意見があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
「モノレール沿線まちづくり構想」に掲げる各施策の実施に向け、新駅周辺等のまちづくりの具体化に向けた調査を実施した。	東京都及び関係市町と連携しながら、多摩都市モノレール利用者の創出につながる沿線のまちづくりに取り組む必要があり、関係機関との調整が重要となる。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
東京都と、本市、東大和市及び瑞穂町の2市1町で連携し、「モノレール沿線まちづくり構想」に掲げる各施策の実施に向け、新駅周辺等のまちづくりの具体化に向けた調査内容の深度化を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新青梅街道沿道交通施設等調査検討事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線	272
	根拠法令等	都市計画法、道路法				
目的	多摩都市モノレール延伸に係る検討業務の進行に伴い、今後モノレール新駅に必要とされる各種交通施設について調査検討する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	自転車駐輪場設置に向けた検討、駅前広場等基本計画の検討などを行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	業務計画の円滑な推進	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	6,985	7,524	
財源内訳	一般財源	-	6,985	7,524	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,056	1,037	1,987	
	所要人員（人）	0.13	0.13	0.26	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,056	8,022	9,511	

視点別の分析	妥当性	市民の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

所管課の評価	令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	モノレール新駅周辺における自転車駐輪場の設置について、規模等の調査検討を行った。 駅前広場整備について、調査検討を行った。	多摩都市モノレールの延伸計画の進捗や周辺の土地利用動向を踏まえて、整備時期等について調査検討が必要である。


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

モノレール新駅の各駅前や周辺に駐輪場を整備し、駅勢圏拡大による来訪者の利便性、快適性の向上を図るため、多摩都市モノレールの延伸事業に進捗に合わせて、本事業による成果の更新等を必要に応じて実施していく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域公共交通検討事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	道路運送法、武蔵村山市地域公共交通会議設置要綱		
	目的	市内循環バス「MMシャトル」、乗合タクシー「むらタク」等の地域公共交通の抱える課題等を明確にし、更なる改善を図り、旅客輸送の確保と利便の増進、輸送サービスの実現を目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市民アンケート調査等を行い、課題を抽出をした上で、見直し計画案を作成する。その後、市民説明会やパブリックコメントを実施し、その意見を踏まえ、運行内容の見直し計画を策定するとともに、利用促進等の方策についても検討を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	市民説明会の開催回数	回
			実績	0	4	
			達成率	—	100%	
2	地域公共交通会議の開催回数	回	目標	7	3	3
			実績	5	2	
			達成率	71%	67%	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		10,621	7,230	258		令和2年3月の予算特別委員会において、どの人にとっても使い勝手がいい、安心して暮らせるような目的のための地域公共交通であってほしいとの意見があった。
財源内訳	一般財源	2,911	4,280	258		
	国都支出金	7,710	2,950	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,598	3,031	918		
	所要人員(人)	0.32	0.38	0.12		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		13,219	10,261	1,176		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、令和2年度に実施した市民アンケート調査の結果等に基づき、市内循環バス及び乗合タクシーの運行内容の見直し計画案を作成した。その後、市民説明会やパブリックコメントを実施し、寄せられた市民等の意見を踏まえた上で、地域公共交通会議での検討等を行い、見直し計画を策定した。また、利用促進等の方策についての検討も行った。	市民、公共交通の利用者全てが満足のいく運行計画を策定することは困難であるが、利用者数や運行に係る市の負担額などを勘案しながら、改善策を考えていく必要がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和4年4月から運用する再編による市内循環バス及び乗合タクシーの上半期の利用実績を確認した上で、地域公共交通会議を開催し、今後の方向性について協議を進める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市内循環バス運行経費補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市内循環バス運行経費補助金交付要綱		
	目的	市内循環バス「MMシャトル」の運行を確保し、もって武蔵村山市民の日常生活の利便の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	本市と市内循環バス「MMシャトル」の運行に関し協定を締結した事業者について、市内循環バスの運行に要する経費（人件費、燃料油脂費、車両修繕費等）に対し補助金を交付する。			
対象（交付先）	立川バス株式会社			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	市内循環バス1便当たりの年平均輸送人員	人
			実績	3.45	3.97	
			達成率	56%	65%	
2	—	—	目標			
			実績			
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	135,000	110,000	105,478		令和4年4月から武蔵砂川ルート及び西ルートを廃止しているが、対象地域の市民からは不便になったとの声がある。
一般財源	74,393	74,000	70,228		
国都支出金	60,607	36,000	35,250		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 立川バス株式会社がコミュニティバスを運行している他の自治体（立川市、昭島、国分寺市、国立市、瑞穂町）においても同様の補助がある。
所要人員（人）	0.03	0.04	0.04		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	135,244	110,320	105,784		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	160,591	141,438	136,800		交付金額（千円） 110,000
市補助金	135,000	110,000	105,478		事業経費 28,944
会費	0	0	0		人件費 81,056
繰越金	0	0	0		
事業収入	25,591	31,438	31,042		
その他	0	0	280		
支出	総額（千円）	162,658	177,008	137,581	
交際費、飲食費	0	0	0		
人件費	124,022	132,835	105,314		割合（%）
事業経費	23,991	28,944	20,723		団体収入に占める補助金の割合 78%
その他	14,645	15,229	11,544		団体収入に占める繰越金の割合 0%
					交付金額に対する繰越金の割合 0%


視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の影響により、市内循環バスの利用者数が評価指標の目標を下回ったが、大きな事故等も無く、一年間無事に運行することができた。	事業者の支出額から事業収入を控除した額が、本補助金の上限額を上回っている状況であることから、毎年補助限度額を交付している。市及び事業者が互いに緊張感を持ち、創意工夫を持った取組につなげるため、事業者の収入増加への取組や利用実績に基づき、補助額を毎年算定できるような仕組みを構築することも一つの方法と考える。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
低迷する利用者数の改善を図るため、運行計画の見直しを実施し、令和4年4月1日から武蔵砂川及び西ルートを廃止し、上北台及び玉川上水ルートの2ルートで運行を行う。それに伴い、令和4年度の補助上限額を1億1,000万円から8,800万円に削減とする。令和5年度は、人件費の見直しがあり、補助上限額を1億円に増加させるが、今後については、モノレール延伸に伴うバス路線再編に関する基本方針を定め、より効率的なルートに再編していく。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
	向上	○	
維持			
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市内循環バス車両購入経費補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市内循環バス車両購入経費補助金交付要綱		
	目的	市内循環バスの運行を確保し、もって武蔵村山市民の日常生活の利便の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	市内循環バスの運行に関し協定を締結した事業者が購入した車両に係る経費を補助する。			
対象（交付先）	立川バス株式会社			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助対象となる車両台数	台
			実績	7	6	
			達成率	100%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	22,992	24,830	15,504		令和3年3月の予算特別委員会において、市民の声を吸い上げた形で、市内循環バスの運行をよりよいものに向けていってほしいとの意見があった。
一般財源	14,992	16,830	15,504		
国都支出金	8,000	8,000	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 立川バス株式会社がコミュニティバスを運行している他の自治体において、本市と同様に車両に対する単独の補助事業を実施するところはない。
所要人員（人）	0.03	0.04	0.04		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	23,236	25,150	15,810		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	22,992	24,830	15,504		交付金額（千円） 24,830
市補助金	22,992	24,830	15,504		車両償却費 24,830
会費	0	0	0		
繰越金	0	0	0		
事業収入	0	0	0		
その他	0	0	0		
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合 100%
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合 0%
事業経費	22,292	24,830	15,504		交付金額に対する繰越金の割合 0%
その他	0	0	0		

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は、新規の車両購入はなく、平成28年度購入の2台、平成30年度購入の2台、令和元年度購入の1台、令和2年度購入の1台、計6台の車両償却費について補助を行った。	現在の車両は走行距離約80万キロを買替えの目安としている。そのため、年度末時点で各車両の走行距離を確認して新規車両の購入時期を想定し、予算計上を行う必要がある。

令和4年度の方針


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持	○		
低下			

新規車両購入の予定は無く、平成28年度に購入した2台の車両の返済が令和3年度で完了しているため、平成30年度購入の2台、令和元年度購入の1台、令和2年度購入の1台、計4台の車両償却費について補助を行う予定である。

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	乗合タクシー運行事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部 交通企画・モノレール推進 課 交通企画・モノレール推進 係 内線 273		
	根拠法令等	武蔵村山市乗合タクシー運行事業実施要綱 武蔵村山市乗合タクシーの同乗者利用の試行に関する要領		
目的	市内循環バス「MMシャトル」の利用者数が低迷していた運行ルートを廃止する代替として、廃止沿線地域（市南西地域）を対象とした乗合型の交通システムを導入する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	利用対象者の自宅と指定した乗降場所（市内公共公益施設）を結ぶ公共交通として、デマンド型の乗合タクシー「むらタク」を運行する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	利用者数	人
			実績	2,979	3,774	
			達成率	66%	84%	
2	利用登録率 ※令和4年度から利用登録対象地域が拡大し、対象地域の人数が増加しているため、目標値が減少している。	%	目標	10.00	10.00	6.00
			実績	8.85	9.19	
			達成率	89%	92%	


事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 平成30年3月の予算特別委員会において、確実に登録者数、利用者数が増えていると感じるので、要望、課題、市民に応えるむらタクにしていきたいとの意見があった。	
事業費（千円）	7,790	7,791	18,072		
財源内訳	一般財源	7,287	7,141		15,961
	国都支出金	0	0		154
	その他	503	650		1,957
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,166	3,829		2,599
	所要人員（人）	0.39	0.48		0.34
	会計年度任用職員（千円）	0	0		0
	所要人員（人）	0.00	0.00		0.00
合計（事業費+人件費）	10,956	11,620	20,671		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
登録者数や利用者数の拡大のため、制度の周知を行った（市報等による広報、出張説明会及び利用者登録受付の実施）。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、むらタクの利用者数が評価指標の目標を下回った。	登録者数や利用者数の拡大のため、制度のより一層の周知が課題となる。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和4年4月1日から市内循環バス「MMシャトル」の武蔵砂川及び西ルート廃止し、上北台及び玉川上水ルートの2ルートで運行を行うことに伴い、運行を廃止した地域（岸一丁目、中原、残堀、三ツ藤）を対象として、乗合タクシーの利用登録可能エリアを拡大し、乗降場所を3か所増設する。 地区会館や集会所での出張説明会及び利用者登録受付を実施し、登録者数や利用者数の拡大につなげていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	男女共同参画推進事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第1節 人権 2 男女共同参画		
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係 内線 242
	根拠法令等	男女共同参画基本法		
	目的	市の政策や方針決定の場への共同参画を推進することを目的とする。		SDGsの取組 5 ジェンダー平等を実現しよう
内容	市の政策や方針決定の場への共同参画を推進するため、参画機会の拡大に向けた環境を整備し、各種審議会等への女性の積極的な参画を進める。また、男性中心型の労働慣行の変革のために、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	審議会等への女性の参画率	%
			実績	32.3	33.1	
			達成率	79%	81%	
2	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数	件	目標	—	—	—
			実績	—	7	
			達成率	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		37	260	658	
財源内訳	一般財源	37	260	658	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,328	3,590	4,968	
	所要人員(人)	0.41	0.45	0.65	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		3,365	3,850	5,626	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か			
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果率	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
妥当性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果率	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
妥当性	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
	ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定要綱を制定し、募集を行ったところ、7社からの応募があり、審査の結果、7社全てを認定した。	—

令和4年度の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了		
令和4年度においても、市内に広く広報し、ワーク・ライフ・バランスの普及に努める。今後も引き続き実施していくべき事業である。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減 維持 増加		
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	ウィメンズチャレンジプロジェクト事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第1節 人権 2 男女共同参画			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	—			
目的	女性の自立支援と働きやすい環境づくり			SDGsの取組 5 ジェンダー平等を実現しよう	
内容	働く女性が結婚、出産、介護等を機に仕事を辞めざるを得ないという状況の改善を目指すとともに、女性の就労機会を拡大するため、関係機関と連携を図り、各種相談や情報提供・支援等の充実に努める。事業の実施主体は指定管理者であり、事業費は指定管理料の中から支出しているため、内訳は不明である。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	ウィメンズチャレンジプロジェクトキャリアアップ講座延べ参加者数	人	目標	—	—
			実績	84	346	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）	36,112	37,408	37,922	
財源内訳				
一般財源	36,112	37,408	37,922	
国都支出金	0	0	0	
その他	0	0	0	
人件費				
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0	
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）	36,112	37,408	37,922	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>コロナ禍の中、男女共同参画センター（緑が丘ふれあいセンター）において、ウィメンズチャレンジプロジェクトキャリアアップ講座を開催し、延べ346人の参加者があった。</p>	<p>令和2年度及び令和3年度について、コロナ禍により、対面での開催に苦慮したことから、オンラインでも可能な開催方法を模索する必要がある。</p>

令和4年度の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>女性の就労機会を拡大するため、今後も引き続き男女共同参画センター（緑が丘ふれあいセンター）において、ウィメンズチャレンジプロジェクトキャリアアップ講座を開催する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	巡回相談員配置事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育指導 課	教育支援 係	内線 442
	根拠法令等	武蔵村山市特別支援教育巡回相談員設置要綱			
目的	市立学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対しての行動観察を行い、専門的な見地から助言又は援助を行うことで、個に応じた支援を行うとともに、市立学校の特別支援教育を推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	学識経験者、臨床心理士、特別支援教育コーディネーター、就学相談員等で構成され、市立学校への巡回相談を実施し、教員などに対して、特別な教育的支援が必要な児童・生徒の指導内容や方法及び個々に応じた支援体制の在り方等について、適切な助言を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	巡回数	回
			実績	16	16	
			達成率	40%	40%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
事業費(千円)				197			95			284		
財源内訳	一般財源			197			95			284		
	国都支出金			0			0			0		
	その他			0			0			0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)			406			399			383		
	所要人員(人)			0.05			0.05			0.05		
	会計年度任用職員(千円)			13			14			15		
	所要人員(人)			0.01			0.01			0.01		
合計(事業費+人件費)				616			508			682		

市民・議会等から寄せられた意見


—

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当			
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当		
効果率	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度の巡回相談回数は16回である。巡回相談を実施した児童・生徒等については、特別支援教育専門委員会において報告し、指導上の留意点などについての意見交換を通じ、指導内容の充実を図っている。	近年、本市でも特別支援学級及び特別支援教室に通室する児童・生徒が増加傾向にあり、今後もその状況は続くと思われる。 巡回相談員制度は、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の教育環境の確保に向けて有効な制度である。 巡回相談の実施に当たっては、専門的知識のある学識経験者、臨床心理士等の確保が必要となる。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
引き続き、巡回相談員を派遣することで、児童・生徒一人一人に応じた支援を行うとともに、市立学校の特別支援教育を推進する。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	登下校路防犯カメラ更新事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育総務 課	学事 係 内線 422
	根拠法令等	武蔵村山市立小学校の通学路における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱		
	目的	学校、地域等が連携して行う登下校時の通学路における児童の見守り活動を補完するため、防犯カメラを設置し、安全確保の強化を図るものである。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	各地域において、学校、PTA又は地域により取り組まれている子ども見守り活動（登下校時の見守りやパトロール等）の補完を目的として通学路に防犯カメラを設置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	防犯カメラの新規設置台数	台
			実績	2	1	
			達成率	100%	100%	
2	通学路上の不審者情報件数	件	目標	0	0	0
			実績	6	15	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		1,265	12,730	1,613		議会で、防犯カメラを増設してほしいとの要望があった。
財源内訳	一般財源	885	404	213		
	国都支出金	380	12,326	1,400		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,624	1,596	1,529		
	所要人員（人）	0.20	0.20	0.20		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		2,889	14,326	3,142		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●七小 10台更新 ●雷塚小 1台新規設置及び10台更新	防犯カメラの耐用年数は5、6年であり、屋外に設置してあることから故障しやすいため、今後、計画的に更新していくことが重要である。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 通学路における児童の安全確保のため、引き続き、学校や各機関と連携するとともに、通学路合同点検等の情報を考慮し、必要に応じて防犯カメラの増設について検討を行う。 なお、令和4年度は、2台を新規に設置（二小、七小）。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	適応指導教室機能強化事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	教育支援 係 内線 442
	根拠法令等	武蔵村山市適応指導教室機能強化補助事業実施要項		
	目的	適応指導教室の機能強化に向けた方策の確立を図るとともに、適応指導教室に通室していない児童・生徒に対しても、学習・登校支援員による家庭訪問を実施することにより、通室や登校ができるよう、状況に応じた環境を整備する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに
内容	学習支援員、登校支援員による家庭等の訪問を行い、不登校児童・生徒の社会的自立に向け、一人一人の状況に応じた学習指導及び進路等生活相談を実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	家庭等訪問実施回数(延べ)	回	目標	72	144	144
				実績	130	145	
達成率				181%	101%		
2	適応指導教室に通う生徒、自宅に引きこもる児童・生徒の高校等進学率	率	目標	100	100		
			実績	85.7	100		
			達成率	86%	100%		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
事業費(千円)	714	844	2,368	-	
財源内訳					
一般財源	357	422	2,368		
国都支出金	357	422	0		
その他	0	0	0		
人件費					
会計年度任用職員以外の職員(千円)	974	958	918		
所要人員(人)	0.12	0.12	0.12		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)	1,688	1,802	3,286		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
妥当性	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度の家等訪問実施回数は延べ145回である。 年度末に不登校等支援対策連絡協議会において、本事業の評価及び検証を実施した。	近年、本市においても不登校児童・生徒が年々増加傾向にあり、今後も状況は継続すると思われる。 機能強化補助事業の実施に当たっては、教員免許保持者及び子どもの臨床心理に係る経験を有する者の確保が必要となる。


令和4年度の方針			
成果	向上	今後の方針	
		コスト	
		削減	維持
		○	

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

引き続き、家庭に学習・登校支援員を派遣することで、児童・生徒や、保護者の悩みにきめ細かく対応し、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立を目指すことができるよう支援する。

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	英語検定事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係	内線 434
	根拠法令等	—			
	目的	学力の向上を図り、高等学校の受験に役立てること等を目的に英語検定の技能試験を取り入れることにより、生徒が目標をもって努力する態度を身に付けられるようにするとともに、学力の向上及び高校受験対策を図る。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	中学校第3学年生徒の希望者を対象に英語検定を実施する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	英語検定の受検率	%
			実績	39	37.9	
			達成率	65%	63%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		1,067	1,254	2,039		令和3年3月予算特別委員会において、なぜ希望制にしたのか、複数回受検できるようにしないのかという意見があった。
財源内訳	一般財源	1,067	1,254	2,039		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	260	240	230		
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		1,327	1,494	2,269		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
受検者数：266人 合格者数：131人 合格率：49.2% ●級別の受検者数、合格者数及び合格率 (受検者数) (合格者数) (合格率) 2級： 7人 2人 28.6% 準2級： 64人 24人 37.5% 3級： 182人 99人 54.4% 4級： 10人 4人 40.0% 5級： 3人 2人 66.7%	受検率及び合格率を向上させるための対策を図っていく必要がある。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、平成29年度までは中学校第3学年生徒全員を対象としていたが、平成30年度より中学校第3学年生徒のうち希望者のみを対象として実施してきた。本市の合格率は、平成30年度の33.1%から毎年上昇し、令和3年度は49.2%となった。また、準2級、2級の受検者数も増加しており、71人であった。中学校第3学年の英語の学習内容が英語検定3級と同程度であることから、このことは、生徒の意欲の表れであるとともに、長年本市で継続させてきた外国語指導に関する各種事業の成果であると捉えている。生徒が自主的に自分なりの目標を立て、全国的な検定試験に挑戦できる機会であるとともに、より高い目標を目指して努力する生徒を応援する事業として英語検定事業を継続させたいと考える。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持																				
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	補助教員派遣事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	—		
目的	特色ある学校づくりを推進するとともに、児童一人一人に目の行き届いた教育を実現し、地域で学校を支える体制づくりを支援する		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	市内全小学校（9校）に教員免許を有する補助教員を派遣し、教育内容の充実を図るものであり、各校に1名ずつ配置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助教員の配置校数	校
			実績	9	9	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算			市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）				10,687			8,403			8,737				—
財源内訳	一般財源			8,671			8,403			8,737				
	国都支出金			2,016			0			0				
	その他			0			0			0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			105			80			77				
	所要人員（人）			0.01			0.01			0.01				
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0				
	所要人員（人）			0.00			0.00			0.00				
合計（事業費+人件費）				10,792			8,483			8,814				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
配置人数 9人 報酬 8,403,011円 補助教員を配置し学級担任の学習指導の補助を行うことにより、個に応じた指導の充実を図ることができた。また、生活指導面においても、担任と連携し児童の理解を深めるとともに、コロナ禍においては、スクールサポートスタッフ等と連携し、学校の衛生管理にも尽力し、教育活動の推進に貢献した。	補助教員の確保に当たっては、教員免許の保有を条件とし、地域から人材を発掘する必要がある。教育への関心を高め人材確保につなげるため、学校の教育内容を継続的に地域に発信し周知を図っていく。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
引き続き、全小学校に補助教員を配置し、各校の特色ある学校づくりを推進するとともに、児童一人一人に目の行き届いた教育を実現するため、本事業を継続していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域未来塾事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市地域未来塾実施要綱			
目的	経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難である等、学習習慣が十分に身につけていない児童・生徒を対象に、地域住民等の協力を得て、学習支援を実施し、学習習慣の確立や基礎学力の定着等を図る。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	放課後や夏休み等、通常授業でない時間帯に学校の空き教室を利用して、実施している。実施に当たっては、各学校に登録している学習支援員が知識や経験をいかし、学習支援に従事する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	地域未来塾の実施校数	校	目標	14	14	14
				実績	8	11	
				達成率	57%	79%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		2,618	3,644	9,003
財源内訳	一般財源	874	1,216	3,007
	国都支出金	1,744	2,428	5,996
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,435	2,393	2,293
人件費	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30
	会計年度任用職員(千円)	39	41	43
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03
合計(事業費+人件費)		5,092	6,078	11,339


市民・議会等から寄せられた意見	
実施校からは、「生徒の学ぶ意欲が高まった」、「参加児童の学力向上が見られた」等の声がある。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
雷塚小、七小、十小を除く計11校の小中学校で地域未来塾事業を実施した。	未実施校からは、学習支援員を確保するのが難しいとの声があり、放課後子供教室と同様、人材の確保が課題となっている。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
未実施校である雷塚小、七小、十小については、令和4年度に実施するとの意向を示しているが、学習支援員の人材確保に苦慮している状況である。このことから、文化振興課を窓口とした人材の確保、学校間の人材を共有する等の方法により、各学校において学習支援員の確保が図れるよう、事業の実施を推進していく。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	部活動支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	学校教育法施行規則		
目的	【部活動外部支援員】少子化に伴う教員数の減少や専門的な指導を行うことができる運動・部活動等の指導者不足を補い、体育・運動部活動における外部指導者の充実を図る。 【部活動指導員】教員の部活動に係る時間を軽減することを目的とする。	SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに		
内容	【部活動外部支援員】中学校の部活動顧問教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。 【部活動指導員】平日に加え、週休日や長期休業中に配置することが可能となり、対外試合の引率についても可能となる。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	部活動外部支援員及び部活動指導員の配置校数	校	目標	5	5	5
				実績	5	5	
達成率				100%	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		7,093	8,890	11,879
財源内訳	一般財源	5,972	7,322	10,215
	国都支出金	1,121	1,568	1,664
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,299	1,277	1,223
	所要人員(人)	0.16	0.16	0.16
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		8,392	10,167	13,102


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性 <td rowspan="2">市民のニーズに適合しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある</td> <td><input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない</td> <td><input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【部活動外部支援員】 支援員数 41人 謝礼 6,209,450円 【部活動指導員】 配置人数 5人 報酬 2,680,720円	技能面の指導、大会等への引率を任せることができる人材を地域から発掘しなければならない。

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
生徒に対して技術的な向上を図るとともに、教員の部活動指導に係る心理的負担の軽減を図るため、引き続き、本事業を継続していく。																									
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																							
		コスト																							
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																									

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	学校司書配置事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	学校図書館法		
	目的	市立学校における読書活動を推進し、児童・生徒の健全な育成に資するとともに、子供たちの成長のため、よりよい読書環境を整備する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	市内全小・中学校に、学校司書を配置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	児童・生徒一人当たり貸出冊数	冊
			実績	28.89	38.19	
			達成率	72%	95%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		13,085	14,452	14,826		学校、議会等から学校司書の予算について、1日6時間、週4日分を確保するよう要望があった。
財源内訳	一般財源	10,000	3,885	14,826		
	国都支出金	3,085	10,567	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	82	80	77		
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		13,167	14,532	14,903		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
配置人数 14人 報酬 14,452,192円	学校司書が専門知識を十分に発揮して活躍できるよう組織・体制づくりを検討するとともに、各校の学校司書が連携し、自らのスキルアップを図る必要がある。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 学校、議会、市民等からの強い要望もあり、児童・生徒に読書活動を通じて考える力、豊かな感性等の育成を図るため、引き続き充実を図っていく必要がある。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持																				
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消火設備改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	消火栓設備の老朽化した地中埋設管を撤去し、露出配管に改修することにより、火災時の安全性及びメンテナンス性の向上を図る。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	—	
			達成率	100%	—	
2	—	—	目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—	
事業費(千円)	8,679	0	11,539		
財源内訳					
一般財源	5,386	—	89		
国都支出金	3,293	—	5,850		
その他	0	—	5,600		
人件費					
会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,015	0	994		
所要人員(人)	0.13	0.00	0.13		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)	9,694	0	12,533		


視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	市民・議会等から寄せられた意見		
				市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当			
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は設備改修工事の実績なし。	消火栓設備については、校舎建設時から、配管改修が行われていないため、火災時に備えて、速やかな改修が必要である。

令和4年度の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	
令和4年度は、第二小学校消火栓設備配管等改修工事を行う。	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消防設備器具改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した消防設備（自動火災報知設備、避難器具、防火設備、誘導灯等）を改修することにより、火災発生時の安全性を確保する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	事業実施学校数	校	目標	—	10	8
				実績	—	10	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	3,402	9,425			
国都支出金	-	1,702	9,425			
その他	-	1,700	0			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	-	0	0			
人件費						
所要人員（人）	0.00	0.46	0.33			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	0	7,071	11,947			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●第二小学校消防用設備等改修工事 188,430円 ●第三小学校消防用設備等改修工事 748,000円 ●村山学園第四小学校消防用設備等改修工事 78,980円 ●大南学園第七小学校消防用設備等改修工事 148,500円 ●第八小学校消防設備等改修工事 102,300円 ●第九小学校消防設備等改修工事 110,550円 ●第十小学校消防用設備等改修工事 715,000円 ●第十小学校非常放送設備改修工事 78,100円 ●雷塚小学校消防設備等改修工事 569,800円 ●第三中学校消防設備等改修工事 234,300円 ●第五中学校消防設備等改修工事 427,900円 	本事業では、消火設備全体ではなく部分改修を実施しているが、設備の老朽化が進んでいるため、学校によっては、全体の改修が必要である。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和4年度は、以下の改修を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ●第二小学校消防用設備等改修工事 ●第三小学校消防用設備等改修工事 ●村山学園第四小学校消防用設備等改修工事 ●大南学園第七小学校消防用設備等改修工事 ●第九小学校消防用設備等改修工事 ●第三中学校消防用設備等改修工事 ●大南学園第四中学校消防用設備等改修工事 ●第五中学校消防設備等改修工事 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎屋上防水改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	老朽化した校舎屋上の防水改修及びフェンスの改修をすることにより、校舎の健全性を確保する。				


評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算				
事業費（千円）	14,619	29,964	31,420	—			
財源内訳	一般財源	1,519	448			16,188	
	国都支出金	13,100	29,516			15,232	
	その他	0	0			0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,015	997			1,911	
	所要人員（人）	0.13	0.13			0.25	
	会計年度任用職員（千円）	0	0			0	
	所要人員（人）	0.00	0.00			0.00	
合計（事業費+人件費）	15,634	30,961	33,331				

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題																					
第五中学校屋上防水改修工事（第一期工事） 29,964,000円 ※令和3年度の財源内訳は校舎屋上防水改修工事と案分している。	防水層が劣化し、雨漏りが発生すると躯体に悪影響を及ぼす恐れがあるため、予防保全が必要である。																					
令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
令和4年度は、以下の改修を行う。 ●第五中学校屋上防水改修工事（第二期工事） （内容：校舎北側屋上の防水及びフェンスの改修） ●第三小学校校舎屋上防水改修工事 （内容：校舎屋上全体の防水改修）	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎窓枠等建具改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	老朽化した校舎外部の窓や扉を改修することにより、窓の開閉を容易にし、気密性も向上させ、教育環境を改善する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—			
事業費(千円)	4,477	151,019	99,937				
財源内訳	一般財源	77	2,259				
	国都支出金	4,400	148,760				
	その他	0	0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	846	2,991				
	所要人員(人)	0.10	0.38				
	会計年度任用職員(千円)	0	0				
	所要人員(人)	0.00	0.00				
合計(事業費+人件費)	5,323	154,010	103,599				


視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●第五中学校窓枠等建具改修工事(第一期工事) 工事請負費 127,556,000円 工事監理委託費 8,954,000円 ●第五中学校校外壁下地調整等工事(第一期工事) 工事請負費 14,509,000円 <p>※令和3年度の財源内訳は校舎屋上防水改修工事と案分している。</p>	<p>窓サッシ等の撤去工事であり、学校運営に支障が少ない夏期休業期間の工事となることから、工期の調整が必要である。</p> <p>校舎全体に仮設足場を設置し、養生シート張り工事を行うため、工事中は窓の開閉ができない状態となる。また、工事に伴い、資材置場、工事車両の駐車場の仮設が必要となるため、校庭等に使用制限がかかる。</p>

令和4年度の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し
	<input type="checkbox"/> 令和4年度は、以下の校舎について実施設計及び改修を行う。		<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
実施設計	●第三小学校東校舎窓枠等建具改修工事に伴う実施設計委託 (内容：東校舎の窓枠等建具改修の実施設計)		
工事	●第五中学校窓枠等建具改修工事(第二期工事) (内容：校舎北側の窓枠等建具をカバー工法による改修)		
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎内部改修事業（トイレ改修）				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線	454
	根拠法令等	—				
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。				SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	校舎トイレの内装、便器、給排水配管、換気設備及び照明器具等の全面改修をすることにより、トイレ環境の改善を図る。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
事業費（千円）	105,270	61,820	18,606		
財源内訳					
一般財源	21,565	633	9,463		
国都支出金	48,005	39,587	1,543		
その他	35,700	21,600	7,600		
人件費					
会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,435	1,596	2,102		
所要人員（人）	0.30	0.20	0.28		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）	107,705	63,416	20,708		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
第十小学校トイレ改修工事 工事請負費 5,819,000円 工事監理委託費 3,630,000円	工事中はトイレの使用制限がかかる。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和4年度は、以下の実施設計及び改修を行う。 実施設計 ●第二小学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託（内容：特別教室棟のトイレ全面改修の実施設計） ●第三小学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託（内容：新校舎棟のトイレ全面改修の実施設計） ●雷塚小学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託（内容：校舎北東側のトイレ全面改修の実施設計） 工事 ●第九小学校トイレ改修工事（内容：バリアフリートイレの設置及び外部トイレの改修）	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎外装改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	老朽化した校舎の外壁を改修することにより、校舎の健全性を確保する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	—	—	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				0			3,123			52,800			
財源内訳	一般財源			-			187			6,380			
	国都支出金			-			2,936			46,420			
	その他			-			0			0			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0			1,662			3,344			
	所要人員（人）			0.00			0.21			0.44			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
所要人員（人）			0.00			0.00			0.00				
合計（事業費+人件費）				0			4,785			56,144			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施設計 ●第三小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託 1,287,000円 （内容：旧校舎棟の外装改修の実施設計） ●大南学園第七小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計 1,835,680円 （内容：校舎外装全体の外装改修の実施設計委託）	校舎全体に仮設定場を設置し、養生シートを張って施工するため、工事期間中は窓の開閉が不可能となる。また、工事に伴い、資材置場、工事車両の駐車場等の仮設が必要となるため、校庭等に使用制限がかかる。

令和4年度の方針																										
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し																							
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
令和4年度は、以下の実施設計及び改修を行う。 実施設計 ●第二小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託 （内容：普通教室棟の外装改修の実施設計） 工事 ●大南学園第七小学校外装改修工事 （内容：校舎外装全体の外装改修工事）																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
		今後の方針																								
		コスト																								
成果	向上	削減	維持	増加																						
	維持			○																						
	低下																									
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																										

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	小荷物運搬昇降機取替事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	老朽化した給食用の小荷物専用昇降機を改修することにより、給食の配膳に支障が出ないようにする。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算				
事業費（千円）		1,925	2,145	2,365	—			
財源内訳	一般財源	225	245	2,365				
	国都支出金	1,700	1,900	0				
	その他	0	0	0				
会計年度任用職員以外の職員（千円）		1,015	997	956				
人件費	所要人員（人）	0.13	0.13	0.13				
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）		2,940	3,142	3,321				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民のニーズに適合しているか					
		<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか					
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響					
		<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か					
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	効率性	民間委託等は可能か					
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か					
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か					
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
第三中学校小荷物専用昇降機改修工事 2,145,000円	学校運営に支障が出ないように、学校給食を実施しない夏期休業期間に工事を実施する。

令和4年度の方針																													
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																													
令和4年度は、以下の改修を行う。 ●大南学園第七小学校小荷物専用昇降機改修工事 (内容：給食配膳用の小荷物専用昇降機の部分改修)																													
<table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="4">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針				コスト						削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針																													
コスト																													
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○																										
	低下																												
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																													

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	放送設備改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	老朽化した非常用を含めた放送設備一式を改修し、教育環境の改善と災害時の避難誘導等の安全確保を図る。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
事業費（千円）	1,516	19,422	13,090	—	
財源内訳					
一般財源	516	922	2,497		
国都支出金	1,000	18,500	10,593		
その他	0	0	0		
人件費					
会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,015	3,689	1,147		
所要人員（人）	0.13	0.46	0.15		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）	2,531	23,111	14,237		

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	市民・議会等から寄せられた意見		
				市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当		
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施設計 ●村山学園第四小学校放送設備改修工事に伴う実施設計委託 1,135,970円 ●村山学園第二中学校放送設備改修工事に伴う実施設計委託 1,174,030円 ●第三中学校放送設備改修工事に伴う実施設計委託工事 1,920,600円 ●第二小学校放送設備改修工事 工事請負費 13,453,000円 工事監理委託費 1,738,000円	設備が十数年経過すると、故障時に部材が生産終了していることが多く、修繕が困難であるため、計画的な改修が必要となる。

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																										
令和4年度は、以下の改修を行う。																														
●第八小学校放送設備改修工事 (内容：放送室の放送卓の更新等放送設備の改修)																														
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下				(廃止・休止・終了の場合は記入不要)				
		今後の方針																												
		コスト																												
成果	向上																													
	維持		○																											
	低下																													
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																														

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場床面改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	屋内運動場の老朽化した床の撤去、新設又は塗装改修を行い、ささくれ等による怪我の防止や屋内運動場の健全性を確保する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	事業完了学校数	校	目標	1	1	1
				実績	1	1	
達成率				100%	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		25,630	25,300	2,579	
財源内訳	一般財源	1,630	0	2,579	
	国都支出金	24,000	25,300	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,015	997	637	
	所要人員（人）	0.13	0.13	0.08	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		26,645	26,297	3,216	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
第九小学校屋内運動場床改修工事 25,300,000円 (内容：床下地、仕上材及び塗装の改修)	床の改修により、屋内運動場の使用制限がかかるため、学校運営に支障のないよう、夏期休業期間に工事を実施する。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和4年度は、以下の改修を行う。			
●第三小学校屋内運動場床塗装改修工事 (内容：アリーナ及びステージ床の塗装改修)			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場屋根及び外装改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	老朽化した屋内運動場の屋根、外壁及び窓枠を改修することにより、屋内運動場の健全性を確保及び教育環境の改善する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	—	—	1
								実績	—	—
達成率	—	—								
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		3,190	1,872	53,533	
財源内訳	一般財源	3,190	1	53,533	
	国都支出金	0	1,871	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,691	831	2,389	
	所要人員（人）	0.21	0.10	0.31	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		4,881	2,703	55,922	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
大南学園第七小学校屋内運動場外装等改修工事に伴う実施設計委託 1,871,320円	窓枠等建具改修により、屋内運動場の使用制限がかかるため、学校運営に支障のないよう、夏期休業期間に工事を実施する。

令和4年度の方針																									
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
令和4年度は、以下の実施設計及び改修を行う。																									
実施設計		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		今後の方針			成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																									
成果	コスト																								
	削減	維持	増加																						
向上																									
維持		○																							
低下																									
●第八小学校屋内運動場屋根及び外装改修工事に伴う実施設計委託 (内容：屋内運動場の屋根、外装及び窓枠等建具改修の実施設計)																									
●第三小学校屋内運動場屋根及び外装改修工事 (内容：屋内運動場の屋根、外装及び窓枠等建具改修)																									

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	大南学園第七小学校屋内運動場鉄骨梁塗装改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	大南学園第七小学校屋内運動場の屋根鉄骨梁を塗装改修することにより、屋内運動場の健全性を確保する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				0			5,500			0			
財源内訳	一般財源			-			0			-			
	国都支出金			-			5,500			-			
	その他			-			0			-			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0			997			0			
	所要人員（人）			0.00			0.13			0.00			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
	所要人員（人）			0.00			0.00			0.00			
合計（事業費+人件費）				0			6,497			0			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
		<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当		
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
大南学園第七小学校屋内運動場鉄骨梁塗装改修工事 5,500,000円	アリーナ全体に仮設足場を設置して、屋根の鉄骨梁の塗装改修を実施するため、屋内運動場の使用制限がかかる。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和3年度に改修工事して事業を完了した。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持			
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎及び屋内運動場窓枠等建具改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	校舎及び屋内運動場の老朽化した窓枠等建具を改修することにより、気密性の向上を図り、教育環境を改善する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	—	
			達成率	100%	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算				
事業費(千円)	105,221	90,431	0	—			
財源内訳	一般財源	1,785	1,498			—	
	国都支出金	103,436	88,933			—	
	その他	0	0			—	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,029	1,994			0	
	所要人員(人)	0.25	0.25			0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0			0	
	所要人員(人)	0.00	0.00			0.00	
合計(事業費+人件費)	107,250	92,425	0				

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
大南学園第四中学校校舎窓枠等建具改修工事(第三期工事) 工事請負費 86,680,000円 工事監理委託費 3,751,000円	—

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和3年度に改修工事を実施して事業を完了した。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持																				
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	自家用電気工作物更新事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 454
	根拠法令等	—		
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した自家用電気工作物の本体及び付帯設備の改修を行うことにより、電気における事故を未然に防止する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	—	—	1
							実績	—	—	
達成率	—	—								
2	—	—	目標	—	—	—				
			実績	—	—					
			達成率	—	—					


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		2,365	0	15,461	
財源内訳	一般財源	365	-	15,461	
	国都支出金	2,000	-	0	
	その他	0	-	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,691	0	956	
	所要人員（人）	0.21	0.00	0.13	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		4,056	0	16,417	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は自家用電気工作物更新工事の実績なし。	停電期間が数日に及ぶため、支障のないよう学校が完全休校している日程での工事となる。また、学童クラブ等の同敷地内の建物も停電となるため、他課との調整が必要となる。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和4年度は、以下の更新工事を行う。 ●第一小学校自家用電気工作物更新工事 （内容：自家用電気設備（キュービクル）の更新）	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎窓枠転落防止手摺設置事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	小・中学校の窓の一部について、落下防止の手摺を取り付けることにより、安全性向上を図る。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	2	2	—
								実績	2	2
								達成率	100%	100%
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見								
		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算								
事業費 (千円)	一般財源	856	1,617	0	—							
	財源内訳											
	国都支出金	0	1,100	—								
	その他	0	0	—								
人件費	会計年度任用職員以外の職員 (千円)	677	997	0								
	所要人員 (人)	0.08	0.13	0.00								
	会計年度任用職員 (千円)	0	0	0								
	所要人員 (人)	0.00	0.00	0.00								
合計 (事業費+人件費)		1,533	2,614	0								


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
●三小学校校舎窓枠転落防止手摺設置工事 1,317,800円 ●大南学園第七小学校校舎窓枠転落防止手摺設置工事 298,650円	—

令和4年度の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和3年度に設置工事を実施して事業を完了した。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持				
低下				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	児童・生徒等安全対策事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育政策 係 内線 423
	根拠法令等	東京都帰宅困難者対策条例、東京都地域防災計画、東京都教育委員会学校危機管理マニュアル、武蔵村山市地域防災計画		
	目的	大規模災害発生時に備え、あらかじめ食料及び飲料水の備蓄を行うことにより、児童・生徒等の各小・中学校内における身の安全・安心の確保に寄与する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	大規模災害発生時、被災の想定される児童・生徒等に対して食料及び飲料水を支給するため災害対策用物資として備蓄を行う。また、使用せずに消費期限の到来する災害対策用備蓄物資については防災啓発等の観点から各学校において効果的に活用し、又はフードバンクへの寄付を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	災害対策用食料（アルファ米）備蓄数	箱 (50食入り)	目標	457	463	538
				実績	457	463	
達成率				100%	100%		
2	災害対策用飲料水（5年保存水）備蓄数	箱 (206本入り)	目標	2,262	1,617	1,593	
			実績	2,262	1,617		
			達成率	100%	100%		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		2,864	3,112	3,439	
財源内訳	一般財源	2,864	3,112	3,439	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	487	479	459	
	所要人員（人）	0.06	0.06	0.06	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		3,351	3,591	3,898	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当			
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当		
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当			
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当			
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
平成27年度から平成30年度にかけて購入した災害対策用備蓄物資について、令和2年度から順次消費期限を迎えることから同物資の買い替えを行っている。 令和3年度においては、アルファ米152箱（1箱50食入り）及び飲料水409箱（1箱206本入り）を購入するとともに、平成28年度に購入し未使用のまま消費期限が到来したアルファ米67箱をフードバンクへ提供した。	防災啓発等の観点から、未使用のまま消費期限が到来した災害対策用備蓄物資の活用方法について検討を要する。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、大規模災害発生時に被災が想定される児童・生徒等に対して学校施設内における安全確保や迅速かつ円滑な救援ができるよう、今後も継続する必要がある。 また、順次消費期限が到来する災害対策用備蓄物資の更新を効率的に行うことにより、各小・中学校に在籍する児童・生徒等が必要とする食糧数を常に備蓄しており、費用に見合う効果が得られていると考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	小・中学校指導書等購入事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	—		
目的	4年に一度の教科書採択に当たり、使用教科書が変更となることに伴い、教員の指導力の向上及び学習活動の充実を図るため、各学校で指導書等を購入するものである。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	各学校の指導書等購入費を予算計上するものである。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	—	—	目標	—	—	—
							実績	—	—	—
達成率	—	—	—							
2	—	—	目標	—	—	—				
			実績	—	—	—				
			達成率	—	—	—				


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		15,301	7,915	0	
財源内訳	一般財源	15,301	7,915	—	
	国都支出金	0	0	—	
	その他	0	0	—	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	244	240	0	
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		15,545	8,155	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
中学校指導書購入費 7,914,980円	指導書の購入に当たっては、必要最小限で購入図書を決定的よう、学校へ指導する必要がある。

令和4年度の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
現在の学校教育の現場は、若手職員の割合が高く、教材研究を進めていく上で、指導書は必要であることから、引き続き予算計上を行っていく。																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上			維持	○		低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上																			
維持	○																		
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																			

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称)生涯学習センター整備事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市第五次長期総合計画、武蔵村山市公共施設等総合管理計画			
目的	生涯学習の推進、市民の利便性向上のため、中央図書館及び中央公民館の機能を併せ持つ複合施設として、(仮称)生涯学習センターを整備する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	(仮称)生涯学習センターの設置場所及び機能について検討する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	(仮称)生涯学習センター整備に関する検討	—
			実績	検討	検討	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	-	
	国都支出金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	244	240	230	
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		244	240	230	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
公共施設等整備・再編推進作業部会において、(仮称)生涯学習センターの整備に係る検討課題の洗い出しを行った。	整備場所、施設機能、施設規模を検討するとともに、一方でコスト面を踏まえ、廃止する施設等も検討していく必要がある。

令和4年度の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
公民館、図書館、市民会館などこれらの生涯学習施設の機能分担等の在り方に配慮し、中央図書館及び中央公民館の機能を併せ持つ(仮称)生涯学習センターの設置に向けて、引き続き、整備公共施設等整備・再編推進作業部会において、検討を進める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市民会館施設改修事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習				
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線	652
	根拠法令等	武蔵村山市民会館設置条例				
目的	市民会館における利用者の安全確保と利便性向上のため、適切な施設管理を行う。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	市民会館における老朽化した設備等の改修工事を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	工事の実施	—
				実績	—	実施
				達成率	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—
				達成率	—	—

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		1,100	7,150	0	
財源内訳	一般財源	200	750	-	
	国都支出金	900	6,400	-	
	その他	0	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,137	1,117	1,070	
	所要人員(人)	0.14	0.14	0.14	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		2,237	8,267	1,070	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和2年度に大小ホールのワイヤレスマイクの更新に伴う実施設計を行い、令和3年度に当該ワイヤレスマイク改修工事を実施した。	工事に伴い、休館が長期にわたった場合、利用料の減収に伴う対応について、市民会館指定管理者との調整が必要な場合がある。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了		
大ホール舞台照明改修工事に伴う実施設計委託を令和5年度に実施し、大ホール舞台照明改修工事を令和6年度に実施予定としている。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減 維持 増加		
向上	○		
維持			
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	大南地区学習等供用施設空調設備等改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市立学習等供用施設設置条例			
目的	大南地区学習等供用施設における利用者の安全確保と利便性向上のため、適切な施設管理を行う。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	大南地区学習等供用施設における老朽化した空調設備等、エレベーターの改修工事を行う。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	工事の実施	-	目標	-	-	実施
				実績	-	-	
				達成率	-	-	
2	-	-	目標	-	-	-	
			実績	-	-		
			達成率	-	-		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	4,104	188,650	
財源内訳	一般財源	-	0	384	
	国都支出金	-	4,104	188,266	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	1,037	2,293	
	所要人員(人)	0.00	0.13	0.30	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		0	5,141	190,943	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
大南地区学習等供用施設における空調設備を撤去及び新設する機械設備、電気設備、建築工事の実施設設計委託を行った。	空調設備等改修工事については、令和4年度中に完了予定であるが、工事期間中は臨時休館とする。 エレベーター改修工事については、令和6年度以降を予定している。なお、令和5年度は民間事業者において、受注過多のため、実施はできないとのことである。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
空調設備改修工事については令和4年度中に完了予定であり、エレベーター改修工事については令和6年度以降を予定している。 なお、令和4年度空調設備改修工事と併せて、照明器具のLED化を行うこととしている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	中藤地区学習等供用施設外壁塗装及び屋上防水改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市立学習等供用施設設置条例			
目的	中藤地区学習等供用施設における利用者の安全確保と利便性向上のため、適切な施設管理を行う。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	中藤地区学習等供用施設における外壁塗装及び屋上防水改修工事を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	工事の実施	—
				実績	—	—
				達成率	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—
				達成率	—	—


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
事業費（千円）		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—			
財源内訳	一般財源	2,408	19,309	0				
	国都支出金	0	17,300	—				
	その他	0	0	—				
会計年度任用職員以外の職員（千円）		2,435	2,393	0				
人件費	所要人員（人）	0.30	0.30	0.00				
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）		4,843	21,702	0				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
中藤地区学習等供用施設の外壁塗装及び屋上防水改修工事を行った。	—

令和4年度の方針																												
【今後の方向性】		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和3年度に外壁塗装及び屋上防水工事を実施して事業を終了した。																												
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持					低下				
		今後の方針																										
		コスト																										
成果	向上	削減	維持	増加																								
	維持																											
	低下																											
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																												

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション			
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係	内線 373
	根拠法令等	—			
目的	一生に一度の体験となる東京2020オリンピック競技大会が日本で開催されるとともに、大会を盛り上げるオリンピック聖火リレーが、本市を通過することから、その事実を市民の心に刻み、後世に引き継ぐ。			SDGsの取組 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
内容	本市においては、第一小学校をスタート地点とし、ひまわりガーデン武蔵村山をゴール地点として聖火リレーを実施する。ゴール地点のひまわりガーデン武蔵村山では、ミニセレブレーションを実施する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	聖火リレーの実施	—
				実績	延期	実施
				達成率	—	—
2	聖火リレーボランティア人数	人	目標	—	340	—
			実績	—	326	—
			達成率	—	96%	—

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	3,145	0	
財源内訳	一般財源	-	1,574	-	
	国都支出金	-	1,571	-	
	その他	-	0	-	
会計年度任用職員以外の職員(千円)		0	1,081	0	
人件費	所要人員(人)	0.00	0.14	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		0	4,226	0	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効果性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、令和2年度に実施予定であった東京2020オリンピック競技大会の延期により、7月12日に聖火リレーが本市で行われる予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、公道走行を見合わせ、ミニセレブレーションも中止することとなった。代替として、立川市において点火セレモニーが実施され、本市走行予定の聖火ランナーによるトーチキスが行われた。また、東京2020オリンピック聖火リレートーチ等の展示を市役所等公共施設で行った。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しての実施判断となったことから、開催直前での実施内容の変更となった。

令和4年度の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 東京2020オリンピック競技大会の終了に伴い、事業を終了した。			
成果	今後の方針 コスト 削減 維持 増加			
	向上			
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	総合型地域スポーツクラブ支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市総合型地域スポーツクラブ設立・運営補助金交付要綱		
	目的	地域の総合型地域スポーツクラブの設立及びクラブ設立後のクラブ運営に係る活動に対し運営補助金を交付することにより、クラブ設立の促進及びその運営の安定を図り、市におけるスポーツの振興及び地域社会の活性化に寄与する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	交付対象となる団体が行う活動に対し、設立・運営補助金を交付する。			
対象(交付先)	武蔵村山市総合型地域スポーツクラブ「よってかっしゅクラブ」ほか設立を予定する団体			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	総合型地域スポーツクラブ数	団体
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	クラブ会員数	人	目標	360	360	360
			実績	143	122	
			達成率	40%	34%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額(千円)	600	570	600		-
一般財源	600	570	600		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	812	798	765		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)	812	798	765		
所要人員(人)	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	1,412	1,368	1,365		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額(千円)	2,622	2,311	2,756		交付金額(千円)	570
市補助金	600	570	600		使途内訳	
会費	270	188	240		会場費	97
繰越金	37	37	21		教室運営費	87
事業収入	1,524	1,298	1,794		備品購入費	386
その他	191	218	101			
総額(千円)	2,622	2,311	2,756			
支出					割合(%)	
交際費、飲食費	5	0	5		団体収入に占める補助金の割合	25%
人件費	1122	932	1532		団体収入に占める繰越金の割合	2%
事業経費	1395	1358	1119		交付金額に対する繰越金の割合	6%
その他	100	21	100			


視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
総合型地域スポーツクラブ数 1団体 クラブ会員数 122人	新型コロナウイルス感染症の影響等により、近年は会員数が減少している状況である。クラブの安定的な運営のために、クラブの存在をアピールする広告宣伝に注力する必要があることから、市の継続的な財政支援が必要となる。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ、文化、社会的な活動により、地域コミュニティの場として一定の役割を担っており、今後その役割は大きくなっていくものと考えられる。 市内では、平成25年2月に設立された「よってかっしゅクラブ」が活動を行っている。当該クラブが各種イベントや人材育成、会員の確保等を継続的に実施していくためには、今後も継続的に本補助金の交付を行っていく必要があると考える。ただし、クラブは早期に自立する必要もあり、自立を促すべく助言を併せて行っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	スポーツ少年団支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市スポーツ少年団運営支援補助金交付要綱		
	目的	スポーツ少年団の運営の安定を図り、市におけるスポーツ振興及び青少年の心身の健全な育成に寄与する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	スポーツ少年団の安定的な運営のため、団体が行う活動に要する経費の一部を補助する。			
対象(交付先)	武蔵村山市スポーツ少年団			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	武蔵村山市スポーツ少年団単位団数	団体
			実績	2	2	
			達成率	33%	33%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額(千円)	185	183	650		-
一般財源	185	183	650		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	812	798	765		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)	812	798	765		
所要人員(人)	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		-
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	997	981	1,415		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額(千円)	220	221	669		交付金額(千円)	183
市補助金	185	183	650		需用費	37
会費	0	0	0		負担金及び交付金	146
繰越金	0	0	0			
事業収入	0	0	0			
その他	35	38	19			
支出	220	221	669		割合(%)	
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合	83%
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合	0%
事業経費	220	202	669		交付金額に対する繰越金の割合	0%
その他	0	19	0			


視点別の分析	公的関与は必要か			
	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
効果率	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当	
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
スポーツ少年団単位団数 2団体(ミニバスケットボール、合気道)	市内には青少年を対象として活動するスポーツ団体は多数存在するが、その多くがスポーツ少年団に加入して活動する意思はなく、市民のニーズを捉えた補助金であるとは言い難い。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
市内には青少年を対象として活動するスポーツ団体は多数存在するが、その多くがスポーツ少年団に加入して活動する意思はなく、市民のニーズを捉えた補助金であるとは言い難い。 また、既存のスポーツ少年団本部、各単位団とも、スポーツ少年団に係る事務を処理する体制が整っておらず、主体的な運営がなされていないことから、市がその運営に介入しサポートせざるを得ない状況が続いているため、所管部署の負担が年々増加している状況である。 上記の理由により、スポーツ少年団運営支援事業については、存廃を含め見直しを検討する必要がある。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	○		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下	○																				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	都市農地保全支援プロジェクト事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	東京都都市農地保全支援プロジェクト実施要綱、東京都都市農地保全支援プロジェクト補助金交付要綱、武蔵村山市都市農地保全支援プロジェクト事業補助要綱		
	目的	農地が持つ環境保全などの多面的機能をより発揮させるとともに、地域住民に配慮した整備基盤により、貴重な都市農地の保全を図る。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに 
内容	農地の多面的機能をより発揮させるために地域及び環境に配慮した基盤整備に要する経費の8分の7を補助するもの。補助対象は、土留、フェンス、農薬飛散防止施設、簡易直売所等の整備に係る経費。			
対象(交付先)	農業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助金交付者数 (平成30年度から令和9年度までの累計)	人
			実績	15	17	
			達成率	100%	113%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額(千円)	7,557	4,848	7,511		-
一般財源	1,080	692	1,073		
国都支出金	6,477	4,156	6,438		
その他	0	0	0		
人件費	1,624	1,596	1,529		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,624	1,596	1,529		
所要人員(人)	0.20	0.20	0.20		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		-
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	9,181	6,444	9,040		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額(千円)	0	0	0		交付金額(千円)	4,848
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	0	0	0		割合(%)	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-			


視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
交付件数	2件 (対象事業：土留め、フェンスの整備 2件)	-	

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本補助金は、都市化が進行する市内の農地について、都市農地保全の取組として実施するものであり、周辺の環境等の調和を図りながら、農業者の生産活動を継続していくために現状維持とする。 また、食の安全性に対する関心などから生産者の顔が見える農産物の需要が高く、住まいの地域の農業者が生産する新鮮な農産物を求める市民のニーズとも合致することから、引き続き事業を実施していく。 なお、都の補助については、令和6年度に見直し等が行われることが想定されるが、当面の間は都の補助を受けながら、都市農地の保全に努めていきたい。		今後の方針 コスト 削減 維持 増加	
		成果	向上
		○	

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市街化調整区域内道路整備事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業				
	所管部署	都市整備部	部	道路下水道課	維持補修係	内線 263
	根拠法令等	—				
目的	市南西部（中原及び残堀地区の一部）の市街化調整区域内農地（通称「多摩開墾」）内の市道（砂利道）を営農者からの要望に基づく農業委員会からの依頼により整備路線を決定し、都度補修するものであり、それにより営農者の利便性及び生産性の向上、農業振興等を図るもの。				SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	多摩開墾内の市道は、耕作への配慮の観点からアスファルト舗装ではなく砂利敷のため、営農者が使用する車両の通行による損傷箇所が発生する。これを年に一度補修工事を実施している。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	砂利舗装改修工事	件
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		1,760	1,705	2,000	
財源内訳	一般財源	260	205	200	
	国都支出金	1,500	1,500	1,800	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,218	1,197	1,147	
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		2,978	2,902	3,147	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか		
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響		
		<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か		
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か		
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【施工場所】 中原四丁目18番地先ほか7か所 【工事内容】 再生クラッシュランRC-40を使用しての20cm厚転圧舗装 【工事延長】 8か所合計で216.0m 【工事代金】 1,705,000円（消費税込み）	多摩開墾内道路は市道と位置付けられ、道路管理者による維持管理義務が生じている。しかし、道路の利用者が区域内の営農者に限られることから、地区内道路の認定を廃止し、農道として再認定するなど、予算管理を含め市内における農業施策の所管である農業委員会への移管等を検討する余地がある。 また、令和3年度に調査した結果、あきる野市で広域農地内の道路を農道として維持管理していることを把握した（旧五日市町内の山林内道路）。 さらに、長野県栄村では、市が材料を支給し、営農者が道路を適宜補修していることから、補修方法の見直しが可能と考える。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 当該地区内道路の利用者は営農者に限られるものの、現状は市道として認定しているため、引き続き農業委員会からの依頼に基づき、砂利道の補修を実施する。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		○																		
低下																				

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	体験型市民農園事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係	内線 226
	根拠法令等	武蔵村山市第三次農業振興計画			
目的	市民の農業体験の機会を確保するとともに、農業に対する理解の促進を図り、もって良好な農地の保全を推進することを目的とする。			SDGsの取組 2 飢餓をゼロに	
内容	体験型市民農園の開設に当たり必要となる耕地の区画割りや通路の整備、運営当初に必要な施設（倉庫等）の整備費用の一部について、整備の主体となる農地所有者に補助するもの。				
対象（交付先）	農地所有者				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	体験型市民農園の設置数	件
			実績	2	2	
			達成率	67%	67%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	0	0	0		
一般財源	-	-	-		
国都支出金	-	-	-		
その他	-	-	-		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	244	240	230		
所要人員（人）	0.03	0.03	0.03		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	244	240	230		
他市等の状況					
-					

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0		
市補助金	-	-	-		
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
総額（千円）	0	0	0		
支出					
交際費、飲食費	-	-	-		
人件費	-	-	-		
事業経費	-	-	-		
その他	-	-	-		
使途内訳					
-					
割合（%）					
団体収入に占める補助金の割合				—	
団体収入に占める繰越金の割合				—	
交付金額に対する繰越金の割合				—	


視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
実施計画では採択されたが、所有者との交渉を進める中で協議が整わなかったことから、予算計上を見合わせた。	開設する農地により整備に係る費用が異なるため、予算額については、開設予定地が決定してから整備費を積算する必要が生じる。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
体験型市民農園は、都市部における農業と住民の交流を深める取組として、市民が農業に関わる契機となり、農に対するふれあいや農地保全を図るため設置しており、本補助金は、その開設に係る費用を補助するものであることから、今後も継続していく。 また、武蔵村山市第五次長期総合計画及び武蔵村山市第三次農業振興計画では、体験型市民農園の設置数を成果指標としており、引き続き「ふれあう農業の推進」を図るため、体験型市民農園の開設に向けた農地所有者への交渉を行い、3か所目の開設を目指していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	新型コロナウイルス感染症予防対策補助事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線 225
	根拠法令等	令和3年度新型コロナウイルス感染症予防対策補助金交付要綱			
目的	新型コロナウイルス感染症予防対策を行う市内の事業者に対して補助金を交付することにより、事業継続の支援を図る。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	新型コロナウイルス感染症の予防に係る工事費、消耗品費及び備品購入費について、1事業者当たり最大10万円を補助する。				
対象(交付先)	都が定める感染防止徹底宣言ステッカーを掲示している市内の事業者				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助金交付件数 ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
			実績	0	258	
			達成率	—	65%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
補助金	交付金額(千円)	0			21,459			0				
	一般財源	-			537			-				
	国都支出金	-			20,922			-				
	その他	-			0			-				
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0			2,553			0				
	所要人員(人)	0.00			0.32			0.00				
	会計年度任用職員(千円)	0			672			0				
	所要人員(人)	0.00			0.50			0.00				
合計(補助金+人件費)		0			24,684			0				

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

他市等の状況	
公益財団法人東京都中小企業振興公社において同様の補助金を実施していたが、令和3年度で終了している。	

交付団体等の決算予算の状況				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
収入	総額(千円)	0			0	
	市補助金	-			-	
	会費	-			-	
	繰越金	-			-	
	事業収入 その他	-			-	
支出	総額(千円)	0			0	
	交際費、飲食費	-			-	
	人件費	-			-	
	事業経費	-			-	
	その他	-			-	

交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
交付金額(千円)	21,459
使途内訳	
割合(%)	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	その他
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
交付件数：258件(法人147件、個人事業主111件) 交付金額：21,392,869円 市報、ホームページ、ツイッター、市政情報メールで告知するほか、商工会等を通じて市内事業者へチラシを配布するなどし、広報活動を行った。	交付件数が目標値に達しなかったことから、事業者向けの情報発信手段を検討する必要がある。

令和4年度の方針


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

令和3年度の単年度事業のため、令和4年度以降、当該補助事業の実施予定はない。

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山地域ブランド創造活動事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山地域ブランド認証事業実施要綱、武蔵村山地域ブランド開発事業補助金交付要綱、武蔵村山地域ブランド普及促進事業補助金交付要綱		
	目的	市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、本市の活性化と魅力の向上を図る。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内産品を活用した商品等を武蔵村山地域ブランドとして認証し、市内外へ発信するとともに、認証商品の開発や普及促進に要した費用の一部を補助する。			
対象（交付先）	地域ブランド認証事業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	地域ブランド認証商品数	品目
			実績	10	10	
			達成率	67%	67%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
補助金	交付金額（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	-			
	一般財源	199	200	900				
	国都支出金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	163	160	153	他市等の状況 ●立川市：輝く個店事業 商工会議所と連携し、地域のお店の中から「輝く個店」を選出し、専用ホームページ等で紹介している。			
	所要人員（人）	0.02	0.02	0.02				
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（補助金+人件費）		362	360	1,053				

交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途			
収入	総額（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	使途内訳	交付金額（千円）	200
	市補助金	-	-	-			
	会費	-	-	-			
	繰越金	-	-	-			
	事業収入	-	-	-			
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）	団体収入に占める補助金の割合	-
	交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
	人件費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
	事業経費	-	-	-			
	その他	-	-	-			


視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か								
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当		
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当		
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定していない	<input type="checkbox"/>	設定していない	<input type="checkbox"/>	非該当						
							<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
交付件数：1件 交付金額：200,000円	本補助金を活用し、地域ブランド認証店1店舗が、市PRキャラクター「むむちゃん」のイラストが入ったチラシや商品の包み紙を作成した。	認証商品の増加に向けたPR方法の検討が必要である。	

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
市内産業の活性化のためには、市内の魅力ある商品等を地域ブランドとして認証し、広く市内外に情報発信する取組が重要である。 本事業は、市内事業者に対して、新たな認証商品等の開発及びその広告宣伝の促進のため活用してもらうものであり、今後も継続していく必要がある。 しかし、近年では活用実績が伸び悩んでおり、本事業についての効果的な周知方法の検討が課題となっている。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上		○	
維持			
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	創業支援事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線	225
	根拠法令等	創業支援等事業計画、産業競争力強化法				
	目的	創業希望者等の支援を行うことにより、市内での新たな産業の育成と雇用を生み出すとともに、地域経済の活性化を図る。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	創業を志す者のために、創業塾、創業セミナー、創業者交流会、創業個別相談を実施する。 事業実施は金融機関に委託する。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	創業支援制度を利用した創業者数	人	目標	21	21	21
				実績	3	5	
達成率				14%	24%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		1,179	1,460	1,288
財源内訳	一般財源	1,149	1,435	1,238
	国都支出金	0	0	0
	その他	30	25	50
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	487	479	459
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		1,666	1,939	1,747


市民・議会等から寄せられた意見	
創業塾、創業セミナー参加者アンケートでは次のような意見があった。 ●大変分かりやすく勉強になった。 ●実践的な内容もありとても面白かった。 ●少人数で参加型だったのでしっかり受け止められた。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●創業塾 5回開催、参加者数5人(定員8人) ●創業セミナー 4回開催、参加者数延べ13人(定員各回8人) ●創業者交流会 1回開催、参加者数5人(定員15人) ●個別相談 開催日数12日、相談者数延べ15人	市内の創業希望者や創業に興味のある方の更なる発掘が課題である。

令和4年度の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
国の5定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、これから創業する方や創業して5年未満の方を対象として各種支援を実施しており、地域の雇用機会の確保や地域経済の活性化を図るため、今後も継続して実施していく。 令和4年度からは、これまでの実績を踏まえて以下のとおり事業内容を変更し実施する。 ①セミナー開催回数を4回から1回に減少 ②創業者交流会の中止 ③市内創業者を対象とした補助金の創設																							
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th></th> <th colspan="2">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上	○			維持				低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
	削減	維持	増加																				
向上	○																						
維持																							
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																							

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	安心安全・エコ住宅等改修助成事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山市安心安全・エコ住宅等改修助成事業補助金交付要綱		
	目的	市民の住環境における防災対策を推進し、及び環境負荷を軽減して安心安全なまちづくりを推進するとともに、地域経済の活性化に資することを目的とする。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	①木造住宅に対する耐震診断・耐震改修等助成事業、②新エネルギー利用機器等設置費補助事業、③エコ住宅化助成事業、④バリアフリー住宅化助成事業 ※②～④については市内事業者が施工した工事が対象			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助金交付件数 ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
			実績	122	130	
			達成率	95%	265%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	7,687	12,363	7,000		市民からは、「市外の事業者が施工した工事も対象にしてほしい」といった意見が寄せられている。
一般財源	7,687	12,363	7,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市においては、市外の事業者が施工した工事を対象としている場合が多く、事業者支援施策ではなく、環境施策として実施している。
所要人員（人）	3,734	878	841		
所要人員（人）	0.46	0.11	0.11		
所要人員（人）	0	604	645		
合計（補助金+人件費）	11,421	13,845	8,486		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	12,363
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		


視点別の分析	公		益		性	
	必要である	見直しの余地がある	非該当	見直しの余地がある	非該当	非該当
市の関与は必要か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
エコ住宅化助成事業については、コロナ禍における巣ごもり需要や、昨今の環境問題への関心の高まり等により、例年になく申請件数となったため、6月、9月、12月の3回にわたり予算を補正し対応した。	元々は別々だった補助金を統合する際、事業者支援という目的を鑑み、当課所管となったが、「市内事業者が行った工事」という条件によって、市民にとっては利用しにくい制度となっている。 また、業種が建設業等に限られることや、工事実績は特定の事業者が行ったものに偏っていることから、公平性に欠けている。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和4年度当初予算が令和3年度実績と比べて6割程度となったことから、以下のとおり見直しを行った。			
●②新エネルギー利用機器等設置費補助事業は家庭用蓄電池のみとし、③エコ住宅化助成事業及び④バリアフリー住宅化助成事業の補助上限額を10万円から5万円に引き下げた。			
●当初予算額を補助金の上限額とする（予算の補正対応は行わない）。			
また、今後、より効果的に事業を展開していくためには、各事業の本来の目的に則した所管課への移管等を検討する必要がある。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持	○		
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	商店街振興事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	①武蔵村山市商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金交付要綱 ②商工業振興奨励補助金交付要綱		
	目的	中小商業の振興を図り、もって地域経済の活性化に寄与する。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	①商店会等が実施するイベント事業に対し補助金を交付する。 ②商工会が行う商業振興事業（まいど～宅配事業）に対し補助金を交付する。			
対象（交付先）	①市内商店会等 ②武蔵村山市商工会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助金交付件数（イベント数） ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
			実績	4	5	
			達成率	50%	63%	
2	まいど～宅配事業利用者数	人	目標	2,200	2,200	
			実績	2,001	1,951	
			達成率	91%	89%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	5,267	6,210	8,070		他市等の状況 ①：他市でも同様の取組を行っている。 ②：他市では同様の取組は見られない。
一般財源	3,498	3,971	4,695		
国都支出金	1,769	2,239	3,375		
その他	0	0	0		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	812	798	765		
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	6,079	7,008	8,835		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	6,210
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（％）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当	
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

所管課の評価	令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	【補助実績】 ①商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 ●村山中央ショッピングセンター商店会（2イベント、1,705千円） ●村山団地中央商店会（2イベント、1,544千円） ●武蔵村山市商工会（1イベント、961千円） ②商工業振興奨励補助金 ●武蔵村山市商工会（2,000千円）	地元商店街の活性化のため、各事業について市民への周知を進めることにより、イベントへの来場者又はまいど～宅配事業利用者の増加につなげる。

令和4年度の方針													
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了												
地域経済の振興や地域コミュニティの活性化を図るため、引き続き市内商店会等への補助を行うとともに、都補助金を活用した新たな事業実施要望の有無について、連絡会等を通じて意見を求めていく。	今後の方針 コスト 削減 維持 増加												
成果	<table border="1"> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	向上				維持		○		低下			
向上													
維持		○											
低下													

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	企業誘致促進事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山市企業誘致条例		
	目的	市への企業の立地を促進するために必要な措置を講ずることにより、地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大を図り、もって地域経済の活性化及び市民生活の向上に資することを目的とする。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内工業地域に工場等を新設又は増設した企業を指定企業として認定し、奨励金を交付する。			
対象(交付先)	指定企業			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	企業誘致による新規就業者数	人	目標	10	10
			実績	4	0	
			達成率	40%	0%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額(千円)	1,790	1,790	0		—
一般財源	1,790	1,790	—		
国都支出金	0	0	—		
その他	0	0	—		
人件費	163	160	153		他市等の状況 30市町村中12市町村(本市含む)が企業誘致に関する事業を実施している。
会計年度任用職員以外の職員(千円)	163	160	153		
所要人員(人)	0.02	0.02	0.02		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	1,953	1,950	153		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額(千円)	0	0	0		交付金額(千円) 1,790
市補助金	—	—	—		使途内訳
会費	—	—	—		
繰越金	—	—	—		
事業収入	—	—	—		
その他	—	—	—		
支出	0	0	0		割合(%)
交際費、飲食費	—	—	—		団体収入に占める補助金の割合
人件費	—	—	—		—
事業経費	—	—	—		団体収入に占める繰越金の割合
その他	—	—	—		—
	—	—	—		交付金額に対する繰越金の割合
	—	—	—		—

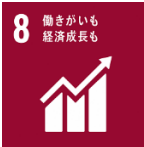
視点別の分析	令和3年度の実績			
	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
補助基準	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	新規指定企業 ●日本電子株式会社 企業誘致奨励金交付実績 ●株式会社テックメイク(1件 1,790千円) ※支払った法人税・都市計画税を、その翌年に交付する。(最長3年間、最大交付額60,000千円)	市内への移転希望のある市外事業者に対する周知方法の検討を行う。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了		
本事業は、市内産業の振興及び市民の雇用機会の拡大に寄与するものであり、引き続き市が企業の誘致を積極的に行う必要があるが、令和4年度末をもって武蔵村山市企業誘致条例が失効するため、その期限を撤廃し、引き続き工業集積の維持、発展に向けて、製造業やその研究開発機能、先端産業企業等の誘致を図る。また、新青梅街道沿道や多摩都市モノレール想定新駅周辺区域等へ商業、サービス業等の店舗や事業所等の立地の促進を図るため、対象業種及び対象地域の拡大について検討を進める。			
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	緑が丘地区暫定管理事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	緑が丘地区の暫定管理に関する協定書 緑が丘地区の暫定管理に関する覚書		
	目的	都営村山団地の建て替えに伴う空地約2.4haを「ひまわりガーデン武蔵村山」等として整備し市民の憩いの場、また観光名所として本市の知名度の向上に寄与する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	緑が丘地区の東京都が管理している用地に季節を味わうことができる草花を植え、市民等の憩いの場として整備するもの。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	「ひまわりガーデン武蔵村山」来場者数 ※目標値は設定していない。	人	目標	—	—	—
				実績	21,841	27,567	
達成率				—	—		
2	「菜の花ガーデン武蔵村山」来場者数 ※目標値は設定していない。	人	目標	—	—	—	
			実績	5,636	8,775		
			達成率	—	—		

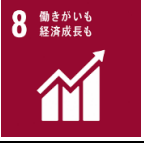
事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		11,619	12,442	12,883	
財源内訳	一般財源	11,619	12,442	12,883	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,435	2,393	2,293	
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		14,054	14,835	15,176	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
「ひまわりガーデン武蔵村山」 開園期間：令和3年7月3日～同年8月1日まで 来場者数：27,567人 「菜の花ガーデン武蔵村山」 開園期間：令和4年2月19日から同年4月10日まで 来場者数：8,775人	令和5年度で東京都へ当該用地を返還するため事業を廃止する。

令和4年度の方針																	
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																
平成24年1月27日付けで締結した「緑が丘地区の暫定管理に関する協定書」に基づき市民等の憩いの場として整備を行い、夏の風物詩である「ひまわりガーデン武蔵村山」等を開園してきたが、協定書の期間満了となる令和5年5月末日をもって東京都へ返還し事業を廃止する。	今後の方針 コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
		削減	維持	増加													
	向上																
	維持																
	低下																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果</th> <th>向上</th> <th>維持</th> <th>低下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上	維持	低下	向上				維持				低下			
成果	向上	維持	低下														
向上																	
維持																	
低下																	
	(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山観光まちづくり協会助成事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係	内線 224
	根拠法令等	令和3年度武蔵村山観光まちづくり協会交付金交付要綱			
	目的	武蔵村山観光まちづくり協会の運営に当たり必要な経費を交付することにより、協会の充実を図り、地域の観光資源の活用の推進に資する。			SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	ロケーションサービス事業、まち歩きイベントの実施、その他の観光事業				
対象(交付先)	武蔵村山観光まちづくり協会				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	まち歩きイベントの参加者数	人
			実績	25	23	
			達成率	125%	115%	
2	観光まちづくり協会会員数による会費	円	目標	890,000	845,000	850,000
			実績	882,000	887,000	
			達成率	99%	105%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額(千円)	18,187	17,376	18,000		-
一般財源	18,187	17,376	18,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)				他市等の状況
所要人員(人)	0.30	0.30	0.30		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	20,622	19,769	20,293		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額(千円)	19,124	18,459	19,190		交付金額(千円)	17,376
市補助金	18,187	17,376	18,000		人件費	13,223
会費	882	887	850		事業費	1,264
繰越金		146	290		管理費	2,889
事業収入	25	0	0			
その他	30	50	50			
総額(千円)	19,124	18,459	19,190		割合(%)	
支出	交際費、飲食費	10	12	0	団体収入に占める補助金の割合	94%
人件費	12,924	13,762	18,334		団体収入に占める繰越金の割合	1%
事業経費	741	1,276	852		交付金額に対する繰越金の割合	1%
その他	5,449	3,409	4			

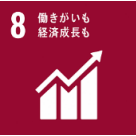
視点別の分析	項目	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

所管課の評価	令和3年度の実績							補助金交付に当たっての課題
	会員数	法人会員		個人会員		合計		当協会は令和2年度に設立し、設立からの経過年数が浅いため、収益事業についても、まだ十分とは言えない状況から、今後も市の交付金に依存した運営となる見込みである。 今後は収益事業を充実させ、交付金の減額を目指す。
□数		人数	□数	人数	□数	人数		
正会員		74□ 56人	18□ 17人	92□ 73人				
賛助会員		9□ 8人	6□ 6人	15□ 14人				
合計	83□ 64人	24□ 23人	107□ 87人					
イベント実績								
観光案内所の運営		魅力発信ポスターの発行	ロケーションサービス事業					
まち歩きイベント		魅力マイスターの認証	その他					

成果	今後の方向性				今後の方針		
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				コスト		
	今後も、観光によるまちづくりを推進するため、行政との協働により、観光施策を充実させ、自主事業等の収益事業による観光まちづくり協会の収益の向上を図り、かつ本市の知名度の向上等により来訪者の増加を目指す。				削減	維持	増加
向上							
維持					○		
低下							

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	温泉施設設備改修事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	武蔵村山市立温泉施設設置条例 武蔵村山市立温泉施設設置条例施行規則		
	目的	市民の健康づくり、多世代間のコミュニティの振興や観光・レクリエーションの拠点としての機能を担う村山温泉「かたくりの湯」を適正に管理し、来場者が快適に利用できる施設を維持する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	経年劣化により設備の老朽化が進行していることから、温泉施設の機能維持、保全のため適正に修繕を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	来場者数	人	目標	169,000	114,000
			実績	68,139	90,621	
			達成率	40%	79%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)	970	7,418	4,142	
財源内訳				
一般財源	970	7,418	4,142	
国都支出金	0	0	0	
その他	0	0	0	
人件費				
会計年度任用職員以外の職員(千円)	4,058	3,988	3,821	
所要人員(人)	0.50	0.50	0.50	
会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)	5,028	11,406	7,963	

視点別の分析	内容	必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
以下のとおり設備の修繕を実施した。 ●空調機器の修繕 ●プール用及び浴槽系統ろ過装置ろ材交換修繕 ●自動釣銭機の改修修繕 ●水風呂系統空調機器の交換修繕 ●自動ドアの修繕	令和4年度で現指定管理者の指定期間が終了する。次期指定管理者の選定に向けて、指定管理者応募要件や次期以降の運営に向けた施設改修内容の整理を要する。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和4年度で現指定管理者の指定期間が終了し、指定管理者の公募を行ったが応募事業者がなかったことから、令和5年度末までに市立温泉施設の在り方を検討し、市の方針を決定することとなっている。今後の施設の方針が決定するまでは、本事業については休止する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	野山北・六道山公園（総合運動公園）整備事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、都市公園法		
	目的	野山北・六道山公園（総合運動公園）の未供用区域の整備		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	未買収用地の用地取得に向けた準備を進めるとともに、未整備区域の整備内容等について調査委託を実施し整備推進する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	用地取得	—	目標	推進	推進
			実績	未実施	未実施	
			達成率	—	—	
2	整備内容調査検討	—	目標	調査検討	調査検討	調査検討
			実績	未実施	未実施	
			達成率	—	—	

事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）	0	0	0		
財源内訳	一般財源	-	-		
	国都支出金	-	-		
	その他	-	-		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77		
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01		0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0		0
	所要人員（人）	0.00	0.00		0.00
合計（事業費+人件費）	82	80	77		

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	必要性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は整備の実績なし。	令和2年度に改定された都市計画公園・緑地の整備方針では、優先的に事業を進めていく公園として位置付けがある。 スポーツ振興課、環境課と連携して公園整備計画について調整する必要がある。

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>総合運動公園については、憩いとやすらぎの場、健康づくりの場、スポーツ・レクリエーションの場、災害時のオープンスペースの機能を持つ拠点性の高い公園として整備するため、検討を行うものである。</p> <p>都市計画公園・緑地の整備方針（計画期間：令和2年度～令和11年度）において、重点的に事業化に向けて取り組む公園として位置付けられていることから、庁内関係部署と連携し、整備に向けた調査検討を行う。</p>																											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
		今後の方針																									
		コスト																									
成果	向上	削減	維持	増加																							
	維持			○																							
	低下																										
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																											

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市公園施設改修事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地				
	所管部署	協働推進 部	環境 課	公園緑地 係	内線	262
	根拠法令等	公園施設長寿命化計画 東京都の防災力を向上させる公園緑地整備（防災・安全）				
	目的	都市公園における遊具、ベンチ等の施設構築物の「長寿命化」と「設置・交換・撤去」を実施し、公園施設利用者の安全・安心を確保するとともに、利便性の向上を図る。また、「長寿命化」とは、平成27年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づくものである。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	平成29年度から令和8年度までの間、公園施設長寿命化計画に基づき計画的に都市公園の遊具等の整備を実施している。					



評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	改修工事した都市公園施設の件数	施設
			実績	11	3	
			達成率	100%	100%	
2	遊具等を撤去及び設置した遊具等の件数	基	目標	38	5	35
			実績	38	5	
			達成率	100%	100%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		34,778	3,081	30,000
財源内訳	一般財源	19,778	3,081	15,000
	国都支出金	15,000	0	15,000
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	406	399	383
	所要人員（人）	0.05	0.05	0.05
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		35,184	3,480	30,383


市民・議会等から寄せられた意見	
遊具の老朽化については、安全で安心して市民が利用できるよう維持管理を行っているが、市民からは年代に合った遊具や健康遊具を設置してほしいとの意見がある。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効果率	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
率	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
年に1回、運動広場等管理点検委託業務において、遊具等の点検を実施し、評価を行い安全、安心な施設管理に努めている。令和3年度で交付金対象遊具等の改修工事が終了したため、交付対象以外の整備を実施した。	10年間（平成29年度から令和8年度まで）の計画で改修工事を実施しているが、補助金対象遊具等は、整備が進んだため令和3年度及び令和5年度は先送りとしている。 今後、計画期間における対象遊具等の検討や改修工事以外の新規遊具の設置工事について、国及び東京都の補助金対象として整備していくかが課題となっている。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、公園施設長寿命化計画に基づき、当該施設の利用者の安全確保及び利便性の向上のため、遊具等の点検、修繕、補修を実施するものである。都市公園は、子どもの遊び場、レクリエーション活動やコミュニティ活動の場として利用されており、計画的な管理、整備が必要であることから、今後も本事業を継続する。また、公園施設長寿命化計画の施行期間は令和8年度までとしているが、補助金対象遊具の整備が進み、補助対象額（3千万円）を満たす遊具等の選定が困難となっているため、東京都との調整が必要である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	樹林等保全事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地				
	所管部署	協働推進 部	環境 課	公園緑地 係	内線	262
	根拠法令等	武蔵村山市みどりの保護及び育成に関する条例 武蔵村山市みどりの保護及び育成に関する条例施行規則				
	目的	緑の基金を活用し、保存樹林等の指定を受けた者に対し奨励金を交付する。				SDGsの取組 15 陸の豊かさも守ろう
内容	みどりの保護及び育成に関する条例等に基づき、毎年、奨励金を交付する。					
対象（交付先）	市民					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	保存樹木の本数	本
			実績	84	81	
			達成率	70%	68%	
2	保存生け垣の延長	m	目標	4,850	4,850	4,850
			実績	4,051	4,013	
			達成率	84%	83%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	1,645	1,620	1,949		第三次みどりの基本計画の施策で保存樹林等の積極的な指定の推進や指定基準の見直しを検討すると全員協議会で報告した。
一般財源	0	0	0		
国都支出金	0	0	0		
その他	1,645	1,620	1,949		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 東京都では1区、2市（八王子市、青梅市）に制度なし。平成29年度緑化白書からの増減内訳は、増加が14団体、減少が28団体、変化なしが10団体である。
	487	479	459		
所要人員（人）	0.06	0.06	0.06		
	会計年度任用職員（千円）				
	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）	2,132	2,099	2,408		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	1,620
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		


視点別の分析	令和3年度の実績			
	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	市民が所有する樹林地、樹木、生け垣を同意の上、市長が保存樹木等に指定し奨励金を交付することにより、市内のみどりの保護及び育成を図り、市民の健康で快適な生活環境を確保する。令和3年度の実績は以下のとおりである。 ●保存樹木：27人 81本 364,500円 ●保存樹林：1人 1,117㎡ 142,976円 ●保存生け垣：112人 114箇所 1,111,650円 合計 1,619,126円	くらしの便利帳やホームページに掲載しており、令和4年度にホームページのリニューアルを行い周知を強化した結果、市民からの問合せが増加している。その一方、保存樹林は、樹木が枯れ伐採等により減少している。また、保存生け垣も、土地の売却や所有者の高齢化等により維持管理が困難となるなどにより減少しているため、新たにPR活動等で新規緑地保存地区を増やすことが課題である。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
緑豊かなまちづくりを推進する上で、今後もみどりの保護及び育成が必要であり、本補助金は、市民の健康で快適な生活環境に寄進するため、今後も継続していく必要がある。			
令和4年度においては、令和4年4月1日現在を確認し保存樹林等の所有者に対して本補助金を支給しているが、同年4月2日以降に樹木1件、生け垣4件（116m）の解除申請を受け減少している。そのため、ホームページの更改及び市報による周知を実施し、今後も引き続き本事業の周知を図る。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			○
維持			
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	庁舎空調機器更新事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営		
	所管部署	総務 部	総務契約 課	総務 係 内線 324
	根拠法令等	—		
目的	公共施設の適正な維持管理と効率的な運営を図るため、庁舎の空調機器等の設備更新を年度ごとに実施する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	令和4年度は冷温水発生機用冷却水ポンプ及び冷暖房機能を管理するプロテクトリレーの更新を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	空調機の稼働日数	日	目標	—	—	—
								実績	225	210
達成率	—	—								
2	空調機の1日あたりの稼働時間	時間	目標	—	—	—				
				実績	2,006	1,818				
				達成率	—	—				

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		4,840	5,720	7,909
財源内訳	一般財源	4,840	5,720	7,909
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		4,840	5,720	7,909

市民・議会等から寄せられた意見	
平成27年9月の決算特別委員会において、同年1月及び8月の空調機器の故障について、設備更新の必要性についての意見があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
類似事業等との統合は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、冷温水発生機(キャンドポンプモーター及び押込ファンモーター)更新工事を行った。	空調設備は、庁舎建設時から大規模な更新工事が行われていなかったことから、更新については、緊急性が高いと考えられる。しかし、更新工事に当たって多額の費用がかかることから、費用負担の平準化を図るため複数年に渡り業務執行を行う必要がある。

令和4年度の方針																											
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																										
複数年に渡り更新工事を行ってきた庁舎空調機器更新事業については、令和4年度をもって終了となる。今後は、設備の機能維持、保全のため製造業者等の意見を聴取し、必要に応じて実施計画にて要求又は修繕等に対応する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下								
				今後の方針																							
		コスト																									
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	文書管理システム導入事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営		
	所管部署	総務部	文書法制課	文書係 内線 382
	根拠法令等	武蔵村山市文書管理システム等導入検討委員会設置要綱		
	目的	文書事務の管理を一元的・効率的に行うために、文書管理システムの導入の検討を行う。	SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に	
内容	文書管理を電子化する文書管理システムの導入の検討を行う。			



評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				1	事業の推進	—	目標
				実績	—	検討	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員(千円)		0	80	77
人件費	所要人員(人)	0.00	0.01	0.01
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		0	80	77

市民・議会等から寄せられた意見


平成18年第1回市議会定例会の提出議案である武蔵村山市情報公開条例の総務文教委員会における審議の際、公文書目録について、容易に検索できるようにされたいとの趣旨の発言があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年7月に文書管理システムを導入済の近隣市を訪問し、導入経緯、運用状況、課題等について教示を受けるとともに、当該システムの利用場面を確認するため、執務スペースの視察を行った。10月に係長職の職員を主として構成する武蔵村山市文書管理システム等導入検討委員会を設置し、検討を開始した。11月及び令和4年1月に検討委員会を開催し、文書管理の現状、庁内における電子決裁の現状等について確認を行った。	文書管理システムと併せて導入が見込まれる電子決裁の対象範囲、庁内の既存のシステムとの連携等が課題であり、システム担当部署の積極的な関与が望まれる。また、文書管理システムは、国が推進する地方公共団体情報システムの標準化の際、ガバメントクラウドの活用場面において、「ガバメントクラウドに構築することができるもの」と位置付けられており、導入するシステムは将来的なガバメントクラウドへの移行にも円滑に対応できるものとし、経費の二重投資とならないように留意する必要がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
武蔵村山市文書管理システム等導入検討委員会を5回程度開催し、システム導入の際に考慮すべき事項の検討を行い、年度内に検討結果報告書の提出を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	AI・RPA導入事業			
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営			
	所管部署	企画財政 部	行政経営 課	情報システム 係	内線 393
	根拠法令等	—			
目的	AI、RPA等の活用により、人が行う知的作業の代行や単純作業の削減による作業時間の短縮を行い、効率的な事業運営を行うことを目的とする。			SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に 	
内容	AI-OCR及びRPAを導入し、令和4年1月から運用を開始した。令和3年度は、3件の業務のRPA化等を図った。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	定型業務自動化数	件
			実績	—	3	
			達成率	—	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	8,800	0	
財源内訳	一般財源	—	6,594	—	
	国都支出金	—	2,206	—	
	その他	—	0	—	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	105	258	247	
	所要人員(人)	0.01	0.03	0.03	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		105	9,058	247	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施した業務は以下のとおりである。 ●償却資産申告書の受付、形式審査、システムへの入力等 ●週次で年金事務所から送付される国民年金保険料免除・納付猶予申請承認(却下)通知書発行一覧表及び国民年金保険料学生納付特例申請承認(却下)通知書発行一覧表(紙媒体)のシステムへの入力 ●新型コロナウイルスワクチン接種予診票のPDF化	RPAについては、業務を熟知し、ロボット(システム)を動かすシナリオの作成やメンテナンスできる職員を育成することが必要である。 また、AI-OCRについては、文字の読取精度が十分でなく、内容の確認や読み込んだ文字の修正に時間を要しているため、識字率の向上が課題である。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
AI-OCR及びRPAライセンスの利用期間が終了する令和5年度までに15以上の業務での活用を予定している。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持	○			低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	無停電電源装置部品更新事業				
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営				
	所管部署	企画財政 部	行政経営 課	情報システム 係	内線	393
	根拠法令等	—				
目的	平成23年度に本庁地下に設置した無停電電源装置（以下「UPS」という。）の各部品が耐用年数を超えて稼働していることから、今後の安定的な運用のため、部品を交換するものである。				SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に	
内容	耐用年数を超えて稼働している各部品の交換を行った。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	部品交換完了状況	—	目標	—	完了	—
				実績	—	完了	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	15,543	0	
財源内訳	一般財源	-	15,543	-	
	国都支出金	-	0	-	
	その他	-	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	15,543	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
耐用年数を超えて稼働している以下の部品の交換を行った。 ●冷却ファン ●電磁接触器 ●電解コンデンサ ●制御電源 ●制御用ヒューズ ●制御用リレーユニット ●制御用操作ユニット ●蓄電池（バッテリー）	UPSは、停電等の不測の事態が生じた場合にサーバの正常なシャットダウン等を行うための電源装置で、これがないと正常にシャットダウンできず、重要なデータを消失してしまう可能性等があり、システムの運営に不可欠な重要な装置である。 UPSの各部品の耐用年数は5～7年程度となっており、定期的に交換を行わなければならないが、これには多額の費用がかかるため、費用の平準化が必要である。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和3年度に各部品の交換を行ったが、今後も部品の耐用年数を踏まえ、定期的な交換を行っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	公金スマートフォンアプリ決済収納代行業務委託事業			
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第2節 財政運営			
	所管部署	市民部	収納課	管理係	内線 193
	根拠法令等	地方税法、地方自治法			
	目的	納付方法の多様化を図ることで利便性を高め、自主財源の確保に努める。			SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
内容	スマートフォンに専用アプリをインストールし、カメラ機能で納付書のバーコードを読み取ることで、アプリにチャージした電子マネーや登録した預金口座から納税できるサービスを提供する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	対象税目の収納件数全体に対するスマホアプリ決済が占める割合 ※令和3年度は目標値を設定していない。	%
2	対象税目の収納金額全体に対するスマホアプリ決済が占める割合 ※令和3年度は目標値を設定していない。	%	実績	—	0.35	
			達成率	—	—	
			目標	—	—	0.54
			実績	—	0.25	
			達成率	—	—	
			目標	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	45	817	
財源内訳	一般財源	-	45	817	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	399	230	
人件費	所要人員(人)	0.00	0.05	0.03	
	会計年度任用職員(千円)	0	9	9	
	所要人員(人)	0.00	0.01	0.01	
合計(事業費+人件費)		0	453	1,056	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年10月1日から、市税等(市・都民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税(種別割)、国民健康保険税)を対象に、スマートフォンアプリ決済(PayB、楽天銀行コンビニ支払サービス、LINEPay、auPay、FamiPay)を導入し、納税の利便性を高めた。 また、市報や市ホームページへの掲載、市内掲示板及び金融機関へのポスター掲示などにより広く周知した。	スマートフォンアプリ決済の利用率の推移を注視しつつ、利用促進の啓発等を適宜行い、広く普及させていくことで、収納率の向上につなげていく必要がある。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 スマートフォンアプリ決済について、引き続き広く周知することで利用を促進していく。また、利用可能なアプリの拡充についても検討していく。 令和4年12月1日から「d払い」を追加する。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持																				
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	広域連携推進事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第3節 広域行政		
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係 内線 373
	根拠法令等	令和3年度子ども雪国体験事業実行委員会設置規程		
	目的	市域を越えた広域的な連携による効率的な行政運営を推進する。		SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう
内容	本市のほか、昭島市、東大和市、瑞穂町及び長野県栄村との連携により、各自治体の小学校4年生から6年生までの子どもたちが本市の姉妹都市である栄村にて2泊3日の雪国体験を行う。			

事務事業の実施状況	評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		1	事業全体の参加者数 ※令和2年度及び令和3年度は未実施	人	目標	—	—	—
					実績	—	—	—
					達成率	—	—	—
		2	事業実施後のアンケートで「楽しかった」と回答した参加者の割合 ※令和2年度及び令和3年度は未実施	%	目標	—	—	—
					実績	—	—	—
	達成率				—	—	—	
	事業経費				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 平成29年3月予算特別委員会において、「姉妹都市栄村で夏休みの体験事業はできないか」、同年9月決算特別委員会において、「貴重な体験事業なので継続してほしい」との意見があった。 令和2年1月の事業実施時の保護者アンケートにおいて、「親元から離れて、自分でいろいろな経験をするのはとても良いことであり、素晴らしい取組である」との意見があった。
	事業費（千円）				0	0	0	
	財源内訳	一般財源				-	-	
国都支出金				-	-	0		
その他				-	-	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				105	258	494	
	所要人員（人）				0.01	0.03	0.06	
	会計年度任用職員（千円）				0	0	0	
所要人員（人）				0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）				105	258	494		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和3年度の実績	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業を中止とした。
	事務事業の推進に当たっての課題	事業費の10分の8は東京都市市長会の多摩・島しょ広域連携活動助成金の交付を受け、10分の2は参加費を徴収している。今後の実施に当たっては、感染対策や物価高騰の影響を受けることが予想されるが、参加者一人当たりの負担をなるべく増やさないために工夫が必要である。
	令和4年度の方針	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 平成22年度から実施している人気のある事業である。令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止としたが、令和4年度については、昭島市、東大和市、瑞穂町、栄村及び本市で構成する「子ども雪国体験事業実行委員会」において、感染症の状況等を注視しつつ、実施の可否を慎重に検討していく。 ※令和4年度についても新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

4 令和4年度における外部評価の結果について

(1) 外部評価の目的

外部評価は、本市が行う行政評価について、その公正性及び客観性を確保するとともに、市民感覚を取り入れた評価とすることを目的として実施している。

(2) 行政評価委員会について

当委員会は、市長が委嘱する6人の委員をもって組織され、外部評価に関すること及びその他行政評価の実施に関して必要と認めることについて審議し、その結果を市長に報告するとされている。

(3) 外部評価の評価結果

外部評価の対象とする事務事業等については、副市長が主催する「行政評価会議」で、「①所管課による内部評価において、今後の方向性が「拡充」又は「縮小・見直し」となっており、見直しの必要があると思われるもの」、「②現状の実績や課題を踏まえ、目的や効果の検証が必要と思われるもの」、「③所管課において行政評価委員会による外部評価を希望するもの」の三つの視点に基づいて14事業が選定された。

当委員会は、これら各事務事業等に対する各所管課の内部評価を踏まえ、実施状況や実績などについて視点別に評価するとともに、今後の方向性を含め、以下のとおり総合評価を行った。

(4) 外部評価総括表

No.	事務事業名	所管課	今後の方向性
1	ブロック塀撤去工事等助成金交付事業	防災安全課	現状維持
2	消防団準中型・中型免許取得補助事業	防災安全課	現状維持
3	人間ドック等助成事業	保険年金課	現状維持
4	創業支援事業	産業観光課	現状維持
5	権利擁護推進事業	福祉総務課	現状維持
6	在宅医療・介護連携推進事業	高齢福祉課	現状維持
7	生活支援体制整備事業	高齢福祉課	現状維持
8	保育コンシェルジュ事業	子ども青少年課	現状維持
9	子どもショートステイ事業	子ども子育て支援課	現状維持
10	市内循環バス運行経費補助事業	交通企画・モノレール推進課	現状維持
11	巡回相談員配置事業	教育指導課	現状維持
12	英語検定事業	教育指導課	現状維持
13	地域未来塾事業	文化振興課	現状維持
14	スポーツ少年団支援事業	スポーツ振興課	縮小・見直し

(5) 外部評価調書

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		ブロック塀撤去工事等助成金交付事業	
所管部署		総務部 防災安全課 災害対策係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、地震に伴うブロック塀等の倒壊防止対策として、避難路に面している倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去及び建替工事に要する費用の一部を助成し、地震発生時における市民の安全の確保を図ることを目的としており、一定の意義が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、市民等が所有し、管理するブロック塀等は、耐震安全性の把握が困難であることや、改修工事には自己負担が伴うため、所有者の理解を得られない場合があり、申請者をいかに増やすかが課題となっている。</p> <p>よって、本事業の利用促進を図るため、積極的な周知に努めるとともに、当該ブロック塀等について、市民や事業者などから更に情報を収集し、実態の把握に努めることを求めたい。</p> <p>また、他市の状況を参考に助成額が助成実績に与える影響を検証し、必要に応じて助成内容を見直すなど、より効果的な事業へと発展させていくことを併せて求めたい。</p>		

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		消防団準中型・中型免許取得補助事業	
所管部署		総務部 防災安全課 消防係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、消防団員に対し、その所属する分団に配備されている準中型自動車等の運転資格の取得費用を補助することにより、消防団員の確保を図り、もって消防団活動を安定的に実施することを目的としており、その意義が認められることから、継続することが適当である。</p> <p>他方、初動時に無資格の団員が参集し、出動が遅延したり、困難となる場合があり、いかに資格取得者を増やすかが課題となっている。</p> <p>よって、資格取得希望者の増加を図るため、対象となる団員に対し本事業の積極的な周知に努めるとともに、取得の要望があった団員に対しては速やかに対応して、資格取得者を増やすことが望ましい。</p>		

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		人間ドック等助成事業（国民健康保険）（後期高齢者医療）	
所管部署		市民部 保険年金課 医療費適正化係／後期・年金係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、人間ドック又は脳ドックの受診に係る費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康の保持増進を図ることを目的として実施しており、その意義が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、人間ドックの検査項目の違いにより助成額に差を設けているが、医療機関によって検査項目が異なっているため、助成要件が分かりにくいことなどが課題となっている。</p> <p>よって、当委員会としても、所管課の評価と同様に市民に受け入れやすい制度への見直しの検討が必要であると思料するが、検討に当たっては、他市における助成内容、受診率等の実施状況の調査や専門的な知見を有する機関への確認等により、検査項目の違いが疾病の早期発見等に与える影響を精査した上で、より効果的な事業に発展させていくことを期待したい。</p> <p>また、本事業の目的に鑑みて、より多くの市民が誤りなく適切に助成を受けられるようにするため、事業の案内を分かりやすくするなど工夫改善を求めたい。</p>		

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		創業支援事業	
所管部署		協働推進部 産業観光課 商工係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、創業希望者に対して支援を行うことにより、創業意欲を喚起し市内での創業につなげるものであり、一定の意義が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、市内での創業に結び付いた実績はあるものの、参加者が定員を満たしておらず潜在的な創業希望者をいかに発掘するかや、本事業の目的である地域経済活性化についての効果の検証が課題となっている。</p> <p>よって、創業希望者が創業に当たってどのような課題を持ち、支援が必要なのかなど、そのニーズや実態を把握して事業の企画、運営等にかすとともに、空き店舗を活用した創業支援など、地域政策の観点から市内での創業に対する付加価値の創出について検討等を行い、より効果的な事業へと発展させていくことを期待したい。</p> <p>さらに、関連事業の実施団体との連携を強化し、より創業しやすい環境の創出に努めることを求めたい。</p>		

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		権利擁護推進事業	
所管部署		健康福祉部 福祉総務課 福祉総務係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、認知症高齢者や知的障害者等が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、福祉サービスや成年後見制度の利用支援などを行うものであり、その必要性は十分に認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、高齢化の進展等により、本事業の利用ニーズが更に高まることを見込まれる中、潜在的なニーズをいかに正確に把握し、支援に結び付けていくかや、事業についての効果検証が課題となっている。</p> <p>よって、本事業を真に必要とする市民が安心して利用できるようにするため、更に積極的な周知や成年後見制度利用促進に係る中核機関の設置に向けた検討を加速化させるとともに、アンケート調査の実施等により利用者の意見を収集し、それを踏まえて事業の改善を図るなど、より効果的な事業に発展させていくことを求めたい。</p>		

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		在宅医療・介護連携推進事業	
所管部署		健康福祉部 高齢福祉課 高齢者支援係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活続けることを目的として、在宅医療及び介護を一体的に提供するために、医療と介護の関係機関の相互連携を強化するものであり、その意義が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、在宅医療・介護連携支援センターが持つコーディネート機能が市民のニーズに十分に対応できているかや、在宅医療・介護連携推進協議会、多職種連携研修会等が関係機関の連携強化にどの程度寄与しているかなどがわかりにくいという課題がある。</p> <p>よって、より効果的な事業とするため、専門職だけでなく、サービスの利用者に対するアンケート調査の実施等により定性的な現状を把握した上で、質的な評価を実施し、高齢者の福祉の増進に寄与していくことを期待したい。</p> <p>また、在宅医療・介護連携支援センターについては、市民からの相談に対しても積極的に対応できる仕組みの構築を検討することが肝要である。</p>		

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		生活支援体制整備事業	
所管部署		健康福祉部 高齢福祉課 地域包括ケア係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、各地域包括支援センターに配置する生活支援コーディネーターを統括し、総合的に支援する機能強化型地域包括支援センターを設置することにより、地域における生活支援体制を整備し、地域包括支援センター全体の機能強化を図るとともに、高齢者の社会参加及び生活支援を推進するものであり、その意義が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、機能強化型地域包括支援センターが担う生活支援体制整備に関する支援や各地域包括支援センターとの連携には、地域課題の発見やニーズの分析など、高い専門性を有する人材の継続的な確保や、各地域包括支援センターにおけるサービスの平準化をいかに保っていくのかという課題がある。</p> <p>よって、今後も、高齢者のニーズに対応した生活支援サービスの提供を継続するため、人材の確保と併せ更なる専門的な知識等の蓄積や地域包括支援センター間のネットワーク強化に努めるなど、組織の管理運営体制の強化について工夫改善を図り、高齢者の生活支援・介護予防サービスの充実につなげていくことを期待したい。</p>		

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		保育コンシェルジュ事業	
所管部署		子ども家庭部 子ども青少年課 保育・幼稚園係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、保護者の保育サービスの適切な選択や円滑な利用につなげるため、子育て家庭の個別ニーズを把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用に当たり、相談支援を行うものであり、その意義が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、トラブル等を抱える家庭が増加傾向にあり、高い専門性を有する人材の継続的な確保や、適切な支援につなげられているかなどが課題となっている。</p> <p>よって、今後も保護者のニーズを的確に把握し、それに対応した保育サービスが受けられるよう、専門性を有する人材の確保や育成に努めるとともに、利用者アンケート調査の実施等により関係機関への引継ぎが適切に行われているかを検証し、相談業務の質を担保しながら工夫改善を図り、より効果的な事業に発展させていくことを求めたい。</p>		

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		子どもショートステイ事業	
所管部署		子ども家庭部 子ども子育て支援課 子ども家庭支援センター係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、保護者が家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合等に、児童の養育及び保護を行うことにより、児童虐待の予防などに一定の効果を挙げているため、今後も継続することが適当である。</p> <p>また、市報等による事業の周知に加え、各家庭へのケースワーク等により需要を捉えて本事業の利用につなげていることは評価できる。</p> <p>他方、利用できる対象者の基準が分かりにくいことや、ひとり親家庭の増加等による子育て家庭を取り巻く環境の変化に伴い需要の拡大が予想される中、本事業の利用を真に必要とする家庭の潜在的なニーズをいかに把握して支援に結び付けていくかが課題となっている。</p> <p>よって、真に事業を必要とする家庭への適切な支援につなげるため、利用条件をより明確にするなど、更に事業を利用しやすくなるよう工夫改善を図り、安心して子育てできる環境づくりに寄与していくことを期待したい。</p>		

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		市内循環バス運行経費補助事業	
所管部署		都市整備部 交通企画・モノレール推進課 交通企画・モノレール推進係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、市内循環バスの運行に係る経費の一部を運行事業者に補助することにより、交通空白地域の市民ニーズに対応した移動手段の確保に寄与していることから、その安定的な運用を図るため、今後も継続する必要がある。</p> <p>また、1便当たりの利用者の少ない2ルートを廃止することによって、効率性の改善を図るよう努めたことは評価できる。</p> <p>しかし、運行事業者の収入に占める補助金の割合が高い状況であり、負担の公平性の観点からは、その割合を減少させることが望ましいと思料する。</p> <p>よって、市内循環バスの利用を促すため、広報活動を更に強化するとともに、時間帯ごとの利用状況など利用実態を詳細に分析し、運行ダイヤ等の見直しを行うなど、積極的に運行事業者の事業採算性の向上を図っていくことが肝要である。</p>		

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		巡回相談員配置事業	
所管部署		教育部 教育指導課 教育支援係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対し、特性に応じた適切な支援を行うために巡回相談を実施するものであり、その意義は十分に認められることから、今後も継続していくことが適当である。</p> <p>他方、本市においては、特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあるため、各学校のニーズは高いものの、専門性を有する巡回相談員の確保やスケジュール調整が課題となっている。</p> <p>よって、効率的に巡回を行う方策を検討し、巡回数の増加を図るとともに、直接巡回相談を実施していない学級等においても、必要な助言や指導を受けたのと同等の効果が得られるように情報を共有するなどし、特別支援教育の理念に沿ったより効果的な実施に努める必要がある。</p> <p>さらに、巡回相談員による助言についての家庭での受け止め方を把握するなど、本事業が児童生徒の成育や発達にどのように影響しているのかを分析することも併せて求めたい。</p>		

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		英語検定事業	
所管部署		教育部 教育指導課 指導係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、学力の向上や学習意欲の高揚を図るため、生徒に英語技能検定の受検の機会を提供するものであり、合格率が毎年上昇するなど、一定の成果を挙げていることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、受検率が毎年目標を下回っていることや、本事業が本市の学力の向上にどの程度寄与しているかなどの効果検証が不十分であるなどの課題がある。</p> <p>よって、今後は、学力調査等における本市の学力等を分析し、本事業の効果を的確に把握した上で、受検率及び合格率の向上を図るための具体的な方策の検討や積極的な周知を行うなど、より効果的な事業へと発展させていくことを求めたい。</p>		

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		地域未来塾事業	
所管部署		教育部 文化振興課 生涯学習係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、家庭での学習が困難である児童生徒を対象に、学習支援を実施することにより、学習習慣の確立や基礎学力の定着に寄与するとともに、地域教育や家庭教育を補完する場であることから、今後も継続すべき事業である。</p> <p>他方、学習支援員の確保が課題となっているが、その募集方法は学校によって異なっていることや、参加者の選出方法や実施期間などの取組等に差があるため、効率性や公平性の観点からは疑問が残る。</p> <p>よって、より効果的な運営を行うため、対象学年や実施期間によって実施効果にどの程度寄与しているかなど各学校の実績を分析した上で、最も効果的な実施方法を共有し、人材募集や参加者の選出方法等に反映させるなどの見直しを行っていくことが望ましい。</p>		

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		スポーツ少年団支援事業	
所管部署		教育部 スポーツ振興課 スポーツ振興係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、本市のスポーツ振興及び青少年の心身の健全な育成に寄与することを目的として開始されたものであるが、事業の開始当初から登録件数が低調であり、本事業が期待した成果に結び付いているとは言い難い状況を考慮すれば、存廃を含めた見直しの検討が必要であると所管課の評価に異論はない。</p> <p>ただし、見直しに当たっては、現在スポーツ少年団に登録し、補助金を活用して活動している団体があることから、その影響を十分に精査した上で、慎重に判断することを求めたい。</p> <p>また、今後は、他市における体育協会や青少年スポーツ団体の運営状況、それら団体への市の関わり方等を調査した上で、本市の体育協会の在り方や、青少年スポーツ団体のスポーツ活動の新たな活性化策などを検討するとともに、本市におけるスポーツ振興の方針を明確にするなど、取組を強化していくことも併せて求めたい。</p>		

参考資料

1 武蔵村山市行政評価実施要綱

令和4年3月29日
武蔵村山市
訓令（乙）第25号

（目的）

第1条 この要綱は、武蔵村山市（以下「市」という。）の行政評価の実施に関し必要な事項を定めることにより、行政評価の結果を市政に適切に反映させ、市民の視点に立った効果的かつ効率的な市政を推進するとともに、市政について市民に説明する責務を全うすることを目的とする。

（用語の意義）

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 行政評価 市が実施した事務事業について、その効果等の分析及び検証を行い、総合的に評価することをいう。
- (2) 事務事業 施策を実現するための手段として、個別の予算及び人員から構成される行政活動の基本的な単位をいう。
- (3) 実施計画 施策を計画的に実施するために、特に重点的かつ優先的に進めていくべき事務事業を記載し、毎年度策定される計画をいう。

（行政評価の対象）

第3条 行政評価の対象は、前年度の実施計画に記載された全ての事務事業（評価の実施が困難なものを除く。）その他市長が必要と認める事務事業（以下「対象事務事業」という。）とする。

（行政評価の種類等）

第4条 行政評価は、毎年度、次の各号に掲げる種類に応じ、当該各号に掲げる方法により行うものとする。

- (1) 内部評価 対象事務事業を所管する部課等が、当該対象事務事業について行う妥当性、有効性などの分析及び検証とこれに伴う評価とする。
 - (2) 外部評価 武蔵村山市行政評価委員会が、行政評価の客観性及び透明性を確保するため、武蔵村山市行政評価会議（次条第1項を除き、以下「行政評価会議」という。）が必要と認める対象事務事業について、内部評価の結果を踏まえて行う評価とする。
- 2 企画財政部長は、行政評価の実施に関し、対象事務事業を所管する部の長に対し、必要な調整及び助言を行うことができる。

（行政評価会議）

第5条 前条第1項第2号の外部評価を実施する対象事務事業の選定を行うため、武蔵村山市行政評価会議を置く。

- 2 行政評価会議は、副市長主宰の下に、企画財政部長、総務部長、市民部長、協働推進部長、健康福祉部長、子ども家庭部長、都市整備部長及び教育部長をもって組織する。
- 3 副市長に事故があるとき、又は副市長が欠けたときは、企画財政部長がその職務を代理す

る。

4 この要綱に定めるもののほか、行政評価会議の運営に関し必要な事項は、副市長が行政評価会議に諮って定める。

(選定結果の市長への報告等)

第6条 行政評価会議は、前条第1項の規定により外部評価を実施する対象事務事業の選定を行ったときは、その結果を市長に報告するとともに、対象事務事業を所管する部の長及び企画財政部長に通知するものとする。

(評価結果の活用)

第7条 市長は、行政評価の結果（内部評価のみの結果を含む。以下同じ。）を予算編成上の資料として活用する。

2 対象事務事業を所管する部の長は、行政評価の結果により対象事務事業の見直しが必要とされた場合は、適宜、必要な措置を講じなければならない。

(評価結果の公表)

第8条 市長は、行政評価の結果を市民に公表するものとする。

(庶務)

第9条 行政評価の庶務は、企画財政部行政経営課が行う。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、行政評価の実施に関し必要な事項（第5条第4項及び第7条第2項に規定する事項を除く。）は、企画財政部長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

2 令和4年度行政評価会議構成員名簿

氏 名	職 名
石川 浩喜	副市長
神子 武己	企画財政部長
神山 幸男	総務部長
室賀 和之	市民部長
雨宮 則和	協働推進部長
島田 拓	健康福祉部長
乙幡 康司	子ども家庭部長
樋渡 圭介	都市整備部長
諸星 裕	教育部長

3 令和4年度行政評価会議の審議経過

	開催年月日	審議内容
第1回	令和4年6月28日	○ 外部評価対象事務事業等の選定について

4 武蔵村山市行政評価委員会設置要綱

平成28年5月31日
武蔵村山市
訓令(乙)第147号

(設置)

第1条 武蔵村山市が行う行政評価(以下「行政評価」という。)について、その公正性及び客観性を確保するとともに市民感覚を取り入れた評価とするため、武蔵村山市行政評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議し、その結果を市長に報告する。

- (1) 武蔵村山市行政評価実施要綱(令和4年武蔵村山市訓令(乙)第25号)第4条第1項第2号に規定する外部評価に関すること。
- (2) その他行政評価の実施に関して必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げるところにより市長が委嘱する委員6人をもって組織する。

- (1) 学識経験者 1人
 - (2) 企業経営分野等に関し識見を有する者 3人
 - (3) 公募による市民 2人
- 2 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の翌年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長1人を置く。

- 2 委員長は、前条第1項第1号に掲げる委員をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員の互選により選任する。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、企画財政部行政経営課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成28年5月31日から施行する。

附 則(令和2年3月31日訓令(乙)第62号)

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和4年3月29日訓令（乙）第26号）

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

5 行政評価委員会委員名簿

（令和3年9月17日委嘱）

氏名	選出区分	任期	備考
坂野達郎	学識経験者	令和3年9月17日から 令和5年3月31日まで	委員長
栗原誠	企業経営分野等に関し識見 を有する者	同上	副委員長
清恒夫	企業経営分野等に関し識見 を有する者	同上	
中澤義尚	企業経営分野等に関し識見 を有する者	同上	
石川安江	公募による市民	同上	
原田烈光	公募による市民	同上	

（選出区分ごとに五十音順（敬称略））

6 行政評価委員会の審議経過

	開催年月日	審議内容
第1回	令和4年8月22日	○ 事務事業の外部評価について
第2回	令和4年10月6日	○ 事務事業の外部評価について ○ 行政評価委員会としての意見整理
第3回	令和4年10月13日	○ 事務事業の外部評価について ○ 行政評価委員会としての意見整理
第4回	令和4年10月20日	○ 事務事業の外部評価について ○ 行政評価委員会としての意見整理
第5回	令和4年10月27日	○ 事務事業の外部評価について ○ 行政評価委員会としての意見整理
第6回	令和4年10月31日	○ 事務事業の外部評価について ○ 行政評価委員会としての意見整理 ○ 令和4年度行政評価外部評価報告書（案）について

令和4年度行政評価報告書

発行年月／令和5年3月

発行／武蔵村山市

編集／武蔵村山市企画財政部行政経営課

〒208-8501

武蔵村山市本町一丁目1番地の1

T E L 042(565)1111(代表)